marantz®

Model PS7400 取扱説明書

AV Surround Amplifier

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保管してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されおりますが、ご不審な箇所などがありましたら、お早めにお買い上げ店、または最寄りの日本マランツ(株)各営業所にお問い合わせください。

本機の主な特長

電流帰還(カレントフィードバック) 7チャンネルディスクリートパワーアンプ

- マランツ ピュアオーディオアンプで定評の電流帰還型回路をパワーアンプ部に採用し、全7チャンネル同一パフォーマンスのハイパワー・ワイドレンジ・ディスクリート・パワーアンプ搭載。

最新サラウンドデコーダーをフル搭載

- 7チャンネルパワーアンプを強力にサポートする7.1ch サラウンドフォーマットに対応。
- ドルビー ラボラトリーズが新たに規定したドルビープロロジック Ⅱx」、および「ドルビーデジタルEX」、音楽再生などで評価の高いSRS社CS5.1を更に改良し6.1チャンネル化した「CS Ⅱ」、DTS社の提唱する「DTS-ESディスクリート6.1」、「DTS-ESマトリクス6.1」、2チャンネル信号を6.1チャンネル化する「DTS-Neo6」、DVD-Audioの新フォーマットに追加された「DTS96/24」、またBSデジタルの5.1チャンネルフォーマットの「MPEG2ーAAC」にも対応します。

スーパーオーディオ(SACD/DVD-AUDIO)対応 7.1CH INPUT

- 7.1チャンネルダイレクト外部入力端子を備え、SACDやDVDオーディオのマルチチャンネル再生に対応し、将来の拡張性を高めています。

ソフトウェア アップグレード対応

- 将来のフォーマット追加への対応や機能アップなどに備え、RS-232C端子よりソフトウェアアップグレード対応設計がされております。

ビデオコンバート機能搭載

- Ｓ端子やコンポジット端子から入力される映像信号をコンポネーント信号に変換して出力できるビデオアップコンバーター機能を搭載しました。
  Ｓ端子から入力される映像信号をコンポジット信号に変換して出力できるビデオダウンコンバーター機能を搭載しました。
  お手持ちのビデオ機器を接続する自由度が拡大します。

その他の特徴

- 32bit 最新DSPを搭載。
- 192kHz/24bit DAコンバータを全チャンネルに採用。
- 192kHz/24bit ADコンバータをアナログ入力用に採用。
- 音楽再生時に映像出力を停止させる、ビデオ オフ モード。
- 映画館と家庭環境での周波数特性を補正する、HT-EQ機能。
- 7.1チャンネルダイレクト外部入力端子を有功活用できるAUX2入力。
- L/R 2チャンネルスピーカーでもサラウンド効果を楽しめる バーチャルサラウンド機能。
- ヘッドホンで立体音響を体感できるTruSurroundヘッドホン機能。
- ゲーム機やポータブル機器の接続に便利なフロント光デジタル入力端子。
- 広帯域コンポーネント ビデオセレクター。
- 他の部屋でもステレオ再生が可能な マルチルーム機能。
- TV信号入力で電源をON/OFFする TVオートパワー機能。
- 各種設定をＯＳＤ画面にておこなえるＯＳＤメニューシステム。
- 確実なスピーカー結線が可能な 全チャンネル大型スクリュー式スピーカーターミナル。
- L/Rスピーカーを選択可能な スピーカーA、B切り替え。
- ＬＣＤ搭載、マクロ機能付きラーニングリモコン。
- 環境に配慮したスタンバイ消費電力低減モード。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警告

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や低部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。

  この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

- この機器を設置する場合は、壁から2.5cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2.5cm以上、背面から2.5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

警告

● この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

● この機器の通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

注意

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。

● 電源を入れる前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、またはテレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみなる前にも、音量(ボリューム)を最小にしてください。

● 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

● 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

注意

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

● ５年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス⊕端子とマイナス⊖端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

● 長期間使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池室についた液をよく拭き取ってから新しい電池をいれてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

AAC (Advanced Audio Coding)

BSデジタル放送が採用している音声方式で、MPEG2規格のひとつです。高圧縮率と高音質が特長で、2CHステレオ音声に加え、5.1CHサラウンド音声や多言語放送を可能にしています。以下はパテントナンバーです。

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5 400 433	5,222,189
5,357,594	5 752 225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5 297 236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821	08/937,950	05-183,988	08/506,729
08/576,495	08/392,756			

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、ProLogic及びダブルD記号及び"AAC"ロゴは、ドルビーラボラトリーズの商標です。

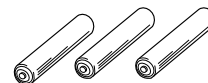
Circle Surround II、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
Circle Surround II 技術は、SRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

DTSおよびDTS Digital Surroundは、Digital Theater System, Inc.の登録商標です。

付属品の確認

下記の付属品が揃っていることを確認してください。
もし、不足している物がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社営業所にお問い合わせください。

リモコン（RC1400） 1個

単4形乾電池 3本

保証書 1部 （外箱に貼り付け）

取扱説明書（本書） 1冊

目　次

各部の名称はたらき

フロントパネル

① POWER(主電源)"入/切"スイッチ・STANDBY(スタンバイ)表示インジケーター

このスイッチを押すと、本機の主電源が入ります。もう一度押すと主電源が切れます。主電源が入っている状態にてリモコンによるパワーオン/スタンバイの切り替えが可能です。本機が電源スタンバイ状態の時にSTANDBY インジケータが点灯します。

② SELECT(マルチファンクションモードセレクト) ボタン

本ボタンを押してセレクターダイヤルによる各種設定機能を変更します。

③ SELECTOR(サラウンドモード、マルチファンクションコントロール)ダイヤル

サラウンドモードの切り替えやセットアップの設定に用います。

④ ENTER (エンター)ボタン

セットアップの設定時の確定に用います。

⑤ DISPLAY(ディスプレイモード切り替え) ボタン

前面ディスプレイの表示動作の切り替えに使用します。
(23 ページ参照)

⑥ BASS(トーンコントロール)切り替えボタン

トーンコントロールの動作切り替えで、BASS(低音)のコントロールをする場合に使用します。(19ページ参照)

⑦ ◀ (DOWN) / ▶ (UP) ボタン

トーンコントロールレベルの調整やSETUP時の設定切り替えに使用します。(13,19 ページ参照)

⑧ TREBLE(トーンコントロール)切り替えボタン

トーンコントロールの動作切り替えで、TREBLE(高音)のコントロールをする場合に使用します。(19ページ参照)

⑨ V-OFF (ビデオOFF)ボタン

全てのビデオ信号出力端子のビデオ信号出力を停止状態にする(VIDEO-OFF)モードの切り替えに使用します。(23ページ参照)

⑩ MUTE(ミュート)ボタン

このボタンを押すとスピーカーやヘッドホンから出力される音が一時的に消えます。もう一度押すと元の音量に戻ります。(20ページ参照)

⑪ VOLUME(音量調整)ツマミ

全体の音量調節に使用します。右に回すと音量が大きくなります。左に回すと音量が小さくなります。

⑫ S-DIRECT (ソースダイレクト)ボタン

このボタンを押すと、トーンコントロール回路などをバイパスする「**ソースダイレクト**」モードになります。

ご注意

ソースダイレクトモードにすると、サラウンドモードは自動的にAUTOに切り替わります。
ソースダイレクトモードを解除するには、本体またはリモコンを使って他のサラウンドモードを選びます。ソースダイレクトモードにすると、各スピーカーのサイズは自動的に以下のように固定されます。

FRONT(フロント)= LARGE
CENTER(センター)= LARGE
SURROUND(サラウンド)= LARGE
SUBWOOFER(サブウーファー)= ON

⑬ AUX 1 入力端子

ビデオカメラ、ゲーム機等の接続に使用可能です。

⑭(⑲) INPUT SELECTOR(入力ファンクション 切り替え)ボタン

入力ソースを選択する時に使います。
ビデオ系(TV、DVD、VCR1、DSS/VCR2、AUX1)の入力ソースを選んでから、オーディオ系(CD、TAPE、CDR/MD、TUNER)の入力ソースを選ぶと、ビデオ系の映像とオーディオ系の音声を同時にお楽しみいただけます。(19 ページ参照)

⑮ SPEAKERS A/B (スピーカーA/B)ボタン

スピーカーシステム A、B、AとB同時、スピーカーOFFを選ぶときに使用します。(25ページ参照)

⑯ MULTI (マルチルーム)ボタン

マルチルーム機能の動作切り替えに使用します。
(25ページ参照)

⑰ MULTI SPEAKER (マルチルームスピーカー)ボタン

マルチルームスピーカー機能の動作切り替えに使用します。(25ページ参照)

⑱ 7.1CH INPUT ボタン

7.1CH入力を選択する時にボタンを押します。もう一度押すと、切り替える前に選択していた入力ソースに戻ります。(25 ページ参照)

⑲ AUX2 ボタン

AUX2端子を選択する時に使います。7.1CH INのL/R端子をAUX2端子として使います。(25 ページ参照)

⑳ PHONES端子(ヘッドホン端子)

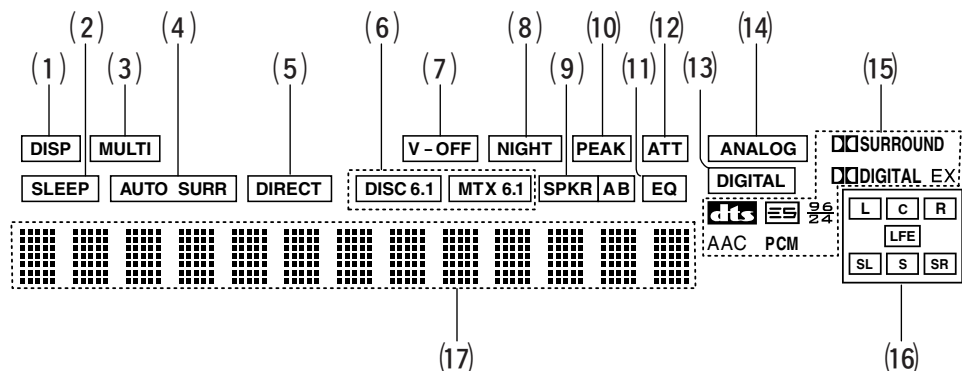
ヘッドホン用の接続端子です。この端子にヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声は自動的に無音になります。

ご注意

ヘッドホンをご使用の場合、サラウンドモードは自動的にSTEREO(ステレオ)またはTruSurroundに切り替わります。
ヘッドホンをPHONES端子から外すと、ヘッドホンを接続する前に設定していたサラウンドモードに戻ります。(23ページ参照)

㉑ リモコン受光部

付属リモコンからの赤外線コントロール信号を受光します。

表示部

(1) DISP（ディスプレーOFF）表示

表示部が消灯（ディスプレイオフ）状態のときに点灯します。（23ページ参照）

(2) SLEEP（スリープタイマー）表示

スリープタイマー機能を使用しているときに点灯します。（20ページ参照）

(3) MULTI（マルチルーム）表示部

マルチルーム機能が動作している場合に点灯します。（25ページ参照）

(4) AUTO SURROUND（オート・サラウンドモード）表示

AUTO SURROUND（オートサラウンド）モードが使用されているときに点灯します。

(5) DIRECT（ダイレクト）表示

ソースダイレクトモードを選択している場合に点灯します。

(6) DTS-ES デコードモード表示

DTS-ESデコード動作モード（Discrete-6.1かMatrix-6.1）を表示します。

(7) V-OFF（ビデオ オフ）表示

ビデオオフ機能が動作している場合に点灯します。（23ページ参照）

(8) NIGHT（ナイトモード）表示

NIGHT モードを機能させた場合に点灯します。（20ページ参照）

(9) SPKR（スピーカー） AB表示

選択しているスピーカーシステム（AまたはB）を表示します。
スピーカー オフ時はA、Bとも消えます。（25ページ参照）

(10) PEAK（ピーク）表示

アナログ入力を選択時、入力信号が過大レベルの場合点灯します。この場合、アッテネーター機能を働かせて下さい。（23ページ参照）

(11) EQ（ホームシアターイコライザー）表示

HT-EQ（ホームシアターイコライザー）機能が動作しているときに点灯します。（24ページ参照）

(12) ATT（アッテネーション）表示

アッテネーション機能が働いているときに点灯します。（23ページ参照）

(13) DIGITAL（デジタル）入力表示

デジタル入力ソースが選ばれているときに点灯します。

(14) ANALOG（アナログ）入力表示

アナログ入力ソースが選ばれているときに点灯します。

(15) デジタル信号フォーマット表示部

デジタル入力を選択している場合に、入力されている信号のフォー
マットを点灯表示します。

- DIGITAL：ドルビーデジタル信号が入力されている場合に点灯します。
- SURROUND：入力信号がドルビーデジタル信号で、かつサラウンド処理をされている場合に点灯します。
- dts：dts信号が入力されている場合に点灯します。
- ES：dts-ES処理が施されたdts信号が入力されている場合に点灯します。
- 96/24：dts-96/24処理が施されたdts信号が入力されている場合に点灯します。
- PCM：PCM信号が入力されている場合に点灯します。
- AAC：MPEG2－AAC信号が入力されている場合に点灯します。

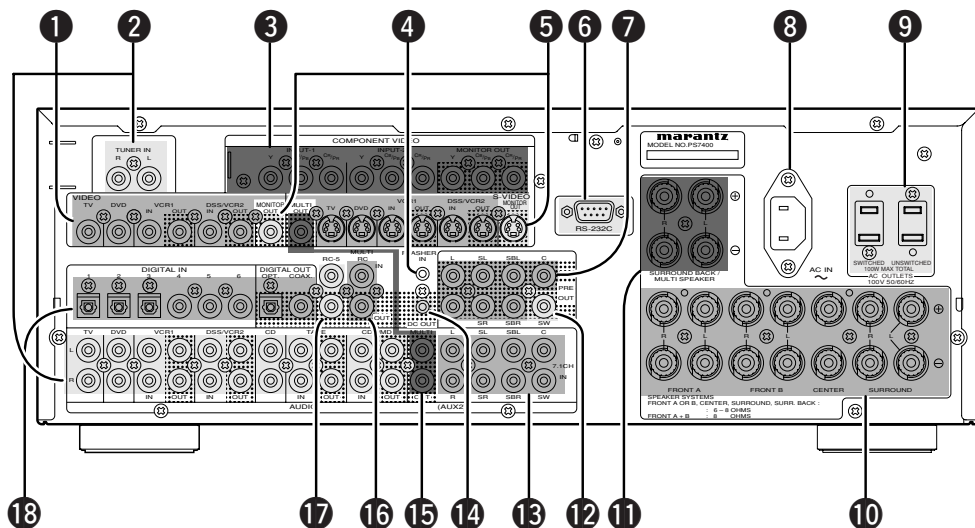
(16) プログラムチャンネル表示

デジタル入力信号を再生時、入力信号の記録チャンネル数を表示します。
5.1ch信号入力時は **L, C, R, SL, SR, LFE** が点灯します。
2ch信号が入力された場合は **L, R** が点灯します。詳細は、22ページのサラウンドモード/入力信号対応表をご覧下さい。

(17) 選択入力、サラウンドモード表示部

選択した入力ファンクションや、サラウンドモード等を表示します。

リアパネル

「各機器との接続」(8〜12ページ)の接続例を参照しながらご利用ください。

❶ 映像信号用端子(ビデオ信号入出力・S-Video 信号入出力)

本機は、背面に4系統の映像入力と2系統の映像出力を装備しています。(10ページ参照)

入力端子

映像機器(TVチューナー、DVDプレーヤー、VCR等)のビデオ信号・S-Video出力(PLAY)端子に接続します。

出力端子

録画用映像機器(VCR等)のビデオ信号・S-Video入力 (REC)端子に接続します。

❷ オーディオ信号用端子(アナログ音声信号入出力)

AV機器のアナログ音声信号入力/出力端子と接続します。本機は、7系統の音声入力と4系統の音声出力を装備しています。(9ページ参照)

入力端子

再生機器(CDプレーヤー、カセットデッキ、MDプレーヤー、TVチューナー、DVDプレーヤー、VCR等)のアナログオーディオ信号出力(PLAY)端子に接続します。

出力端子

録音用機器(カセットデッキ、MDプレーヤー等)や録画用機器(VCR等)のアナログオーディオ信号入力(REC)端子に接続します。

❸ コンポーネントビデオ信号入出力端子

(10ページ参照)

入力端子

本機の入力端子と映像機器(TVチューナー、DVDプレーヤー)のコンポーネントビデオ信号出力端子に接続します。

セットアップメニューのINPUT SETUP画面にて入力ファンクションの割り当てを変更できます。

出力端子

本機のモニターOUTをTVやプロジェクターのコンポーネントビデオ信号入力端子へ接続します。

❹ FLASHER IN(フラッシャーイン)端子

本機を外部から操作するための端子です。本機単体では、使用しません。

❺ モニター用映像出力端子(ビデオ信号出力、S-Video信号出力)

テレビやプロジェクターのビデオ入力端子やSビデオ入力端子に接続します。本機は、ビデオ出力端子とSビデオ出力端子を各1系統装備しています。(10ページ参照)

❻ RS-232C端子

将来に向けてソフトウェアのアップグレードや外部コントロールシステムの接続用に使用します。

❼ プリアンプ出力端子(L, R, C, SL, SR, SBL, SBR)

音声各チャンネルのプリアンプ出力端子です。外部パワーアンプを追加する場合に使用します。(11ページ参照)

❽ ACケーブル接続端子

付属のACケーブルを接続し、家庭用交流100V(50/60Hz)のコンセントに電源プラグを挿し込みます。

万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてください。

❾ ACアウトレット(SWITCHED/UNSWITCHED)

本機のACアウトレットから他のAV機器に電源を供給できます。本機はSWITCHEDとUNSWITCHEDのACアウトレットを装備しています。

SWITCHED (スイッチド:連動)

本機の電源ON/スタンバイに連動し、電源供給をON/OFFします。
消費電力が最大100Wまでの機器を接続できます。

UNSWITCHED (アンスイッチド:非連動)

本機の電源ON/スタンバイに関係なく、電源供給をします。消費電力が最大100Wまでの機器を接続できます。

⚠ 警 告
絶対許容電力以上の機器を接続しないで下さい。許容電力以上の機器を接続すると、火災・感電の原因となります。

❿ スピーカー出力端子(L, R, C, SL, SR)

各チャンネル(フロントL/R、センター、サラウンドL/R)のスピーカーに接続します。(8ページ参照)

⓫ スピーカー出力端子(SURROUND BACK/MULTI SPEAKER)

サラウンドバックL/Rのスピーカーに接続します。サラウンドバックとしてご使用にならないときは、マルチルームのフロントL/Rとして使用できます。(12ページ参照)

⓬ サヴウーファー用出力端子

サブウーファー用プリアンプ出力です。サブウーファー用の外部パワーアンプもしくはアンプ内蔵サブウーファーに接続します。(8,11ページ参照)

⓭ 7.1ch 音声入力端子(AUX2音声信号入力)

SACDマルチチャンネルプレーヤーやDVDオーディオプレーヤーのマルチチャンネル音声出力端子に接続します。(11ページ参照)
フロントL/RはAUX2入力としても使用可能です。

⓮ DCトリガー出力端子

将来に向けてのDC信号トリガー出力端子です。

⓯ マルチルームシステム用出力端子(ビデオ & オーディオ)

マルチルームシステム(別室)側のTVのビデオ信号入力端子、アンプ等 のアナログオーディオ信号入力端子へ接続します。(12ページ参照)

⓰ マルチルームシステム用コントロール入出力端子

将来に向けてのマルチルームシステム(別室)コントロール用の入力端子です。(12ページ参照)

⓱ リモコン入出力端子

他のマランツAV製品と組み合わせてシステムコントロールする場合に、組み合わせる製品のリモコン入出力端子と接続します。(11ページ参照)

⑱ デジタル入力端子1-6、出力端子（光入出力 & 同軸入出力）

（9,10ページ参照）

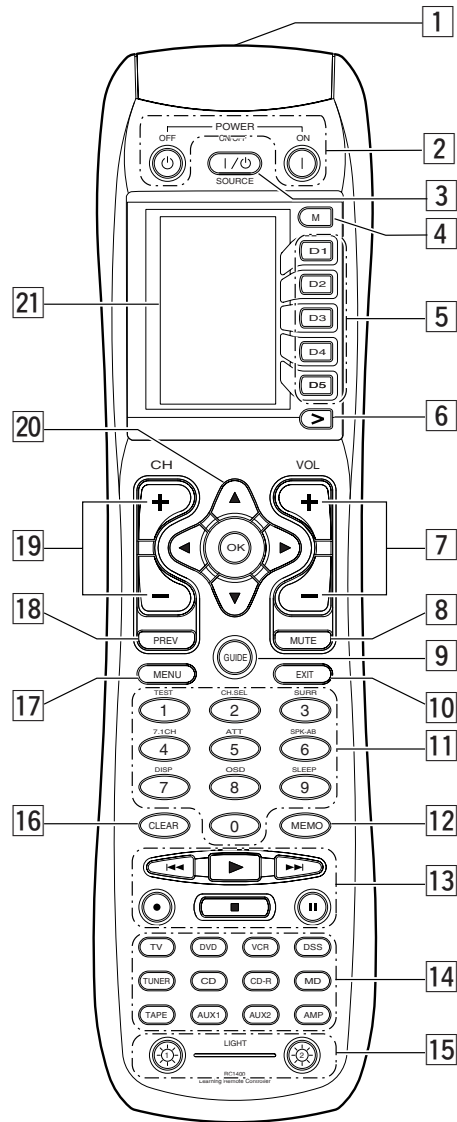
入力端子

デジタル機器（DVD,CD,MD,BSチューナー等）のデジタル信号出力端子に接続します。接続する機器の出力端子の種類に合わせて使用して下さい。また、OSDメニューシステムのINPUT SETUPにて必ず設定をおこなって下さい。（14ページ参照）

出力端子

デジタル録音機器（CD-Rプレーヤー、MDプレーヤー等）のデジタル信号入力端子に接続します。接続する機器の出力端子の種類に合わせて使用して下さい。

リモコンRC1400

名称と機能

ご注意

- リモコンのコード設定については、「リモコン操作の基本動作説明」(28ページ)を参照してください。

1 送信／学習用赤外線受光部

ここから赤外線が発射されます。アンプなどの赤外線受光窓に向けてボタンを押して下さい。他のリモコンから学習するときにも、ここに向けて行います。

2 POWER ON OFFボタン

（アンプモード選択時）

PS7400の電源をON/OFFするときに使います。

3 SOURCE ON/OFFボタン

DVDプレーヤー等のソースの電源をON/OFFするときに使います。

4 M（モード）ボタン

MACROのプログラムやリモコンの設定をするときに使います。ボタンを押すごとに通常モード、MACROモードに切り替わります。

ページの移動は、＞ボタンを押します。最大20個（4ページ分）のプログラムができます。

Mボタンを3秒以上押すと設定モードに切り替わり、表示部に設定メニューが表示されます。

設定メニューは4ページ分あり、ページの移動は、＞ボタンを押します。

PAGE4から＞ボタンを押すとPAGE1に戻ります。

5 D1-D5（ダイレクト）ボタン

DVD、テレビ、アンプなどの12のソースボタン毎に5種類のダイレクト操作ができます。

ページの切り替えができますので、1ソースに対し4ページx 5種類=20通りの操作ができます。

表示文字の変更もできます。

6 ＞（ページ）ボタン

ダイレクトボタンのページを切り替えるときに使います。現在のページは、表示部に表示されます。

7 VOL（ボリューム）ボタン

アンプやテレビ等のボリュームを調節するときに使います。

ご注意

このボタンは、PS7400ではアンプモードにしてからご使用ください。

8 MUTE（ミュート）ボタン

アンプやテレビ等の音声をミュート（消音）するときに使います。

ご注意

このボタンは、PS7400ではアンプモードにしてからご使用ください。

9 GUIDE（ガイド）ボタン

DVDプレーヤーやDSS（衛星放送チューナー）等のメニューを出すときに使います。

10 EXIT（エグジット）ボタン

セットアップの設定途中で、中止するときに使います。

11 数字ボタン

各ソースの0〜9を切り替える時に使います。

ソースがアンプのときには、表示に対応した操作ができます。

（アンプモード選択時）

(1) TESTボタン

各スピーカー間の出力レベル（音量）を調整するときに使用します。

(2) CH SEL. (channel select)ボタン

各出力チャンネルのレベル調整をしたい時に使用します。SURROUND（サラウンド）セットアップメニューを呼び出します。

(3) SURR (surround)ボタン

サラウンドモードの切り替えができます。

(4) 7.1CH INボタン

7.1CH入力の選択および解除に使用します。

(5) ATTボタン

アナログ入力時に入力レベルを減衰させる場合に使用します。

前面ディスプレー内のPEAK、インジケーターが点灯する場合、本機能を使用してください。.

ご注意

このボタンは、デジタル入力が選択されているときは機能しません。

(6) SPK-ABボタン

フロントスピーカA、B切り替えに使用します。フロントスピーカーは、次のように切り替わります。

A → B → A+B → off

(7) DISP. ボタン

前面ディスプレイの表示モードの切り替えに使用します。

(8) OSD ボタン

PS7400の基本状態をOSDインフォメーションにて確認したい場合使用します。

他のモード状態では、MENUなどの表示に使用します。

(9) SLEEP (sleep timer) ボタン

「スリープタイマー」の設定に使用します。

12 MEMO（メモ）ボタン

各ソースのメモリーやプログラムをするとき等に使います。

⑬ CONTROL（コントロール）ボタン
各ソースのＰＬＡＹ、ＳＴＯＰ、PAUSE等を操作するときに使います。

ご注意
PS7400では、このボタンはご使用になれません。

⑭ SOURCE（ソース）ボタン
アンプのソースを切り替えるときに使います。このボタンを押すことにより、リモコンが押したソース用に変わります。
このリモコンは12種類の機器をコントロールできます。アンプのソースを切り替えるときには、ボタンを２秒以内に２回押してください。２回目で信号が送信されます。

ご注意
PS7400の操作を行う際は、ソースとしてアンプを選択してからご使用ください。

⑮ LIGHT（ライト）1、2ボタン
このボタンを押すと、表示部ディスプレイ、ボタンが照光します。照光時間の設定ができます。
照光時間を０秒に設定した場合はこのボタンを押している間だけバックライトが点灯します。
LIGHT１、2の動作は同じです。

⑯ CLEAR（クリアー）ボタン
各ソースのメモリーやプログラムを消去するとき等に使います。

⑰ MENU（メニュー）ボタン
（アンプモード選択時）
セットアップのメニューをモニター上に表示するときに使います。

⑱ PREV（プレビアス）ボタン
リモコンで切り替えた直前のテレビなどのチャンネルを呼び出します。

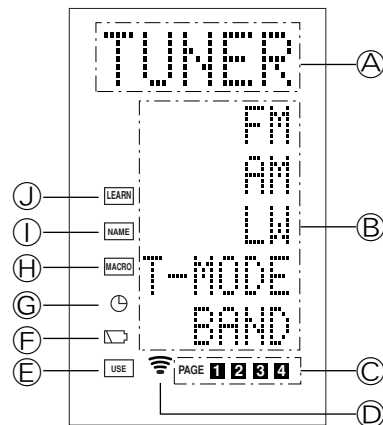
ご注意
PS7400では、このボタンはご使用になれません。

⑲ CH（チャンネル）ボタン
テレビのチャンネル等の切り替えをします。

⑳ CURSOR（カーソル）ボタン
PS7400やDVD等のカーソルコントロールをするときに使います。

㉑ 表示部
各ソース名やモード名などのメッセージがこの表示部に表示されます。

表示部の表示

現在選ばれているソース名やダイレクトコード名などのメッセージがこのディスプレイに表示されます。

Ⓐ ソース名表示
選択されているDVD、テレビなどのソース名を表示します。（最大５文字）

Ⓑ ダイレクトボタン名表示
ソース毎に20種類のボタン名の表示をします。（最大６文字）

Ⓒ ページ表示
現在のページ位置を表示します。

Ⓓ 送信表示
リモコンコードを送信している間、この表示が点灯します。

Ⓔ USE表示
通常は、この状態で使用します。

Ⓕ 電池残量表示
電池の残量が少なくなってきた時に表示します。

Ⓖ TIMER表示
マクロタイマーが設定されているときに表示します。

Ⓗ MACRO表示
リモコンがマクロのプログラム状態になっているときに表示します。

Ⓘ NAME表示
リモコンが名前の変更モードになっているときに表示します。

Ⓙ LEARN表示
リモコンが学習状態になっているときに表示します。

設定モード時の表示と機能

Mボタンを３秒以上押すと各種の設定ができます。ページの切り替えは＞ボタンを押します。

PAGE1 MENU

プリセットコードの設定、コードの学習、名前の書き換え、マクロのプログラム、コードの消去の設定をします。

D1 PRESET:
各メーカーのＡＶ機器を使用する場合の設定に使用します。
マランツのTVとDVDコードの選択時にも使用します。

D2 LEARN:
別のリモコンからコードを学習するときに使用します。

D3 NAME:
表示部に表示する文字を変更するときに使用します。

D4 MACRO:
マクロをプログラムするときや、プログラムを修正するときに使用します。

D5 ERASE:
学習したリモコンコードや書き換えた名前などを消去するときに使用します。
消去後は工場出荷状態に戻ります。

PAGE2 SETUP

バックライトの照光時間、マクロのインターバル時間、表示部のコントラスト、時間設定など特殊な設定をします。

D1 LIGHT:
表示部やボタンのバックライト点灯時間を変更するときに使用します。
0秒から60秒の間で、カーソルボタンを使って設定します。

D2 I-TIME:
マクロプログラムの送信間隔（インターバル時間）を設定するときに使用します。
0.5秒から5秒の間で、カーソルボタンを使って設定します。

D3 CONT:
表示部のコントラストを変更するときに使用します。10段階の間でカーソルボタンを使って設定します。

D4 CLOCK:
現在の時刻を設定するときに使用します。

PAGE3 TIMER

マクロタイマーの設定をします。

D1 DAILY?:
タイマー機能を使ってマクロを実行するときに使用します。毎日同じ時間にプログラムを実行する場合にDAILYを使用します。

D2 ONCE?:
タイマー機能を使ってマクロを実行するときに使用します。　一回だけプログラムを実行する場合にONCEを使用します。

D5 CANCEL:
設定したタイマーを取り消すときに使用します。

PAGE4 CLONE

クローンモードの設定をします。

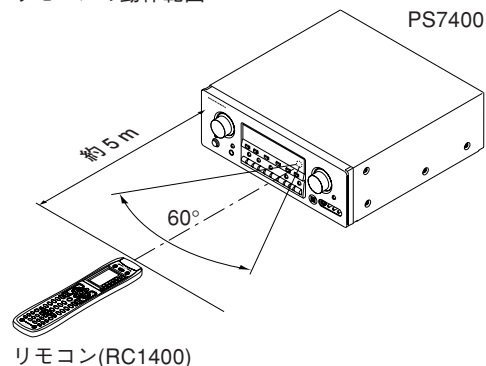
D1 RX:
別のリモコンRC1400の学習した内容を丸ごとコピーするときに受信側（スレーブ）として使用します。

D2 RX-S:
別のリモコンRC1400の学習した内容をソースごとにコピーするときに受信側（スレーブ）として使用します。

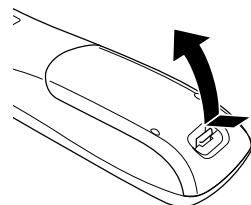
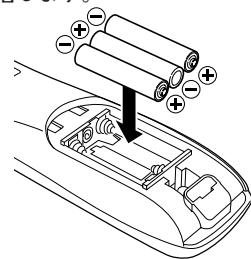
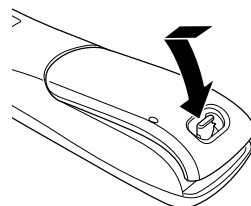
D3 TX:
別のリモコンRC1400へ内容をコピーするときに送信側（マスター）として使用します。

リモコンの動作範囲

本機 PS7400と付属リモコンRC1400による操作可能範囲は下図のように約5m以内です。
リモコンの操作はPS7400のリモコン受光部に向けて行ってください。また、リモコンとPS7400の間に障害物がある場合、正常な動作ができない場合があります。

リモコンの動作範囲

リモコンに電池を装着

付属リモコンをご使用になる前に、単四乾電池 3本をリモコンに装着してください。
付属の乾電池はリモコンの初期動作確認用です。

1. **リモコン背面の電池カバーを矢印方向に押しながら外します。**

2. **新しい単四乾電池 2本を、極性表示(＋：プラスと－：マイナス)に注意し、表示通りに正しく装着します。**

3. **電池カバーを以下のように元に戻します。**

⚠注意

- 古い電池と新しい電池をいっしょに使用しないでください。腐食・液漏れの原因となることがあります。
- 付属のマンガン電池は、操作の確認用です。ご使用の際にはアルカリ電池をおすすめします。
- 電池を廃棄する時は、お住まいの市区町村の条例または指示にしたがってください。電池は火に投げ入れないでください。

電池の交換時期について

通常の使用状態では、アルカリ乾電池の場合約4ヶ月もちます。　電池が消耗した場合、表示部に電池マークが表示されます。
電池マークが、表示中でもリモコンの使用はできますが、ボタンを押して送信するときに表示部がちらつくようになると信号の送信や学習ができなくなりますので早めに電池を交換して下さい。

・本機には不揮発性メモリーを使用しているので、電池を抜いても学習したコードやマクロプログラムは消滅しません。

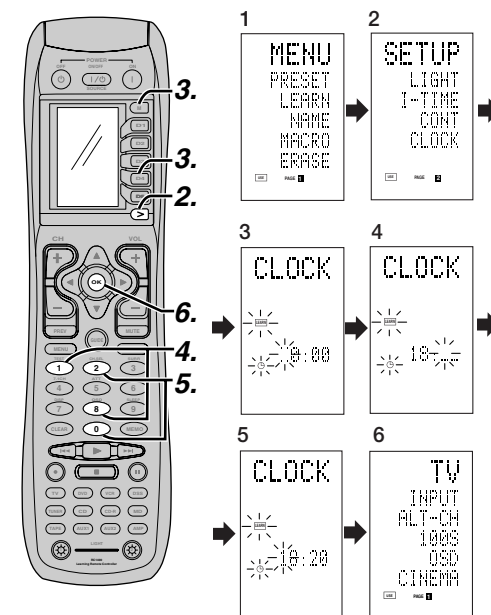
電池を交換したら時計を合わせてください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため下記のことを必ずお守りください。

・長時間放置すると乾電池の液漏れやまた腐食することがあります。
・リモコンの乾電池の＋と－の位置をまちがえてお使いにならないでください。
・乾電池を充電したり、暖めたり、また分解などしないでください。乾電池を火の中に投げ入れないでください。
・古い乾電池、また使い切った乾電池はリモコンの中に入れてお使いにならないでください。
・異なったタイプの乾電池を使用したり、また古い乾電池と新しい乾電池をいっしょにお使いにならないでください。
・リモコンが正常に作動しない場合は、乾電池を新しいものと入れ替えてください。
・乾電池の液が漏れた場合は、漏れた液体をきれいに拭き取り、新しい乾電池と入れ替えてください。

時計の合わせかた

(例)午後 6 時20分(18時20分)に合わせる場合

ご購入後付属リモコンに始めて電池を入れる場合は、手順の4の操作より始まります。手順の1〜3は、省略されます。

1. **Mボタンを 3 秒以上押します。**
MENUが表示されます。

2. **＞ボタンを 1 回押します。**
ページ2(SETUP)にします。

3. **ダイレクトボタンのD4ボタン(CLOCK)を押します。**
「時」表示部の「::」が点滅します。

4. **数字ボタンの1と8を押します。**
「時」表示部に18が表示されます。
「分」表示部の「__」が点滅します。

5. **数字ボタンの2と0を押します。**
「分」表示部に20が表示されます。
「時」表示部が点滅します。

6. **カーソルボタンのOKを押し、時計をスタートさせます。**
時計は、設定した時刻の 0 秒からスタートし、通常(USE)モードに戻ります。

池を交換した際は、時計は00：00を表示します。再度時刻設定を行ってください。(時刻設定のバックアップはしていません)

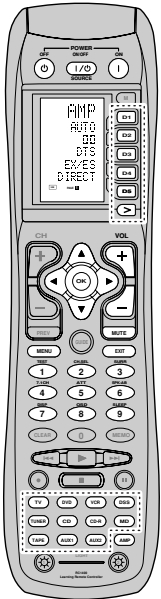
時刻を確認する

時刻を確認するときには＞ボタンを３秒押します。５秒間現在の時刻を表示します。

ご注意：
時計は、クオーツですが、お使いになっている間に、時刻がずれる場合があります。時々正しい時刻に修正してください。

リモコンでPS7400を操作する

付属リモコンRC1400を使用してPS7400を操作するには、入力切り替え／ファンクションボタンでAMP(アンプ)を選びます。
AMP(アンプ)モードの詳細については以下を参照してください。

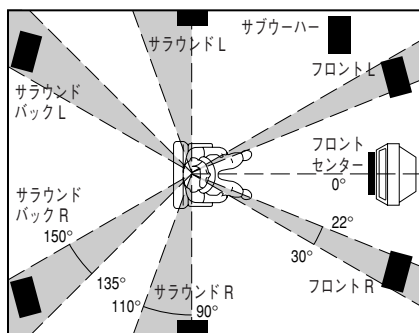
AMPモード

SOURCE ON/OFF	PS7400の電源オン/スタンバイの切り替え
POWER ON	PS7400の電源オン
POWER OFF	PS7400のスタンバイ
D1〜D5/>(Page)	(巻末のviページをご覧ください。)
VOL +/-	全チャンネルの音量調整
MUTE	一時的に音声出力停止、および解除
カーソル	セットアップメニューにおいて設定のためのカーソル移動
OK	セットアップメニューの呼び出し
	セットアップメニューでの設定確定
MENU	現状の動作状態をOSDに表示させる
EXIT	セットアップメニューから出てもとに戻る
TEST (1)	テストトーンメニューの選択
CH.SEL (2)	7.1CH入力レベルの調整メニューの呼び出し
SURR (3)	サラウンドモードの選択
7.1CH (4)	7.1CH入力のオン／オフの切り替え
ATT (5)	アナログ入力信号レベルの減衰
SPK-AB (6)	フロントスピーカーA、Bの選択
DISP (7)	PS7400の表示モードの切り替え
OSD (8)	動作状態のOSD表示
SLEEP (9)	スリープタイマー機能を設定
入力ファンクション	入力機器の選択

各機器との接続

スピーカーの配置

本機における理想的なサラウンド再生スピーカーシステムは　フロントL/R、センター、サラウンドL/R、サラウンドバックL/R、サブウーファーの合計8チャンネルです。
しかし、サラウンド再生に最低限必要なスピカーシステムはフロントL/R、サラウンドL/Rです。この場合ドルビーデジタルEXやDTS-ESの再生はできません。
本機では使用するスピーカーの数や位置、また低音域の出力特性にあわせて設定をおこないます。
（14ページ　SPEAKER SETUP スピーカーの設定の項参照）

配置のポイント

スピーカーの配置は、実際、部屋の大きさなどによって違いますが、ここでは各スピーカーの基本的配置例と配置のポイントを説明します。

フロントL/Rスピーカー
リスニングポジションから見てLとRのスピーカーが 45度〜60度の角度を持つように設置することを推奨します。

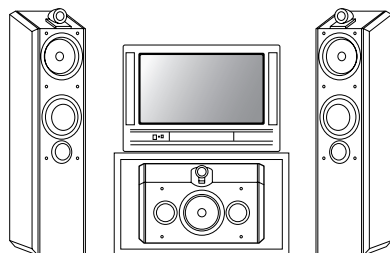
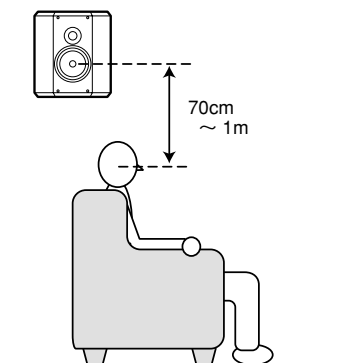
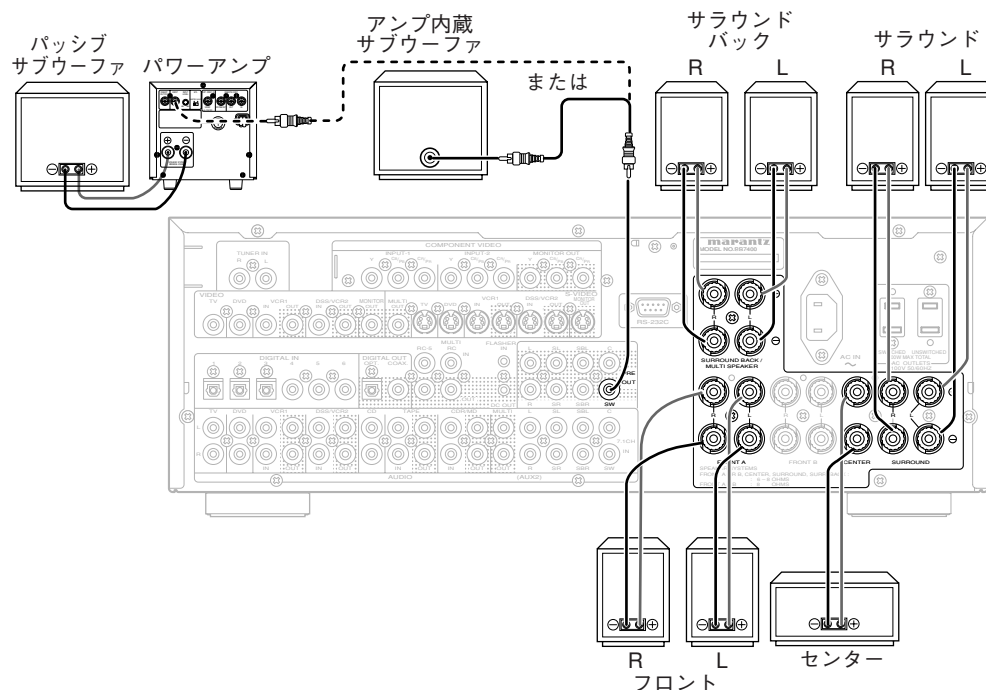
センタースピーカー
フロントL/R スピーカーと前面を揃えるか、または少しだけ後方にずらして設置します。

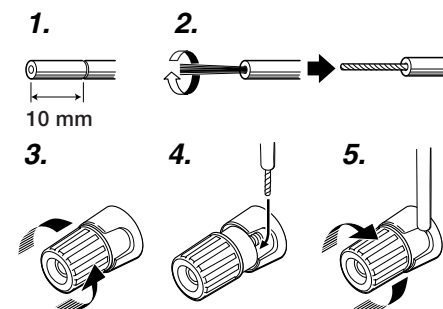
サラウンドL/Rスピーカー
サラウンド再生に必要なスピーカーです。リスニングポジションの真横または少しだけ後方にずらした壁際に設置します。スピーカー前面の中心が、部屋の中心を向くようにします。

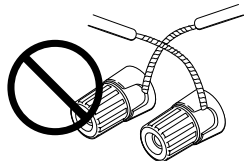
サラウンドバックL/Rスピーカー
7.1chサラウンド再生に必要なスピーカーです。リスニングポジションの後の壁際に設置します。
スピーカー前面の中心が、部屋の中心を向くようにします。

サブウーファー
低音の効果を最大限に得るために利用することをお勧めします。サブウーファーは低音域のみを扱う為、部屋の中であればどこに配置しても大丈夫です。

スピーカー配置の高さ

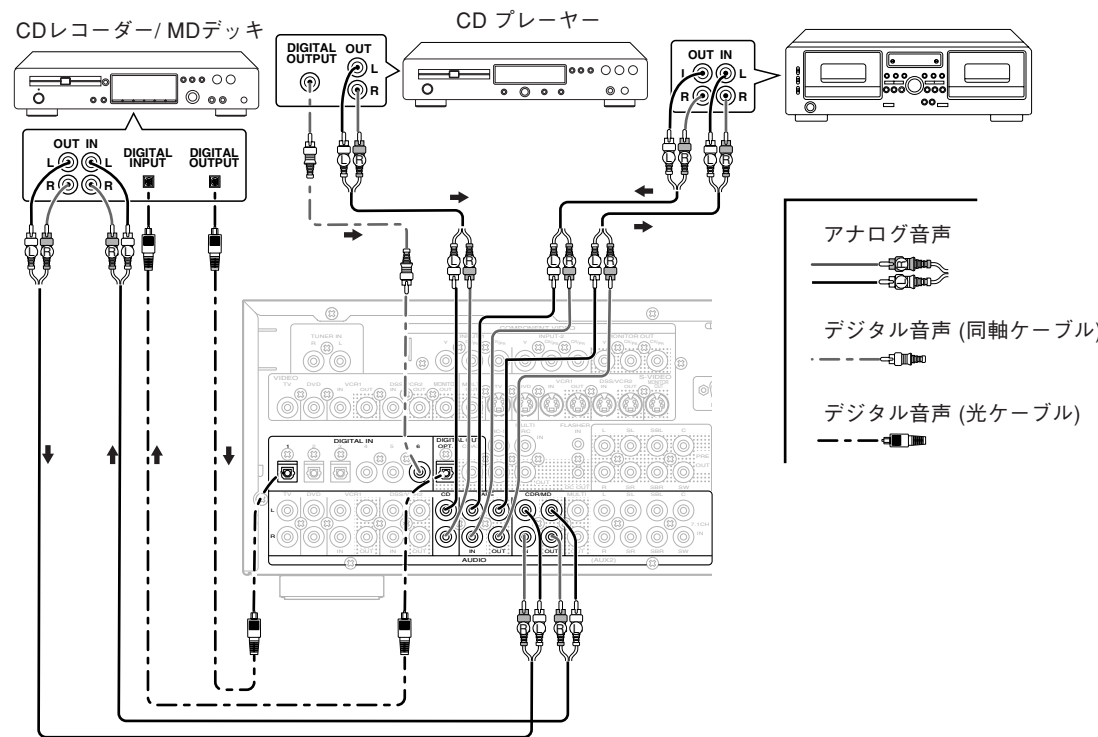
フロントスピーカー（L、R、センター）
3つのフロントスピーカーの中・高域用ユニットはできる限り同じ高さに揃えます。これは、センタースピーカーをテレビセットの真上、または真下に設置することを意味します。
このような場合、防磁型のセンタースピーカーを使う必要があります。

サラウンドL/R、サラウンドバックスピーカー
場所が許す限り、リスナーより70センチから1メートル程上方に設置します。この位置で設置することにより、音源定位を際立たせず、より包み込むようなサラウンド感を実現します。

スピーカーの接続

スピーカーコードの接続

1. スピーカーコードの皮膜を約 10mm 取り除きます。
2. ショート防止のためコードの裸部分をきつくよじってください。
3. スピーカー端子を左方向に回して、端子をゆるめます。
4. スピーカー端子の側面にある穴にスピーカーコードの裸部分を挿入すます。
5. スピーカー端子を右方向に回して、端子を締めます。

ご注意

- 本機背面に表記されているインピーダンス仕様のスピーカーを必ずご使用ください。
- 回路への損害を防止するため、裸のスピーカーコード同士を接触したり、本機の金属部分に接触させたりしないでください。

- 感電の恐れがあるので、電源がONのときはスピーカー端子に触れないでください。
- １つのスピーカー端子に複数のスピーカーコードを接続しないでください。本機に損害を与える恐れがあります。
- スピーカー端子への接続は極性を間違えずに行ってください。間違えた場合、信号の位相は反転し、再生される音楽は不自然になります。

サブウーファーの接続

パワード(パワーアンプ内蔵)サブウーファーとの接続は、本機のサブウーファー用音声出力端子を使用してください。
パッシブタイプのサブウーファーをご使用の場合は、本機のサブウーファー用音声出力端子とモノラルパワーアンプを接続し、そのモノラルパワーアンプとパッシブタイプのサブウーファーを接続してください。
詳細な接続は、ご使用のサブウーファーの取扱説明書をお読みください。

音声機器との接続

TAPE出力端子とCD-R/MD出力端子からの音声出力信号は、現在選択されている音声ソースです。

ご注意

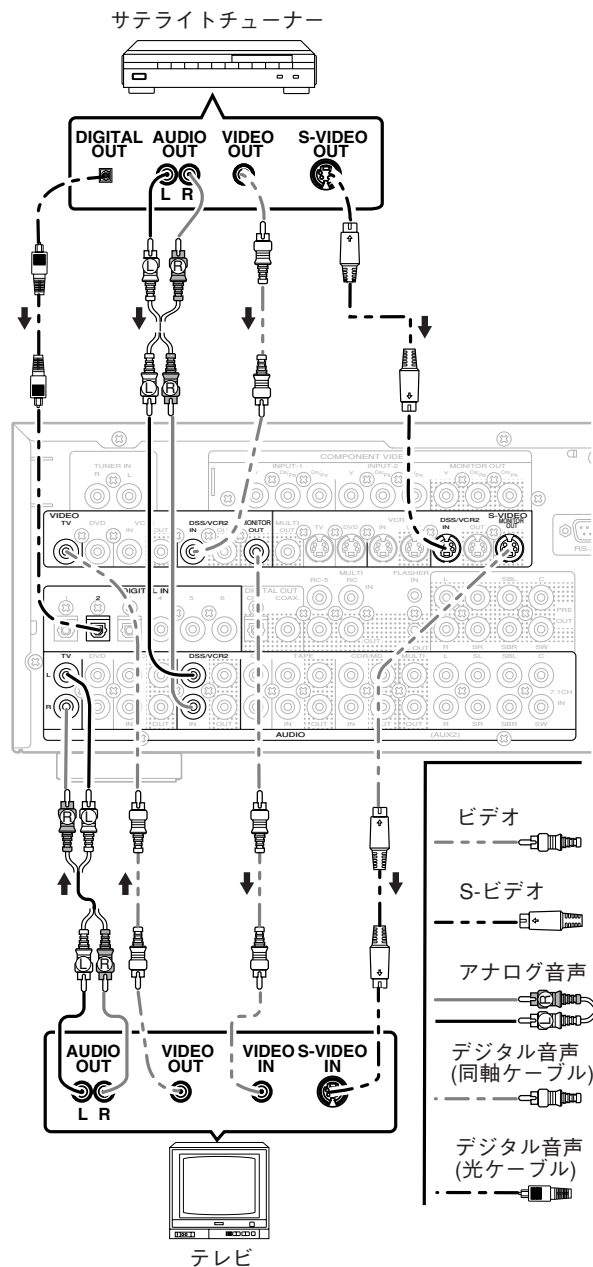
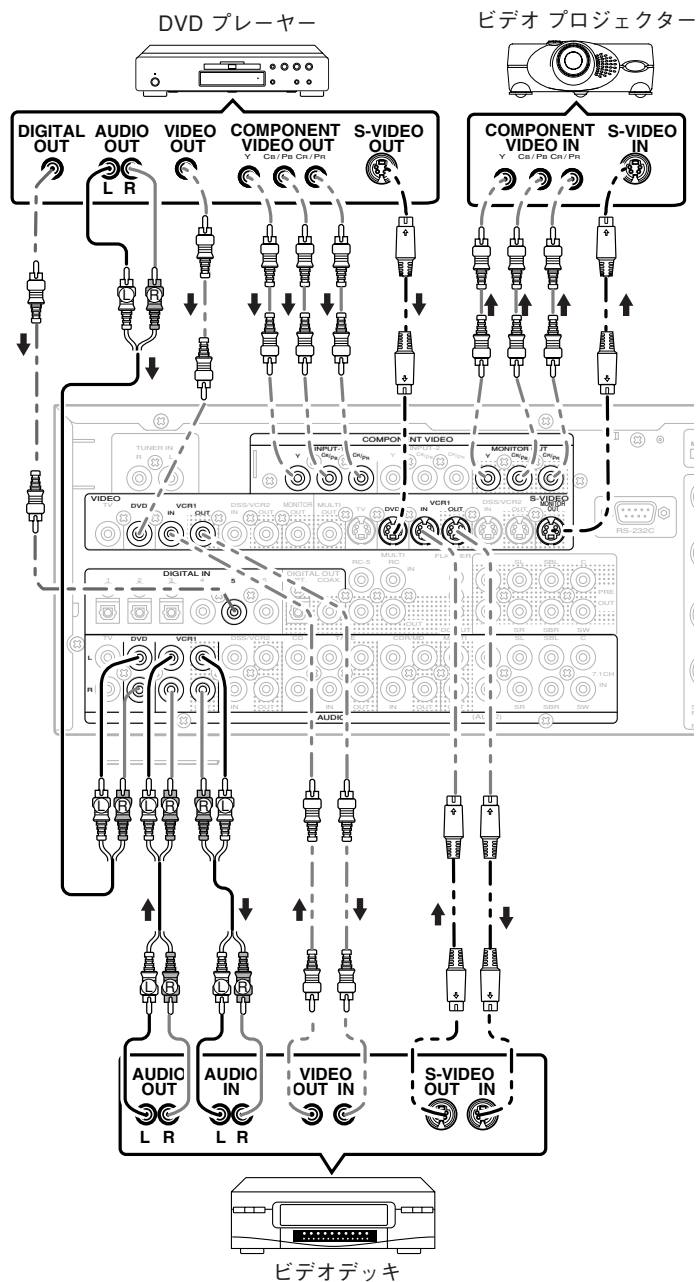
- 全ての接続が完全に終わるまで、本機や他の機器の電源コードを電源コンセントに差し込まないでください。
- 接続コードのプラグは確実に接続端子に挿入してください。不完全な接続は、雑音の原因となります。
- L(左)チャンネルとR(右)チャンネルを正しく接続してください。赤い端子はR(右)チャンネル、白い端子はL(左)チャンネルです。
- 入力と出力は正しく接続してください。
- 本機と接続するそれぞれの機器については、それぞれの取扱説明書を参考にしてください。
- 音声／映像接続ケーブルと電源コードやスピーカーコードは束ねないでください。束ねると、結果としてハムやその他の雑音を発生します。

デジタル音声機器との接続

- 本機の背面には、同軸端子3系統と光端子3系統、計6系統のデジタル入力があります。
- これらの端子を使用して、CDプレーヤーやDVDプレーヤーなどのデジタル音声機器からPCM信号、Dolby Digital信号、DTSビットストリーム信号、AACビットストリーム信号を入力できます。
- 本機の背面には、同軸端子1系統と光端子1系統、計2系統のデジタル出力があります。これらの端子は、CDレコーダーやMDデッキなどのデジタル録音機器との接続ができます。
- DVDプレーヤーや、その他デジタルソース機器のデジタル音声フォーマットの設定を行ってください。デジタル入力端子に接続されるそれぞれの機器については、取扱説明書を参照してください。
- DIG-1、2および3の入力端子には光ケーブルをご使用ください。DIG-4、5および6の入力端子にはデジタル音声用または映像用の75Ω同軸ケーブルをご使用ください。
- お手持ちの機器に応じて、それぞれのデジタル入出力端子に対して入力を指定することができます。(14ページ参照)

ご注意

- 本機はDolby Digital 用RF入力端子を装備していません。ビデオディスクプレーヤーのDolby Digital RF出力を使用する場合は、外付けのRFデモジュレーターをご使用ください。
- デジタルおよびアナログそれぞれの音声端子は独立しています。デジタル端子とアナログ端子に入力された信号は、対応するデジタル端子とアナログ端子にそれぞれ出力されます。

映像機器との接続

ビデオ、S-ビデオ端子

本機の背面には3つのタイプのビデオ（映像）端子があります。

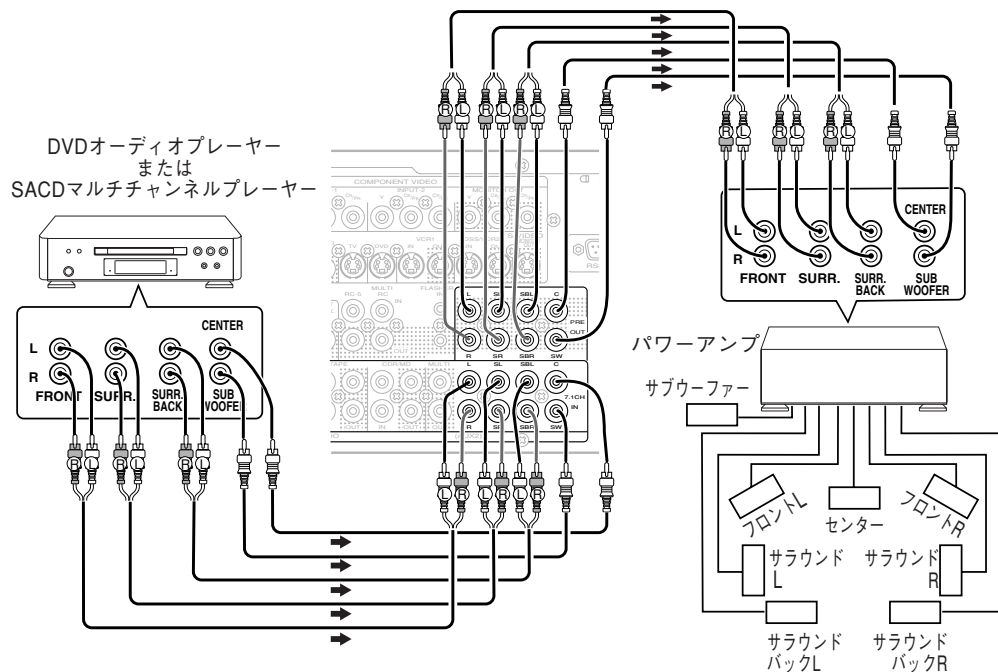
ビデオ端子
ビデオ端子の映像信号は従来の複合映像信号です。

S-ビデオ端子
S-ビデオ端子用の映像信号は、輝度信号（Y）と色信号（C）に分離しています。S-ビデオ信号は高品質の色再現を可能にします。ご使用の映像機器がS-ビデオ出力を装備しているのであれば、S-ビデオ出力の使用をお勧めします。本機のS-ビデオ入力端子とご使用の映像機器のS-ビデオ出力端子を接続してください。

コンポーネントビデオ（色差ビデオ）端子
コンポーネントビデオ信号は輝度信号（Y）緑、色差信号（PB）青、色差信号（PR）赤の 3本から構成されており、より高品質な映像再生を可能にしております。本機では 2系統の入力を持ち、それぞれセットアップメニューでの設定により入力ソースを選ぶことができます。

ご注意

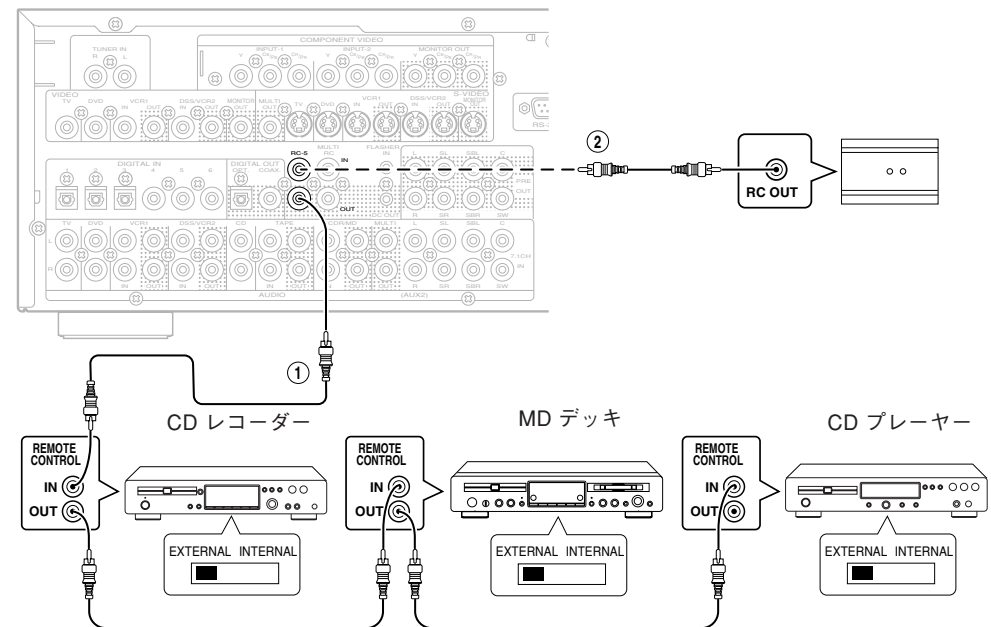
- L（左）チャンネルとR（右）チャンネルを正しく接続してください。赤い端子はR（右）チャンネル、白い端子はL（左）チャンネルです。
- 入力と出力は正しく接続してください。
- ビデオおよびS-ビデオそれぞれの映像端子は独立しています。ビデオ（同軸）端子とS-ビデオ端子に入力された信号は、対応するビデオ（同軸）端子とS-ビデオ端子にそれぞれ出力されます。
- DVDプレーヤーや、その他デジタルソース機器のデジタル音声フォーマットの設定を行ってください。デジタル入力端子に接続されるそれぞれの機器については、取扱説明書を参照してください。

その他機器の接続

マルチチャンネルオーディオ機器との接続

7.1CH 音声入力端子は、SACDマルチチャンネルプレーヤー、DVDオーディオプレーヤーまたは外付けのデコーダーのようなマルチチャンネルオーディオソース用の端子です。
これらの端子を使用する場合には、7.1 CH INPUTに切替え、セットアップメニューを使用して、7.1 CH入力レベルを設定してください。

単体パワーアンプとの接続

単体パワーアンプをシステムに追加することで、更にホームシアターの臨場感を高めることができます。
プリアンプ音声出力端子をパワーアンプと接続し、それぞれのスピーカーと、それに対応するパワーアンプを接続してください。

リモートコントロール接続

①

- 他のマランツAV製品とリモートコントロール端子を接続することにより、付属のリモコンでホームシアターシステムを集中コントロールできます。
- リモコン操作は本機に向けて行なってください。リモコンから送信された赤外線の信号は、本機のリモートコントロール受光部で受光され、リモートコントロール端子を通して他の機器に送られます。
- このリモートコントロール接続を行う場合、本機と接続する機器の背面に装備されているリモートコントロールスイッチは、**EXT.** に設定して下さい。

②

本機のRC-5 IN端子に外付け赤外受光部などを接続して操作する場合、必ず以下の手順に従って本機の赤外受光部の動作を無効にしてください。

1. **本体フロントパネルの*SELECT* ボタンと*TV* ボタンを同時に5秒間押し続けます。**

   本体前面表示部に「IR=ENABLE」と表示されます。

2. **本体フロントパネルの*SELECT* ボタンを押すと、「IR=DISABLE」に変わります。**

3. **本体フロントパネルの*ENTER* ボタンを押します。**

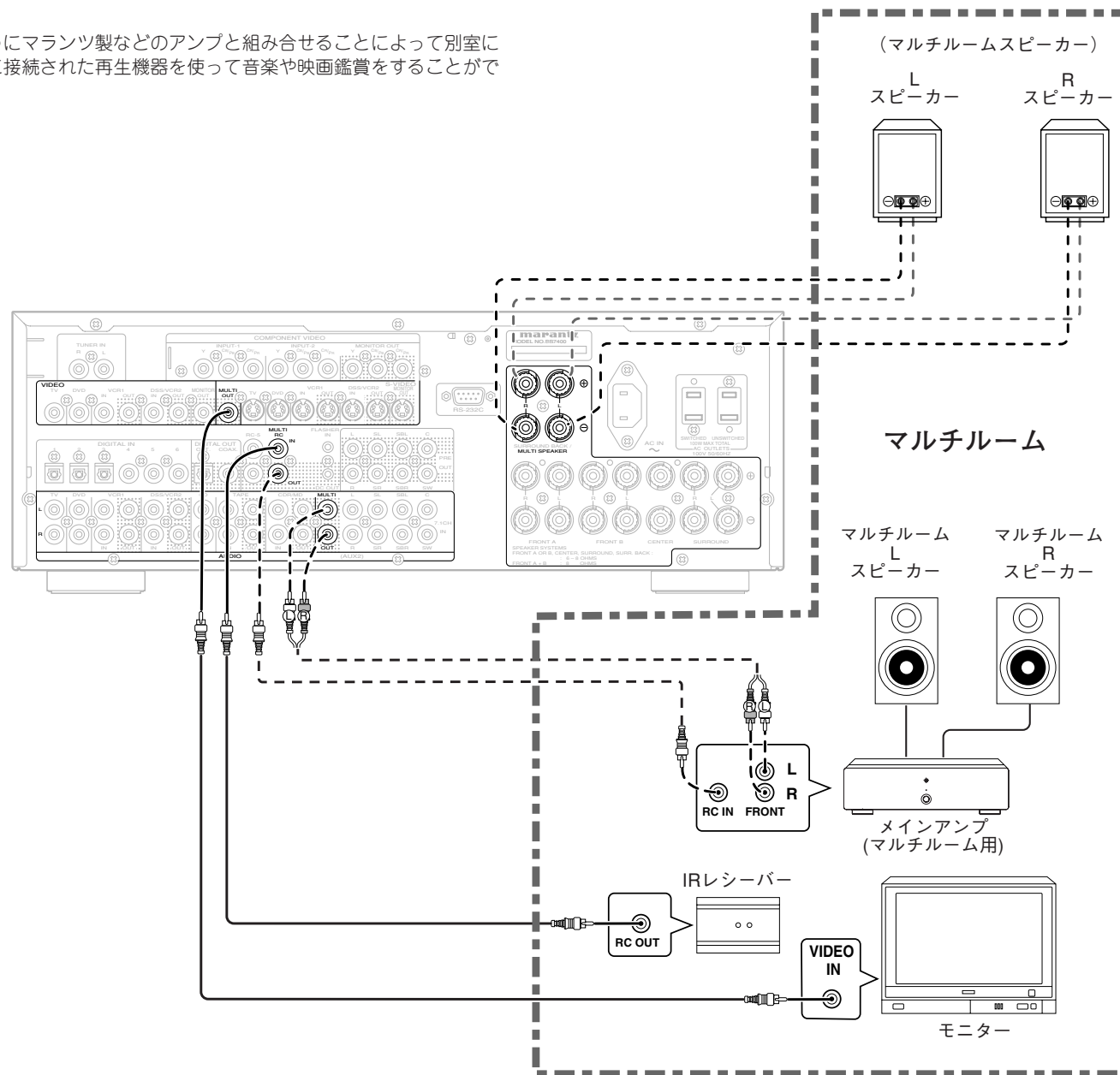
   本機の赤外受光部の動作は無効となり、リモコンでの操作ができなくなります。

ご注意

- 外付け赤外受光部などが接続されていない場合は、必ず「IR=ENABLE」に設定してください。「IR=DISABLE」に設定されていると、リモコンでの操作ができません。

4. **元の設定に戻すには、手順1.から3.を行い「IR=ENABLE」に設定します。**

マルチルーム接続

図のようにマランツ製などのアンプと組み合せることによって別室にて本機に接続された再生機器を使って音楽や映画鑑賞をすることができます。

ご注意

- マルチルームスピーカーは、本機のスピーカー出力端子(SURROUND BACK/MULTI SPEAKER)を使用します。したがって、これらの端子をサラウンドバックとしてご使用にならないときに、マルチルームのフロントL/Rとして接続できます。

システムセットアップ

全ての機器の接続が終了した後、OSD セットアップメニューを用いて各種設定をして下さい。

OSD セットアップメニュー

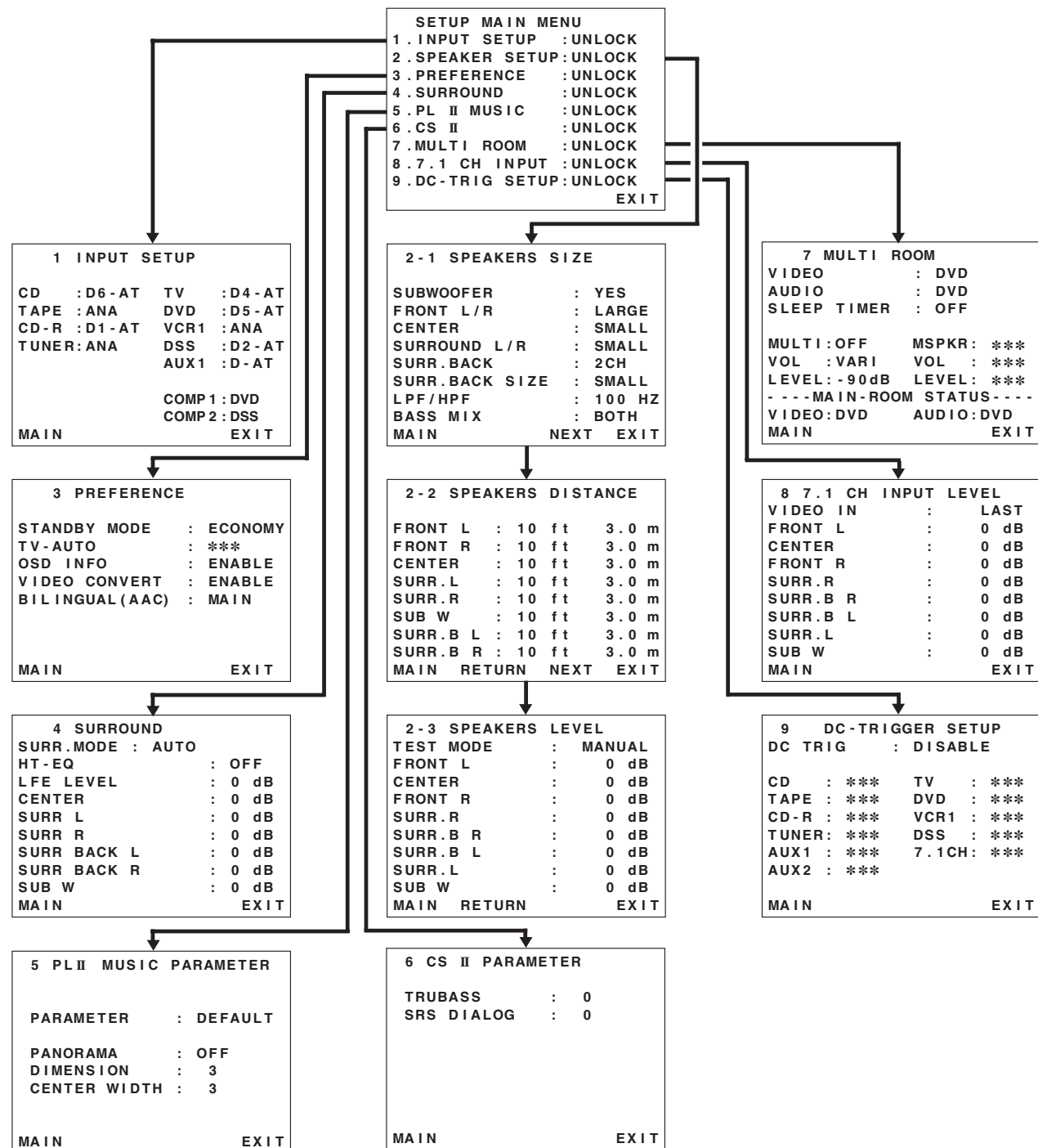
OSDセットアップメニューはリモコンの***MENU*** ボタン、***カーソル*** ボタン(▲, ▼, ◀, ▶)、***OK*** ボタン及び***EXIT*** ボタンの操作によって様々な設定が可能です。
また本体の***SELECT*** ボタン、***ENTER*** ボタン、***SELECTOR*** ダイヤル、***UP/DOWN*** ボタンによっても操作可能です。このとき本体前面表示部にはOSDメニュー内の設定中の項目が表示されます。

ご注意

OSDメニューシステムをテレビやプロジェクターなどの画面に表示させる場合は、必ず本機のMONITOR-OUT端子の出力(ビデオあるいはSビデオ)をテレビやプロジェクターなどに接続して下さい。

1. リモコンの***MENU*** ボタンもしくは***OK*** ボタンを押します。または本体の***SELECT*** ボタンを押し、表示部に「SETUP」と表示させた後、***ENTER*** ボタンを押します。

   SETUP MAIN MENU画面が表示されます。本システムは次のように9つの項目に分かれていて、全部で12画面で構成されています。
2. リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の***SELECTOR*** ダイヤルで上下に移動させ項目を選択します。
3. リモコンのカーソルボタン(◀, ▶)、または本体の***UP/DOWN*** ボタンにより設定の変更を行います。この後リモコンの***OK*** ボタン、本体の***ENTER*** ボタンにより設定内容を確定します。
4. リモコンのカーソルボタン(◀, ▶)、または本体の***UP/DOWN*** ボタンにより各項目ごとにLOCKEDまたはUNLOCKを設定します。LOCKEDを設定した場合は、その項目の選択ができなくなります。設定の変更を行う項目は、UNLOCKを選択してください。
5. OSDメニュー動作を解除する場合は、リモコンの***MENU OFF*** ボタンを押すか、OSDメニュー内のEXITの項にカーソルを移動した後、***OK*** ボタン、または本体前面の***ENTER*** ボタンを押します。

また、本文章内の表記において「カーソルボタン(▲, ▼)」は、「カーソルボタンの上または下」、同様に「カーソルボタン(◀, ▶)」は、「カーソルボタンの左または右」という意味としてご理解ください。

1 INPUT SETUP（デジタル入力設定）

```
      1  INPUT  SETUP

CD      :D6-AT    TV     :D4-AT
TAPE    :ANA      DVD    :D5-AT
CD-R    :D1-AT    VCR1   :ANA
TUNER:  ANA       DSS    :D2-AT
                  AUX1   :D-AT

                  COMP1 : DVD
                  COMP2 : DSS
MAIN                        EXIT
```

本機のデジタル入力端子を接続状態に応じて入力ファンクションごとに設定することができます。

1. **リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、SETUP MAIN MENU画面の「1 INPUT SETUP」の項を選びます。**

2. **リモコンの*OK* ボタンまたは本体の*ENTER* ボタンを押して確定します。**

INPUT SETUPの画面が表示されます。

3. **リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、設定したい入力ファンクションを選びます。**

4. **リモコンのカーソルボタン(◀, ▶)、または本体の*UP/DOWN* ボタンを使って、接続状態に応じた設定に変更します。**

デジタル入力はAUX1およびAUX2を除いて1から6の選択が可能です。

- **Dx−AT** を選択した場合、1.5秒間デジタル信号の入力が無い時には、自動的にアナログ入力に切り替わります。
- **DIG−x** を選択した場合、デジタル入力に固定されます。
- **ANA** を選択した場合、アナログ入力に固定されます。
- **COMP1**、**COMP2** を選択し、コンポーネント端子のビデオソースを決定します。

6. **カーソルを他の行に移動すると設定が確定されます。**

7. **リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、MAINの項へ移動し、リモコンの*OK* ボタンもしくは本体の*ENTER* ボタンを押します。**

SETUP MAIN MENU画面に戻ります。

ご注意

- DTS-CDやDTS-LDを本機で再生している場合、アナログ入力信号からのノイズの再生を防ぐため、この画面では設定の切り替えを禁止しております。
- AUX2はアナログ入力に固定されています。

2 SPEAKER SETUP（スピーカーの設定）

この項では、接続したスピーカーの大きさ、接続の有り無し、リスニングポジションから各スピーカーまでの距離、各チャンネルの音量バランスなどを設定します。

1. **リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、SETUP MAIN MENU画面の「2 SPEAKER SETUP」の項を選びます。**

2. **リモコンの*OK* ボタンまたは本体の*ENTER* ボタンを押して確定します。**

SPEAKER SETUPの始めの画面「**2-1 SPEAKER SIZE**」が表示されます。

2-1 SPEAKERS SIZE（スピーカーの有無およびサイズの設定）

2-1 SPEAKER SIZEの画面にて設定を行います。

```
  2-1  SPEAKERS  SIZE

SUBWOOFER            :  YES
FRONT  L/R           :  LARGE
CENTER               :  SMALL
SURROUND  L/R        :  SMALL
SURR.BACK            :  2CH
SURR.BACK  SIZE      :  SMALL
LPF/HPF              :  100 HZ
BASS  MIX            :  BOTH
MAIN              NEXT    EXIT
```

本設定画面では、使用する各チャンネルのスピーカーの低音域の再生能力や接続の有無などに合わせて設定を行います。以下の**スピーカーサイズ設定のガイドライン**に基づき選択してください。

スピーカーサイズ設定のガイドライン

LARGE： 充分な低音再生能力をもった全帯域対応の大型のスピーカーを使用する場合に選んでください。再生信号の全帯域をそのままスピーカーへ出力します。

SMALL： 低音再生に非対応の小型のスピーカーを使用する場合に選んでください。再生信号の低音域は、サブウーファー出力端子へ振り分けて出力されます。
（SUBWOOFER：NONEに設定した場合はフロントL/Rチャンネルへ振り分けて出力されます）

NONE： 対象となるチャンネルのスピーカーを接続していない場合に選択します。

1. **リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、設定したい項目を選びます。**

2. **リモコンのカーソルボタン(◀, ▶)、または本体の*UP/DOWN* ボタンを使って、接続状態に応じて設定を変更します。**

SUBWOOFER : YES ⇔ NONE

サブウーファーを使用するか、使用しないかを選んでください。

YES： サブウーファーを使用する場合、選んでください。

NONE： サブウーファーを使用しない場合、選んでください。

ご注意

- NONEを選択した場合、自動的にFRONT L/Rの設定はLARGEに固定されます。この場合、6.1ch信号に含まれているLFE信号はフロントL/Rスピーカーに振り分けられて出力されます。

FRONT L/R : SMALL ⇔ LARGE

前記スピーカーサイズ設定のガイドラインに沿ってフロントL/Rチャンネル用の選択をします。

ご注意

- SUBWOOFER:NONEに設定されている場合は、自動的にLARGEに固定されます。

CENTER : SMALL ⇔ LARGE ⇔ NONE

前記スピーカーサイズ設定のガイドラインに沿ってセンターチャンネル用の選択をします。

ご注意

- NONEに設定されている場合、センターチャンネル信号成分は、フロントL/Rスピーカーへ振り分けて出力されます。

SURROUND L/R：SMALL ⇔ LARGE ⇔ NONE

前記スピーカーサイズ設定のガイドラインに沿ってサラウンドL/Rチャンネル用の選択をします。

ご注意

- NONEに設定されている場合、サラウンドL/Rチャンネル信号成分は、フロントL/Rスピーカーへ振り分けて出力されます。

SURR.BACK：NONE ⇔ 2 CH ⇔ 1CH

NONE： サラウンドバックスピーカーを使用しない場合、選んでください。NONEに設定されている場合、サラウンドバックチャンネル信号成分は、サラウンドL/Rスピーカーへ振り分けて出力されます。このとき、EX/ESモードを使用することはできません。

2CH： サラウンドバックスピーカーを2本（L/R）使用する場合、選んでください。

1CH： サラウンドバックスピーカーを1本だけで使用する場合、選んでください。
この場合プリアウト信号は、Suur.Back-L出力端子へのみ出力されます。

SURR.BACK SIZE：SMALL ⇔ LARGE

前記スピーカーサイズ設定のガイドラインに沿ってサラウンドバックチャンネル用の選択をします。

LPF/HPF ：80Hz ⇔ 100Hz ⇔ 120Hz

使用するスピーカーの低音再生特性に合わせて、内部クロスオーバー周波数を80Hz, 100Hz, 120Hzと選択できます。
SMALLに設定したチャンネルは この設定周波数のハイパスフィルターを通過します。サブウーファーへの出力はこの設定周波数のローパスフィルターを通過します。お使いのスピーカーの特性によって調整してください。

BASS MIX ：BOTH ⇔ MIX

この設定はSUBWOOFER：YES、FRONT L/R：LARGE に設定した場合のサブウーファー出力の設定です。

BOTH： この設定は常にフロントL/Rの低音域を、LFE信号と共にサブウーファーへ出力します。

MIX： この設定は、SPEAKERS SIZE設定画面で、**FRONT L/R：SMALL**と設定されていれば、フロントL/Rの低音域をLFE信号と共にサブウーファーへ出力します。
FRONT L/R：LARGEが設定されているときは、フロントL/Rの低音域はサブウーファーへ出力されません。

ご注意

- BASS MIXの設定は、PCMまたはアナログ入力をSTEREOで再生した時に有効になります。

1. この画面の全ての設定が完了したら、リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR*ダイヤルを使って、NEXTの項へ移動します。

2. リモコンの*OK*ボタンまたは本体の*ENTER*ボタンを押して、次画面の2-2 SPEAKERS DISTANCE画面に進みます。

ご注意

- 本画面による設定は7.1CH－INPUTやS-DIRECTを選択した場合は、無効になります。

2-2 SPEAKERS DISTANCE (スピーカーまでの距離の設定)

2-2 SPEAKERS DISTANCEの画面にて設定を行います。

```
  2-2 SPEAKERS DISTANCE

FRONT L  : 10 ft   3.0 m
FRONT R  : 10 ft   3.0 m
CENTER   : 10 ft   3.0 m
SURR.L   : 10 ft   3.0 m
SURR.R   : 10 ft   3.0 m
SUB W    : 10 ft   3.0 m
SURR.B L : 10 ft   3.0 m
SURR.B R : 10 ft   3.0 m
MAIN  RETURN  NEXT  EXIT
```

本設定画面では、リスニングポジションから各スピーカーへの距離を入力します。
ここで入力した距離に従い、各スピーカーからの音声の到達時間が同一になるように各チャンネルのディレイ時間が設定されます。

1. リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR*ダイヤルを使って、設定するチャンネルを選びます。

2. リモコンのカーソルボタン(◄, ►)、または本体の*UP/DOWN*ボタンを押して、チャンネル距離の設定を変更します。

入力する距離の各チャンネル間のバランスが異常な程かけ離れている場合、推奨距離となるように入力時に自動的に設定距離のバランスをとって表示します。各チャンネルは0.3mから9mまで0.3m間隔で設定可能です。

ご注意

- SPEAKERS DISTANCEの画面でNONEに設定したチャンネルのスピーカーは表示されません。

3. この画面の全ての設定が完了したら、リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR*ダイヤルを使って、NEXTの項へ移動します。

4. リモコンの*OK*ボタンもしくは本体の*ENTER*ボタンを押して、次画面の2-3 SPEAKERS LEVEL画面に進みます。

ご注意

- 本画面によるディレイタイム設定は、7.1CH－INPUT時には無効になります。

2-3 SPEAKERS LEVEL (各スピーカーの出力レベル調整)

2-3 SPEAKERS LEVELの画面にて設定を行います。

```
 2-3 SPEAKERS LEVEL
TEST MODE    :  MANUAL
FRONT L      :    0 dB
CENTER       :    0 dB
FRONT R      :    0 dB
SURR.R       :    0 dB
SURR.B R     :    0 dB
SURR.B L     :    0 dB
SURR.L       :    0 dB
SUB W        :    0 dB
MAIN  RETURN       EXIT
```

本設定画面では、テストノイズ信号を用いて各スピーカーの出力レベルを均等に揃える設定を行います。

1. リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR*ダイヤルを使って、設定するチャンネルを選びます。

2. リモコンのカーソルボタン(◄, ►)、または本体の*UP/DOWN*ボタンを押して、出力レベルの調整をします。

3. テストノイズの出力方法を選択します。

TEST MODE：MANUAL ⇔ AUTO

MANUALもしくはAUTOをリモコンのカーソル(◄, ►)ボタン、もしくは本体のUP/DOWNボタンを押して選んでください。

AUTO： AUTOを選ぶと自動的にテストノイズの出力をフロントLチャンネルより開始します。テストトーンノイズの出力チャンネルは自動的にL→C→R→SR→SBR→SBL→SL→SWの順番で約3秒間隔で切り替わります。

MANUAL： リモコンのカーソル(▼)ボタンを押すか、本体のSELECTORダイヤルを右に回すとテストノイズが出力されます。リモコンのカーソル(▼)ボタンを押すごとに、またはダイヤルを右に回すと以下の順番で切り替わります。L→C→R→SR→SBR→SBL→SL→SW→L

4. ボリュームコントロール ボタンにて適量な音量に調整してください。そしてリモコンのカーソルボタン(◄, ►)、または本体の*UP/DOWN*ボタンを押して、テストトーンノイズを出力しているチャンネルの出力レベルを調整をします。

各チャンネルは1dBステップにて調整可能です。各スピーカーからの出力レベルが均等になるように調整します。調整可能範囲はSW(サブウーファー)が+10dB〜－15dB です。その他のチャンネルは、+10dB〜－10dBです。

5. 各チャンネルのレベル調整が完了したら、リモコンのOKボタンまたは本体のENTERボタンを押してください。

テストノイズの出力が止まり、カーソルが最下段のMAINの項に移動します。

6. カーソルがMAINの上にある状態にて、リモコンの*OK*ボタンもしくは本体の*ENTER*ボタンを押して、メインメニューへ戻ります。

ご注意

- この設定で調整したレベルは、全てのドルビーデジタル、ドルビーデジタルEX、プロロジックⅡx、dts、dts－ES、Neo:6の再生に共通で使用されます。
- 7.1CH-INPUT用のチャンネルレベル調整は、本設定とは別にメモリーされますので7.1CH LEVEL CONTROLの画面で別に設定して下さい。
- また他のサラウンドモードは個別にSURROUND 画面にて設定が可能です。

3 PREFERENCE (便利機能の動作設定)

3 PREFERENCEの画面にて各種設定を行います。

```
   3 PREFERENCE

STANDBY MODE      : ECONOMY
TV-AUTO           : ***
OSD INFO          : ENABLE
VIDEO CONVERT     : ENABLE
BILINGUAL(AAC)    : MAIN



MAIN                   EXIT
```

本設定画面では、本機の各種便利機能の動作設定を行います。

1. リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、SETUP MAIN MENU画面の 3 PREFERENCE の項を選びます。

2. リモコンのOKボタンまたは本体のENTERボタンを押して確定します。PREFERENCEの画面が表示されます。

3. リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR*ダイヤルを使って設定したい項目を選びます。

4. リモコンのカーソルボタン(◄, ►)、または本体の*UP/DOWN*ボタンを押して各項の設定を変更します。

5. 本画面の設定が完了したら、リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR*ダイヤルを使って、MAINの項へ移動します。

6. リモコンの*OK*ボタンもしくは本体の*ENTER*ボタンを押してSETUP MAIN MENU画面に戻ります。

STANDBY MODE ：ECONOMY ⇔ NORMAL

ECONOMYを設定すると電源をスタンバイ状態にした場合の消費電力を低減させることが可能です。ただし この設定にした場合、TVオート ON/OFFの機能は使用できなくなります。また、MULTI RC 入力やRS-232C入力による外部コントロールも使用できません。この機能を使用する場合は NORMALの設定をしてください。

参考 ：スタンバイ消費電力
ECONOMY時：約0.6 W
NORMAL時：約1.1 W。

TV-AUTO ： DISABLE ⇔ ENABLE
本機をテレビと連動させて、自動的に電源を入れたり、スタンバイにする機能です。
テレビの電源を入れると本機の電源が入り、テレビの電源を切ると本機は5分後にスタンバイになります。
ENABLE： 本機能を使う場合、選んでください。
DISABLE： 本機能を使用しない場合、選んでください。
詳細は23 ページのTV-AUTOの項を参照して下さい。

ご注意
- 本機能を使用する場合、必ずテレビ側のVIDEO出力端子と本体のテレビ用VIDEO入力端子を接続してください。また本体の主電源を入れた状態でお使いください。テレビやテレビチューナーからのビデオ信号を本機に接続しない場合は、DISABLEを選択してください。

OSD-INFO：ENABLE ⇔ DISABLE
本機の入力切り替え、音量調節、サラウンドモード切り替えなどを行った場合に、テレビ画面にその動作状況を5秒間表示します。この表示機能の選択が可能です。
ENABLE： 表示機能を使う場合、選んでください。
DISABLE： 表示機能を使わない場合、選んでください。

ご注意
- 本機能は背面パネル内のMONITOR出力にのみ働きます。
- 本機能はVIDEO入力およびS-VIDEO入力に有効です。コンポーネントビデオ入力には働きません。
- VIDEO入力かS-VIDEO入力かを検出して働きます。S-VIDEOが優先となりますので、両方の端子に入力が接続されている場合、S-VIDEO用のMONITOR出力のみにOSD表示が現れます。

VIDEO CONVERT： ENABLE ⇔ DISABLE
VIDEOまたはS-VIDEO端子への入力をコンポーネントビデオへ変換します。
ENABLE： ビデオコンバート機能を使う場合、選んでください。
DISABLE： ビデオコンバート機能を使わない場合、選んでください。

BILINGUAL（AAC）： MAIN⇒SUB⇒MAIN+SUB⇒
BSデジタル放送などのAAC信号入力において、2カ国語放送などの場合に再生する信号を選択します。
MAIN： 主音声のみをフロントL/Rチャンネルから再生します。
SUB： 副音声のみをフロントL/Rチャンネルから再生します。
MAIN+SUB： 主音声をフロントL、副音声をフロントRから再生します。

4 SURROUND（サラウンドモードの設定）

4 SURROUNDの画面にて各種設定を行います。

```
    4 SURROUND
SURR.MODE : AUTO
HT-EQ              : OFF
LFE LEVEL          : 0 dB
CENTER             : 0 dB
SURR L             : 0 dB
SURR R             : 0 dB
SURR BACK L        : 0 dB
SURR BACK R        : 0 dB
SUB W              : 0 dB
MAIN                 EXIT
```

本設定画面では、サラウンドモードの選択や各エフェクトのレベル調整をすることが可能です。
サラウンドモードに関しては 20ページの「サラウンドモードについて」の項を参照してください。

1. リモコンのカーソルボタン（▲, ▼）、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、SETUP MAIN MENU画面のSURROUNDの項を選びます。
2. リモコンのOKボタンまたは本体のENTERボタンを押して確定します。SURROUNDの画面が表示されます。
3. リモコンのカーソルボタン（▲, ▼）、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って設定したい項目を選びます。
4. リモコンのカーソルボタン（◄ , ►）、または本体の*UP/DOWN* ボタンを押して各項の設定を変更します。
5. 本画面の設定が完了したら、リモコンのカーソルボタン（▲, ▼）、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、MAINの項へ移動します。
6. リモコンの*OK* ボタンもしくは本体の*ENTER* ボタンを押してSETUP MAIN MENU画面に戻ります。

SURR.MODE：AUTO ⇒．．．⇒ STEREO ⇒
サラウンドモードを順番に選択します。

HT-EQ： OFF ⇔ ON
HT-EQ（ホームシネマ イコライザー）のON/OFFを切り替えます。
HT-EQは、本来劇場用に録音された映画のサウンドトラックを家庭で再生する際に、劇場の特性を忠実に再生するように補正を行うイコライザー機能です。

ご注意
- サウンドモードが S-DIRECT, MULTI-CH.STEREO, VIRTUAL時は、この機能は無効となります。

LFE-LEVEL：0 dB⇒ -10dB⇒ OFF⇒
お使いのスピーカーシステムと選んだサラウンドモードの組合わせにより、低音域の出力にて歪みを発生する場合があります。これは、Dolby Digital信号やDTS信号内のLFE レベルが大き過ぎるためです。この様な場合にLFE信号の再生レベルを以下のように設定することができます。
0dB： LFE信号は通常レベルで再生されます。（通常設定）
-10dB： LFE信号の再生レベルを-10dB減衰します。
Off： LFE信号の再生を行いません。

CENTER
センターチャンネルのレベルをお好みによって調整します。－10から＋10まで調整可能です。

SURR L
サラウンドLチャンネルのレベルをお好みによって調整します。－10から＋10まで調整可能です。

SURR R
サラウンドRチャンネルのレベルをお好みによって調整します。－10から＋10まで調整可能です。

SURR BACK L
サラウンドバックLチャンネルのレベルをお好みによって調整します。－10から＋10まで調整可能です。

SURR BACK R
サラウンドバックRチャンネルのレベルをお好みによって調整します。－10から＋10まで調整可能です。

SUB W LEVEL
サブウーファーチャンネルのレベルをお好みによって調整します。－15から＋10まで調整可能です。

5 PLⅡ (Pro Logic Ⅱ) MUSIC PARAMETER（プロ ロジックⅡ-ミュージック モード用設定）

5 PLⅡ-MUSIC PARAMETERの画面にて設定を行います。

```
5 PLⅡ MUSIC PARAMETER

PARAMETER      : DEFAULT

PANORAMA       : OFF
DIMENSION      :  3
CENTER WIDTH   :  3

MAIN                 EXIT
```

本設定画面では、ドルビープロロジックⅡｘーミュージックモードの各処理の詳細をお好みに合わせて設定することが可能です。
ドルビープロロジックⅡｘーミュージックモードはCDなどのステレオソースからでも、臨場感あふれるサラウンド効果を得ることができます。

ご注意
- 本画面で設定を行う場合、サラウンドモードをPRO LOGIC IIx MUSICモードに選択してから行ってください。

1. リモコンのカーソルボタン（▲, ▼）、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、SETUP MAIN MENU画面のPLⅡ MUSICの項を選びます。
2. リモコンの*OK* ボタンもしくは本体の*ENTER* ボタンを押して確定します。
3. リモコンのカーソルボタン（▲, ▼）、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って設定したい項目を選びます。
4. リモコンのカーソルボタン（◄ , ►）、または本体の*UP/DOWN* ボタンを押して各項の設定を変更します。

PARAMETER： DEFAULT ⇔ CUSTOM
DEFAULT： 標準設定を使用する場合に選択します。各設定が基本の固定値となります。
CUSTOM： 各種処理の詳細をお好みに合わせて設定する場合に選択します。下記の調整をする場合は、こちらを選んでください。

PANORAMA：OFF ⇔ ON
本機能をONするとフロントの音場を左右に大きく回り込ませ、サラウンドchに繋げるような印象になります。

DIMENSION：0 ⇒. . . ⇒ 6
フロントとリアのレベル差を調整する機能です。入力ソースによってはフロントが強くでるもの、リアが強くでるもの、と多様異なりますので、この機能で好みのバランスを得ることができます。0から6までの7段階の調整が可能です。

CENTER WIDTH：0 ⇒. . . ⇒ 7
センターチャンネル成分を、徐々にフロントL/Rのスピーカーに振り分ける機能です。
センター成分を振り分けることで、スピーカー間の音色の不一致を緩和させることが可能になります。0から7までの8段階の調整が可能です。

5. **本画面の設定が完了したら、リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、MAINの項へ移動します。**

6. **リモコンの*OK* ボタンもしくは本体の*ENTER* ボタンを押してSETUP MAIN MENU画面に戻ります。**

6 CSⅡ（サークルサラウンドⅡ）パラメーター

6 CSⅡ PARAMETERの画面にて設定を行います。

```
 6 CS Ⅱ PARAMETER

 TRUBASS        :   0
 SRS DIALOG     :   0





MAIN                EXIT
```

本設定画面では、CSⅡ再生時の各種処理の詳細をお好みに合わせて設定することが可能です。

ご注意

- 本画面で設定を行う場合、サラウンドモードをCSⅡモードに選択してからおこなってください。

1. **リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、SETUP MAIN MENU画面のCSⅡの項を選びます。**

2. **リモコンの*OK* ボタンもしくは本体の*ENTER* ボタンを押して確定します。**

3. **リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って設定したい項目を選びます。**

4. **リモコンのカーソルボタン(◄, ►)、または本体の*UP/DOWN* ボタンを押して各項の設定を変更します。**

TRUBASS ： 0 ⇒. . . ⇒ 6

- Trubassは、パイプオルガンの低音再生技法を電気的に応用したもので、使用するスピーカーの f_0(最低再生可能周波数)以下の低音を再生できます。
- 0から6まで7段階で設定できます。数値が上がる程、効果が大きくなります。
- サブウーファーを使用している場合、本機能はサブウーファー出力に働きます。
- サブウーファーを使用していない場合、本機能はフロントL/R出力に働きます。

SRS DIALOG ： 0 ⇒. . . ⇒ 6

- SRS Dialogはダイアログ(台詞)を明瞭にすると共に、床置きのセンタースピーカーから出る音の音像定位を画面の高さから聴こえるように、上方向に移動(仮想配置)します。
- 0から6まで7段階で設定できます。数値が上がる程、効果が大きくなります。
- SPEAKER SIZE(スピーカーのサイズ)セットアップでセンタースピーカーを｢NONE｣と選択している場合、この設定を行うことはできません。

5. **本画面の設定が完了したら、リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、MAINの項へ移動します。**

6. **リモコンの*OK* ボタンもしくは本体の*ENTER* ボタンを押してSETUP MAIN MENU画面に戻ります。**

7 MULTI ROOM（マルチルーム機能の設定）

```
    7 MULTI ROOM
VIDEO            : DVD
AUDIO            : DVD
SLEEP TIMER      : OFF

MULTI:OFF      MSPKR: ***
VOL  :VARI     VOL  : ***
LEVEL:-90dB    LEVEL: ***
----MAIN-ROOM STATUS----
VIDEO:DVD      AUDIO:DVD
MAIN                EXIT
```

7 MULTI ROOMの画面にて各種設定を行います。
本機はマルチルームシステムの機能を搭載しております。(25ページ参照)
この画面では、この機能を使用するときの各種設定を変更することが可能です。

1. **リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、SETUP MAIN MENU画面のMULTI ROOMの項を選びます。**

2. **リモコンの*OK* ボタンもしくは本体の*ENTER* ボタンを押して確定します。MULTI ROOMの画面が表示されます。**

3. **リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って設定したい項目を選びます。**

4. **リモコンのカーソルボタン(◄, ►)、または本体の*UP/DOWN* ボタンを押して各項の設定を変更します。**

5. **本画面の設定が完了したら、カーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、MAINの項へ移動します。**

6. **リモコンの*OK* ボタンもしくは本体の*ENTER* ボタンを押してSETUP MAIN MENU画面に戻ります。**

VIDEO
マルチルームシステムへ出力するビデオソースを設定します。

AUDIO
マルチルームシステムへ出力するオーディオソースを設定します。

SLEEP TIMER：OFF ⇒ 10 ⇒. . . ⇒ 90 ⇒
マルチルーム機能用のスリープタイマー設定です。OFF→10→20→. . . →90と10分間隔で90分まで設定可能です。設定した時間でマルチルーム機能がOFF状態になります。

MULTI： OFF ⇔ ON
マルチルームシステムのON/OFFを設定します。

VOL (VOLUME SETUP)：VARI ⇔ FIXED

VARI： マルチルームシステム用のオーディオ信号出力レベルを、将来的に別室からのリモートコマンドによって可変コントロール可能(VARIABLE)にする場合選択します。

FIXED： マルチルームシステム用のオーディオ信号出力レベルを固定(FIXED)にする場合に選択します。本機からの出力レベルは下記のレベル設定値に固定されます。

LEVEL (VOLUME LEVEL)：-00⇒. . . ⇒ 0 dB
上記VOLUME SETUPの設定において固定(FIXED)にした場合、その固定値を設定します。VOLUME SETUP設定において可変(VARIABLE)にした場合、現状値を表示します。

MSPKR： OFF ⇔ ON
マルチスピーカーのON/OFFを設定します。

VOL (VOLUME SETUP)：VARI ⇔ FIXED

VARI： マルチスピーカーの出力を可変コントロール可能(VARIABLE)にする場合選択します。

FIXED： マルチスピーカーの出力を固定(FIXED)にする場合に選択します。本機からの出力レベルは下記のレベル設定値に固定されます。

LEVEL (VOLUME LEVEL)：-00⇒. . . ⇒ 0 dB
上記マルチスピーカーのVOLUME SETUPの設定において固定(FIXED)にした場合、その固定値を設定します。マルチスピーカーのVOLUME SETUP設定において可変(VARIABLE)にした場合、現状値を表示します。

ご注意

- ｢MSPKR、マルチスピーカーのVOLUME SETUP、マルチスピーカーのVOLUME LEVEL｣の設定は、2-1 SPEAKER SIZEの画面において、SURR BACKの設定がNONE場合変更できます。設定が変更できない場合、表示が＊＊＊となります。

MAIN ROOM STATUS：VIDEO / AUDIO
メインルーム側の現在の入力設定状態を表示します。(表示のみで設定はできません)

8 7.1CH INPUT LEVEL（7.1CH INPUT用チャンネルレベル調整）

8 7.1CH INPUT LEVELの画面にて設定を行います。

```
 8 7.1 CH INPUT LEVEL
VIDEO IN       :    LAST
FRONT L        :    0 dB
CENTER         :    0 dB
FRONT R        :    0 dB
SURR.R         :    0 dB
SURR.B R       :    0 dB
SURR.B L       :    0 dB
SURR.L         :    0 dB
SUB W          :    0 dB
MAIN                EXIT
```

この画面では、7.1CH INPUT入力動作時の各スピーカーの出力レベルを均等に揃えることが可能です。

1. リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、SETUP MAIN MENU画面の7.1CH INPUT の項を選びます。

2. リモコンの*OK* ボタンまたは本体の*ENTER* ボタンを押して確定します。

7.1CH INPUT LEVELの画面が表示されます。

3. リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、調整するチャンネルを選びます。

4. リモコンのカーソルボタン(◄ , ►)、または本体の*UP/DOWN* ボタンを押して出力レベルの調整をします。

調整可能範囲はSUB W（サブウーファー）が+10dB〜－15dBです。その他のチャンネルは、+10dB〜－10dBです。

ご注意

● この画面での設定値は、7.1CH INPUT入力をご使用時にのみ適用されます。

5. 本画面の設定が完了したら、リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体のSELECTORダイヤルを使って、MAINの項へ移動します。

6. リモコンの*OK* ボタンまたは本体の*ENTER* ボタンを押してSETUP MAIN MENU画面に戻ります。

9 DC TRIGGER SETUP（DCトリガー信号出力設定）

9 DC-TRIGGER SETUPの画面にて設定を行います。
本画面では、将来に向けての、ホームシネマシステム用外部コントロール機器との接続設定用に用います。
本機のファンクション入力切替に連動させて、スクリーンを自動昇降させたり、部屋のライトを点灯、消灯などの用途に向けての設定です。
設定した入力ファンクションが選ばれた場合に本機背面のDC OUTからトリガー信号（DC12V）を出力します。

1. リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、SETUP MAIN MENU画面のDC-TRIG SETUPの項を選びます。

2. リモコンのOKボタンまたは本体のENTERボタンを押して確定します。

DC TRIGGER SETUPの画面が表示されます。

```
 9   DC-TRIGGER SETUP
DC TRIG    : DISABLE

CD    : ***    TV    : ***
TAPE  : ***    DVD   : ***
CD-R  : ***    VCR1  : ***
TUNER : ***    DSS   : ***
AUX1  : ***    7.1CH : ***
AUX2  : ***

MAIN                 EXIT
```

3. リモコンのカーソルボタン(◄ , ►)、または本体の*UP/DOWN* ボタンを押して、DISABLE、MAINROOMまたはMULTIROOMを選択します。

DISABLE： DC-TRGの出力を使用しない場合に選択します。
MAIN ROOM： DC-TRGの出力をメインルーム用の入力切替に連動させる場合に選択します。
MULTI ROOM： DC-TRGの出力をマルチルーム用の入力切替に連動させる場合に選択します。
REMOTE： REMOTEは、外部コントロール用です。付属のリモコンRC1400では、動作しません。

4. リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、各ファンクションを選択します。

5. リモコンのカーソルボタン(◄ , ►)、または本体の*UP/DOWN* ボタンを押します。

ON： 連動出力をさせる場合に選択します。
OFF： 連動出力をさせない場合に選択します。

6. 全ての設定が完了したら、リモコンのカーソルボタン(▲, ▼)、または本体の*SELECTOR* ダイヤルを使って、MAINの項へ移動します。

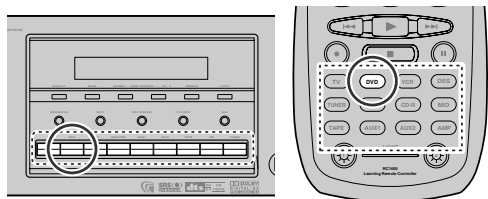
7. リモコンの*OK* ボタンまたは本体の*ENTER* ボタンを押してSETUP MAIN MENU画面に戻ります。

基本操作

この章におけるリモコン操作は、リモコンの動作モードをAMPにした状態で動作します。AMPモードにするにはリモコンのAMPボタンを押してください。

入力ファンクションの選択

信号を再生する際は、まず初めに本体の入力ファンクションを選択する必要があります。

例）DVDからの信号を再生する。

1. **本体の*DVD*ボタン、またはリモコンの*DVD*ボタンを続けて2回押します。**

2. **その後DVDプレーヤー側で再生を開始します。**

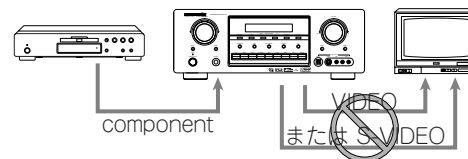
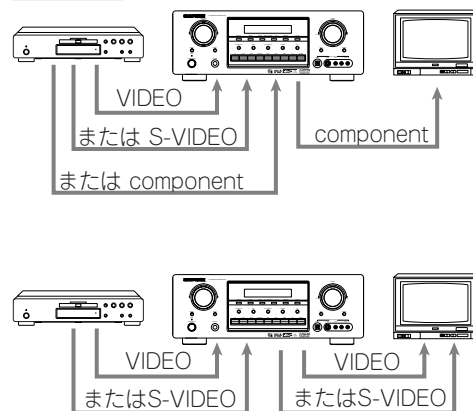
- 入力ファンクションを切り替えた際、OSDや前面表示部に選択したファンクション名が表示されます。
- 入力ファンクションごとにサラウンドモード、デジタル入力、アナログ入力などの前回の状態がメモリーされています。
- オーディオファンクション（Tuner、CD、Tape、CD-R、AUX）を選択した場合、ビデオ出力は最後に選択したVideo機器の状態を保持しています。
- ビデオ系のファンクションを選択した場合、Monitor OUT（モニターアウト）端子から選択した機器のビデオ信号が出力されます。

ビデオコンバート機能

本機は映像入力信号の変換機能を持っています。ビデオ又はS-ビデオの入力をコンポーネント（COMPONEMT VIDEO）端子に出力することが出来ます。
セットアップメニューの3 PREFERENCEのVIDEO CONVERTで選択をします。

ご注意

- コンポーネントビデオの信号は、コンポーネント端子のみに出力されます。DVD等の映像機器とコンポーネント端子で接続する場合はモニターともコンポーネント端子で接続してください。
- この機能は、録画用出力端子には働きません。
- この機能は、スチル、早送り、逆再生等では、正常に再生されません。
- ビデオコンバート機能は、ご使用になるテレビ、ビデオプロジェクター等によっては同期ずれ等の不具合が発生する場合があります。このような場合はビデオコンバートの機能をオフ（DISABLE）にしてご使用下さい。
- 組合せる機器によっては、ノイズによって本機が正しく動作しない場合があります。このような場合もビデオコンバートの機能はオフにしてご使用下さい。

接続図例

ご注意

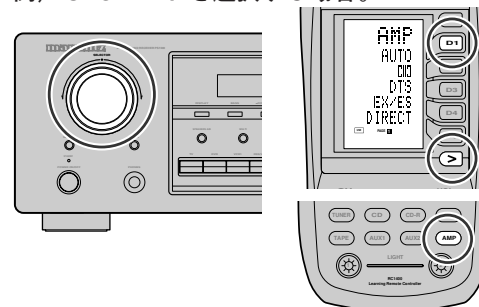
- コンポーネントビデオの信号は、ビデオ又はS-ビデオの信号にコンバートできません。

メニュー画面についてのご注意

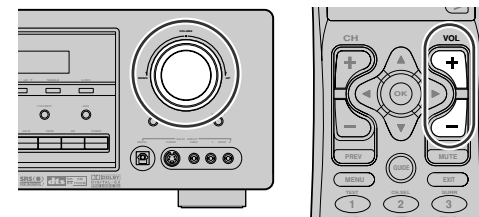
- セットアップメニューは全ての映像端子（ビデオ、S-ビデオ、コンポーネント）に出力されます。
- OSDインフォメーションはビデオまたはS-ビデオの端子に出力されます。ビデオコンバージョンの機能をオンにした場合、ビデオまたはS-ビデオからの信号をコンポーネントに出力すると表示されます。しかし、コンポーネント入力→コンポーネント出力では表示しません。

サラウンドモードの選択

入力ファンクションを選んだ後は、ご希望のサラウンドモードを選択します。
各サラウンドモードについては　20ページのサラウンドモードの項を参照してください。

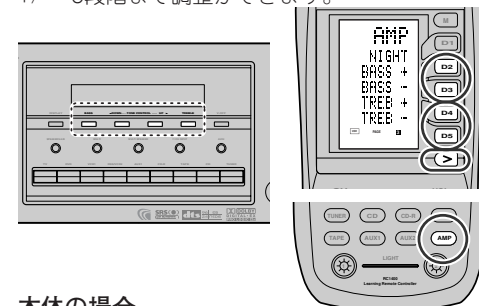
例）AUTOモードを選択する場合。

1. **本体の*SELECT*ダイヤルを回し、前面表示部にAUTOと表示が出るようにします。リモコンでは*AUTO*ボタンを押します。**

（他のサラウンドモードを選択する場合は、リモコンでご希望のサラウンドモードボタンを押してください）

音量を調整する

1. **本体の*VOLUME ダイヤル*を回すか、リモコンの*VOL*（＋）、（－）*ボタン*を押してお好みの音量に調整します。**

- 音量を上げるにはVOLUMEツマミを右に回すか、リモコンのVOL（＋）ボタンを押して下さい。
- 音量を下げるにはVOLUMEツマミを左に回すか、リモコンのVOL（－）ボタンを押して下さい。
- 音量調整時には本体前面表示部およびOSDに調整レベルが表示されます。

トーンコントロール

スピーカー音声出力のBASS（低音域）、TREBLE（高音域）の調整が各々調整可能です。それぞれ、+/－ 6段階まで調整ができます。

本体の場合

- **本体前面の*BASS*ボタンまたは*TREBLE*ボタンを押し、表示部に“BASS”または“TREBLE”を表示させます。本体の*UP/DOWN*ボタンを押してお好みのレベルに調整してください。**

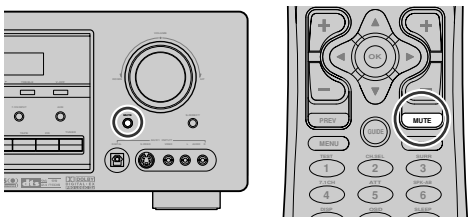
リモコンの場合

- リモコンの*AMP* ボタンを押し、PAGE3の表示になるまで、＞ボタンを押します。*BASS+(D2)*、*BASS-(D3)*、*TREBLE+(D4)*または*TREBLE-(D5)*を押してお好みのレベルに調整してください。

ご注意

- トーンコントロールはサラウンドモード、再生状態、あるいは入力信号によっては使用できない場合があります。

ミュート機能

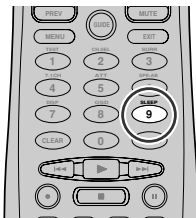
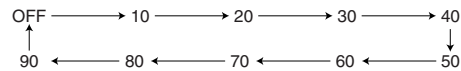
本機で再生動作をしているとき、一時的にスピーカーからの音声を消すことができます。

1. **本体の*MUTE*ボタンまたはリモコンの*MUTE*ボタンを押します。音声出力が消えます。**

本体前面表示部、OSDにMUTEと表示されます。

2. **ミュートを解除したい場合は、再度本体もしくはリモコンの*MUTE*ボタンを押します。**

音声が再び出力されます。またリモコンのボリュームコントロールによってもミュートは解除されます。

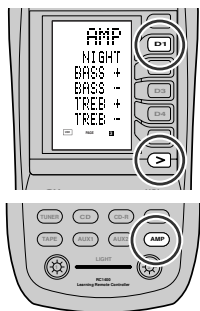
スリープタイマーを使う

設定した時間になると自動的に電源がスタンバイ状態になる機能です。最大90分まで設定可能です。

1. **リモコンの*SLEEP*ボタンを押します。押すごとに前面表示部の設定時間表示が次ぎのように変わります。**

2. **ご希望の時間を表示したら、約２秒間お待ちください。スリープタイマーがセットされます。**

前面表示部内のSLEEPが点灯します。

3. **スリープタイマーを解除したい場合は、上記の手順1.と2.を行ってOFFを選択してください。**

ナイトモード

夜間などに再生音のダイナミックレンジを押さえて、全体の音量を上げずに小さな音声を聞きやすくすることができます。この機能はリモコンにて切り替えを行います。
ナイトモードの効果は、ドルビーデジタルのソフトによって設定されいます。この機能に対応していないソフトには効果がない場合があります。

1. **リモコンの*AMP* ボタンを押し、PAGE3の表示になるまで、＞ボタンを押します。**

2. ***NIGHT(D1)*ボタンを押します。**

本体前面表示部内のNIGHTが点灯します。

3. **ナイトモードを解除したい場合は、再度リモコンの*NIGHT(D1)*ボタンを押します。**

本体前面表示部内のNIGHTが消えます。

サラウンドモードについて

本機は以下のような多種のサラウンドモードを持っております。再生するソースやお好みに応じて各種モードを使い分けることが可能です。
入力ファンクションごとにこれらのサラウンドモードはメモリーされます。
入力信号によって各サラウンドモードの再生状態が変わります。（サラウンドモード/入力信号対応表を参照）

AUTO（オート　サラウンド）

入力されるデジタル信号の種類を検出し、自動的に再生状態を切り替えます。
ドルビーデジタル、ドルビーデジタルEX、ドルビーサラウンド 、DTS、DTS-ES、AAC、PCM、96kPCMなどの信号フォーマットを検出してそれぞれに対応した再生モードに切り替えます。
基本的に、入力信号がPCM信号の場合はSTEREO再生を行います。ドルビーデジタルやDTS、AAC の場合それぞれのチャンネル数に応じた再生を行います。

DD モード

（DOLBY DIGITAL, PRO LOGICⅡx－Movie、Music、Game、PRO LOGIC）
DVDなどのドルビーデジタル5.1ch信号入力に対してはそのまま再生します。
2ch入力信号に対してはドルビープロロジックⅡ再生を行うことができます。
従来のプロロジックは、フロント3ch、リアはモノ（1ch）の4ch構成となっていました。またサラウンドチャンネルの再生帯域に制限があり、上限が７kHzでした。
プロロジックⅡは、ドルビーデジタルと同じように、フロント3ch、サラウンド2chのフルバンド5chで構成されており、自然なサラウンド表現が可能です。
プロロジックⅡxモードは、サラウンドバックチャンネルが追加され、さらに包囲感を得られます。プロロジックⅡxモードでは、Movie（ムービー）モード、Music（ミュージック）モード、Game（ゲーム）モードとプロロジック互換モードの4種から選択できます。リモコンのDDボタン（AMPボタン→＞ボタン：PAGE1→D2）を押して選択してください。

PRO LOGICⅡx-Movieモードは映画再生にパラメータを最適化したものです。ドルビーサラウンド・エンコード作品は、このモードで視聴するとより効果的です。

PRO LOGICⅡx-Movieモードは、音楽再生に最適化したパラメータを持たせております。サラウンドchは定位よりも包囲感が得られるチューニングになっています。このモードは通常のステレオ録音された音楽などを再生するときに用いることができます。Musicモードではお好みに合わせて各種パラメーターを調整することが可能です。（PLⅡミュージックパラメーター 設定の項16ページ参照）

PRO LOGICⅡx-Gameモードは、ゲームソフト特有の特殊音再生にパラメーターを最適化したものです。低音域の強化によりインパクトのある音場を再生します。

PRO LOGICモードは従来のプロロジック再生互換があります。ドルビーサラウンド録音ソースに対しそのまま忠実なデコードをします。

ご注意

- 本モードは2ch信号入力の場合はプロロジックⅡx再生を行いますが、ドルビーデジタル5.1ch信号が入力された場合は自動的にドルビーデジタル5.1ch再生に切り替わります。
- 本モードでは、ドルビーデジタルEX信号が入力されてもEX（6.1ch）再生はしません。

  EX再生をする場合はEX/ESモードを選んでください。
- SPEAKER SETUP（スピーカーの設定）でサラウンドバックスピーカー（SURR. BACK）をNONEに設定している時は、プロロジックⅡxモードの再生できません。このときは、プロロジックⅡ モードの再生になります。

  SPEAKER SETUPについては、14ページを参照してください。

DTS モード
（DTS、NEO:6-CINEMA、NEO:6-MUSIC）

DVDなどのdts5.1ch信号入力に対してはそのまま再生します。
2ch信号入力（アナログ信号入力を含む）に対してはNeo:6-Cinema、Neo:6-Musicの選択が可能です。
リモコンの***DTS***ボタン（AMPボタン→＞ボタン：PAGE1→D3）を押して選択してください。
dts-Neo:6は２チャンネル記録された入力信号から６チャンネルのフルバンドチャンネルを再生します。
Neo:6-Cinema（シネマ）とNeo:6-Music（ミュージック）の2種類のマトリックス・モードが選択できます。
Neo:6-Cinema はサラウンド・エンコーディングされた映画のサウンド・トラック用のマトリックス・モードでVTR等の2chソースから6.1chのサラウンド再生が可能です。

Neo:6-Music は従来のステレオ音楽を6.1chにて再生するためのマトリックス・モードです。

ご注意

- 本モードでは、dts-ES信号が入力されてもES(6.1ch)再生はしません。ES再生をする場合はEX/ESモードを選んで下さい。

  Neo:6再生は各種2ch信号入力時にのみ選択できます。

EX/ES

ドルビーデジタル5.1ch、AAC-5.1chの場合、一度5.1chデコードをした後にマトリクス処理を行うことで、サラウンドバック信号を付加します。
ドルビーデジタルEX処理が行われ記録された入力信号では、サラウンド空間再生の定位感が向上します。
しかし、サラウンドEX 処理が行われていない5.1ch信号に対しては不自然な定位再生になることがあります。
(詳しくはDVDのパッケージなどを参照して、本モードに切り替えてください)
DTS-ES信号入力の場合、信号内に記録された判別信号によってDiscrete-6.1、Matrix-6.1の再生方式を切り替えてDTS-ES処理を行います。通常の5.1ch-DTS信号入力の場合、一度5.1chデコードをした後にMatrix-6.1処理を行いサラウンドバック信号を付加します。

ご注意

- 入力信号にL、R独立したサラウンド信号成分が記録されている場合に有効です。よってPCM信号、アナログ信号などの入力時はこのモードは使用できません。

  また、セットアップのスピーカー設定にてサラウンドバックスピーカーを使用している設定の場合にのみ有効です。サラウンドバックスピーカーを使用しない設定の場合、このモードは使用できません。

CSII(サークルサラウンドII)

通常のVTRやCDなどのステレオやモノラル等、あらゆる素材を6.1ch音場再生することができるモードです。
CSII-CinemaとMusicおよびMonoの3種類のモードがあります。リモコンの***CS-II***(AMPボタン→>ボタン:PAGE2→D4)ボタンを押して選択してください。

CSII-Cinema(シネマ)
映画などのサウンド・トラック用の再生に適したモードでVTR等の2chソースから6.1chのサラウンド再生が可能です。

CSII-Music(ミュージック)
CDなど従来のステレオ音楽を6.1chにて再生するのに適したモードです。

CSII-Mono(モノ)
モノラル録音された映画素材やTV放送でさえも、6.1ch再生を可能にします。

またCSIIモードではお好みに合わせて各種パラメーター(Trubass、SRS DIALOG)を調整することが可能です。(CSIIパラメーター 設定の項参照)

ご注意

- CSII再生は各種2ch信号入力時にのみ選択できます。

MULTI-CH. STEREO (マルチチャンネル・ステレオ)

2ch 信号入力に対して独自の処理を行いマルチチャンネル(6.1ch)再生をします。
5.1ch信号入力に対してはそのまま再生します。

VIRTUAL (バーチャル)

2本のフロントスピーカーだけで、あたかもサラウンドスピーカーがあるようなサラウンド効果を再現します。
ドルビーデジタル、DTSやAACのマルチチャンネルソースにヴァーチャル処理を行い再生します。また2ch信号入力に対しては一度サラウンド処理を行った後にヴァーチャル再生を行います。

STEREO (ステレオ)

入力信号のチャンネル数に関わらずステレオ再生を行います。このモードでは5.1ch信号(ドルビーデジタル、DTSやAAC)が入力されている場合でも、フロントL/Rだけの再生となります。

S-DIRECT(ソース ダイレクト)

スピーカー設定などによる周波数フィルターやディレイ、トーンコントロールなどの付加処理をバイパスします。よって入力信号を最短処理にて出力します。またアナログ信号入力時にはデジタル部の処理を停止して、高周波クロックなどの影響を最小限にします。

ご注意

- このモードを選択すると、内部的にセットアップメニューのSPEAKER SIZEにおける各スピーカーの設定がすべてLARGEおよびSubWoofer=YESの設定状態で再生されます。

  またトーンコントロール、HT-EQなどの処理はすべて無効となります。

デジタル信号入力に関して

本機とDVDプレーヤーなどをデジタル信号接続により使用している場合、プレーヤーによってはスキップ動作や音声切り替えなどを行ったときに、音声が途切れたり、音声出力が遅れることがあります。これは有害なノイズの発生を防ぐ為であり故障ではありません。

DOLBY SURROUND EX 信号に関する注意

ドルビーデジタルEX再生はデジタル入力時のみ可能です。
ドルビーサラウンドEX処理が行われたソースの再生にはEX/ESモードの使用を推奨します。
自動的にドルビーデジタルEX再生に切り替わらない場合、DVDのジャケットの表記などを参照の上、EX/ESモードに切り替えてください。
これはDVD内にSurround EX判別用信号が正確に記録されていない場合があるためです。

96kHz PCM信号に関する注意

96kHz PCM信号入力時はAUTO、STEREO、S-DIRECTが選択可能です。
DVDプレーヤーによっては96kHz PCM信号のデジタル出力に対応していない場合があります。詳しくはお使いのDVDプレーヤーの取扱い説明書をご覧ください。
DVDディスクによっては著作権保護のため、96kHz PCM信号のデジタル出力を禁止している場合があります。

DTS信号に関する注意

DTS信号の再生はデジタル入力時のみ可能です。
DTS-CDやDTS-LDを再生する場合、プレーヤーのアナログ音声出力からノイズが出力されていることがあります。必ずプレーヤーのデジタル出力端子と本機のデジタル入力端子を接続してご使用ください。
上記ノイズ出力の理由により、本機でDTS-CDやDTS-LDを再生中は、デジタル、アナログ入力の切り替え動作などを禁止している場合があります。一度プレーヤー側をSTOP状態にしてから行ってください。

サラウンドモード / 入力信号対応表

サラウンドモード	入力信号	再　生	出力チャンネル L/R	C	SL SR	SBL SBR	SubW	前面表示 信号フォーマット表示	プログラムチャンネル表示
AUTO	Dolby Surr. EX	Dolby Digital EX	○	○	○	○	○	DD DIGITAL	L, C, R, SL, SR, S, LFE
	Dolby D (5.1ch)	Dolby Digital 5.1	○	○	○	-	○	DD DIGITAL	L, C, R, SL, SR, LFE
	Dolby D(2ch)	Dolby Digital 2.0	○	-	-	-	-	DD DIGITAL	L, R
	Dolby D (2ch Surr)	Pro Logic IIx movie	○	○	○	○	*	DD DIGITAL , DD SURROUND	L, R, S
	DTS-ES	DTS-ES	○	○	○	○	○	dts, ES	L, C, R, SL, SR, S, LFE
	DTS 96/24	DTS 96/24	○	○	○	-	○	dts 96/24	L, C, R, SL, SR, LFE
	DTS (5.1ch)	DTS 5.1	○	○	○	-	○	dts	L, C, R, SL, SR, LFE
	PCM(Audio)	PCM (Stereo)	○	-	-	-	-	PCM	L, R
	PCM 96kHz	PCM (96kHz Stereo)	○	-	-	-	-	PCM	L, R
	AAC (5.1ch)	AAC 5.1	○	○	○	-	○	AAC	L, C, R, SL, SR, LFE
	AAC (2ch)	AAC 2.0	○	-	-	-	-	AAC	L, R
	Analog	Stereo	○	-	-	-	-	ANALOG	-
S-DIRECT	Dolby D Surr. EX	Dolby Digital EX	○	○	○	○	○	DD DIGITAL	L, C, R, SL, SR, S, LFE
	Dolby D (5.1ch)	Dolby Digital 5.1	○	○	○	-	○	DD DIGITAL	L, C, R, SL, SR, LFE
	Dolby D (2ch)	Dolby Digital 2.0	○	-	-	-	-	DD DIGITAL	L, R
	Dolby D (2ch Surr)	Pro Logic IIx movie	○	○	○	○	*	DD DIGITAL , DD SURROUND	L, R, S
	DTS-ES	DTS-ES	○	○	○	○	○	dts, ES	L, C, R, SL, SR, S, LFE
	DTS 96/24	DTS 96/24	○	○	○	-	○	dts 96/24	L, C, R, SL, SR, LFE
	DTS (5.1ch)	DTS 5.1	○	○	○	-	○	dts	L, C, R, SL, SR, LFE
	PCM (Audio)	PCM (Stereo)	○	-	-	-	-	PCM	L, R
	PCM 96kHz	PCM (96kHz Stereo)	○	-	-	-	-	PCM	L, R
	AAC (5.1ch)	AAC 5.1	○	○	○	-	○	AAC	L, C, R, SL, SR, LFE
	AAC (2ch)	AAC 2.0	○	-	-	-	-	AAC	L, R
	Analog	Stereo	○	-	-	-	-	ANALOG	-
EX/ES	Dolby D Surr. EX	Dolby Digital EX	○	○	○	○	○	DD DIGITAL	L, C, R, SL, SR, S, LFE
	Dolby D (5.1ch)	Dolby Digital EX	○	○	○	○	○	DD DIGITAL	L, C, R, SL, SR, LFE
	DTS-ES	DTS-ES	○	○	○	○	○	dts, ES	L, C, R, SL, SR, S, LFE
	DTS(5.1ch)	DTS-ES	○	○	○	○	○	dts	L, C, R, SL, SR, LFE
	AAC (5.1ch)	AAC EX	○	○	○	-	○	AAC	L, C, R, SL, SR, LFE
DOLBY (PL IIx movie) (PL IIx music) (PL IIx game) (Pro Logic)	Dolby D Surr. EX	Dolby Digital 5.1	○	○	○	○	○	DD DIGITAL	L, C, R, SL, SR, S, LFE
	Dolby D (5.1ch)	Dolby Digital 5.1	○	○	○	○	○	DD DIGITAL	L, C, R, SL, SR, LFE
	Dolby D (2ch)	Pro Logic IIx	○	○	○	○	*	DD DIGITAL	L, R
	Dolby D (2ch Surr)	Pro Logic IIx	○	○	○	○	*	DD DIGITAL, DD SURROUND	L, R, S
	PCM (Audio)	Pro Logic IIx	○	○	○	○	*	PCM	L, R
	AAC (2ch)	Pro Logic IIx	○	○	○	○	*	AAC	L, R
	Analog	Pro Logic IIx	○	○	○	○	*	ANALOG	-
DTS (Neo:6 Cinema) (Neo:6 Music)	DTS-ES	DTS 5.1	○	○	○	-	○	dts, ES	L, C, R, SL, SR, S, LFE
	DTS 96/24	DTS 96/24	○	○	○	-	○	dts 96/24	L, C, R, SL, SR, LFE
	DTS (5.1ch)	DTS 5.1	○	○	○	-	○	dts	L, C, R, SL, SR, LFE
	PCM (Audio)	Neo:6	○	○	○	○	*	PCM	L, R
	Analog	Neo:6	○	○	○	○	*	ANALOG	-
	Dolby D (2ch)	Neo:6	○	○	○	○	*	DD DIGITAL	L, R
	Dolby D (2ch Surr)	Neo:6	○	○	○	○	*	DD DIGITAL, 2 SURROUND	L, R, S
	AAC (2ch)	Neo:6	○	○	○	○	*	AAC	L, R
CS II Cinema CS II Music CS II Mono	PCM (Audio)	CS II	○	○	○	○	○	PCM	L, R
	Analog	CS II	○	○	○	○	○	ANALOG	-
	Dolby D (2ch)	CS II	○	○	○	○	○	DD DIGITAL	L, R
	Dolby D (2ch Surr)	CS II	○	○	○	○	○	DD DIGITAL, 2 SURROUND	L, R, S
	AAC (2ch)	CS II	○	○	○	○	○	AAC	L, R
STEREO	Dolby Surr. EX	Stereo	○	-	-	-	○	DD DIGITAL	L, C, R, SL, SR, S, LFE
	Dolby D (5.1ch)	Stereo	○	-	-	-	○	DD DIGITAL	L, C, R, SL, SR, LFE
	Dolby D (2ch)	Stereo	○	-	-	-	*	DD DIGITAL	L, R
	Dolby D (2ch Surr)	Stereo	○	-	-	-	*	DDDIGITAL, DD SURROUND	L, R, S
	DTS-ES	Stereo	○	-	-	-	○	dts, ES	L, C, R, SL, SR, S, LFE
	DTS 96/24	Stereo	○	-	-	-	○	dts 96/24	L, C, R, SL, SR, LFE
	DTS (5.1ch)	Stereo	○	-	-	-	○	dts	L, C, R, SL, SR, LFE
	PCM (Audio)	Stereo	○	-	-	-	*	PCM	L, R
	PCM 96kHz	Stereo	○	-	-	-	*	PCM	L, R
	AAC (5.1ch)	Stereo	○	-	-	-	○	AAC	L, C, R, SL, SR, LFE
	AAC (2ch)	Stereo	○	-	-	-	*	AAC	L, R
	Analog	Stereo	○	-	-	-	*	ANALOG	-
Virtual	Dolby Surr. EX	Virtual	○	-	-	-	-	DD DIGITAL	L, C, R, SL, SR, S, LFE
	Dolby D (5.1ch)	Virtual	○	-	-	-	-	DD DIGITAL	L, C, R, SL, SR, LFE
	Dolby D (2ch)	Virtual	○	-	-	-	-	DD DIGITAL	L, R
	Dolby D (2ch Surr)	Virtual	○	-	-	-	-	DD DIGITAL, DD SURROUND	L, R, S
	DTS-ES	Virtual	○	-	-	-	-	dts, ES	L, C, R, SL, SR, S, LFE
	DTS (5.1ch)	Virtual	○	-	-	-	-	dts	L, C, R, SL, SR, LFE
	PCM (Audio)	Virtual	○	-	-	-	-	PCM	L, R
	AAC (5.1ch)	Virtual	○	-	-	-	-	AAC	L, C, R, SL, SR, LFE
	AAC (2ch)	Virtual	○	-	-	-	-	AAC	L, R
	Analog	Virtual	○	-	-	-	-	ANALOG	-
Multi Ch. Stereo	Dolby Surr. EX	Dolby Digital EX	○	○	○	○	○	DD DIGITAL	L, C, R, SL, SR, S, LFE
	Dolby D (5.1ch)	Dolby Digital 5.1	○	○	○	-	○	DD DIGITAL	L, C, R, SL, SR, LFE
	Dolby D (2ch)	Multi Channel Stereo	○	○	○	○	*	DD DIGITAL	L, R
	Dolby D (2ch Surr)	Multi Channel Stereo	○	○	○	○	*	DD DIGITAL, DD SURROUND	L, R, S
	DTS-ES	DTS-ES	○	○	○	○	○	dts, ES	L, C, R, SL, SR, S, LFE
	DTS (5.1ch)	DTS 5.1	○	○	○	-	○	dts	L, C, R, SL, SR, LFE
	PCM (Audio)	Multi Channel Stereo	○	○	○	○	*	PCM	L, R
	AAC (5.1ch)	AAC 5.1	○	○	○	-	○	AAC	L, C, R, SL, SR, LFE
	AAC (2ch)	Multi Channel	○	○	○	○	*	AAC	L, R
	Analog	Multi Channel Stereo	○	○	○	○	*	ANALOG	-

- Dolby Digital (2ch Surr) :
  ドルビーサラウンド処理されたドルビーデジタル2ch信号
- ＊: サブウーファー他のスピーカーのLarge/Smallによってサブウーファー出力は異なります。

L/R : フロントスピーカー
C : センタースピーカー
SL/SR : サラウンドスピーカー
SBL/SBR : サラウンドバックスピーカー
SubW : サブウーファースピーカー

その他の機能

この章におけるリモコン操作は、リモコンの動作モードをAMPにした状態で動作します。AMPモードにするにはリモコンのAMPボタンを押してください。

テレビオート機能(TV-AUTO)

本機をテレビと連動させて、自動的に電源を入れたり、スタンバイにすることができます。テレビの電源を入れると本機の電源が入り、テレビの電源を切ると本機は5分後にスタンバイになります。

1. この機能を使う場合は、OSDメニューシステムのPREFERENCE にてTV-AUTO:ENABLEの設定を行ってください。(15ページ参照)

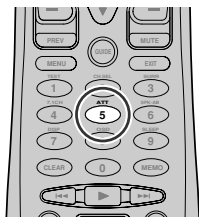
2. テレビ側のVIDEO(ビデオ)信号出力端子と本機のテレビ用VIDEO(ビデオ)信号入力端子を接続します。

3. 電源ON状態からスタンバイになる動作は、本機の入力ファンクションをTVに設定したときのみ有効です。

ご注意

- 本機の主電源を切っている状態では、この機能は働きません。主電源をいれた状態で使用してください。
- STANDBY MODE(スタンバイモード)をECCONOMYに設定している場合、この機能は働きません。本機能を使用する場合はSTANDBY MODEをNORMALに設定してください。
- 本機能は、S-Video入力端子には対応しておりません。ご利用の際は必ずVIDEO入力端子を使用してください。

アッテネート機能

アナログ信号入力を本機にて再生しているとき、前面表示部のPEAK表示が点灯する場合があります。これは、本機の内部処理に対して入力信号レベルが大きすぎることを意味します。このときアッテネート機能によってアナログ入力信号レベルを減衰させることができます。

- この機能は、アナログ入力が選択されている場合に有効です。
- この機能は、各入力ファンクションごとにメモリーされます。例えば、CDを選択しアッテネート機能を設定して、他の入力に切り替えた後、再びCDを選択したときに、アッテネート機能は有効になっています。

1. リモコンの*ATT* ボタンを押します。

本体前面表示部のATT表示が点灯し、動作状態を表します。アナログ入力信号レベルがおよそ半分に減衰されます。

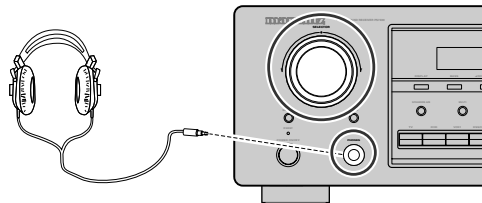
2. アッテネート機能を解除したい場合は、再度*ATT* ボタンを押します。

ATT表示が消えます。アナログ入力信号レベルがもとに戻ります。

ヘッドホンで聞く

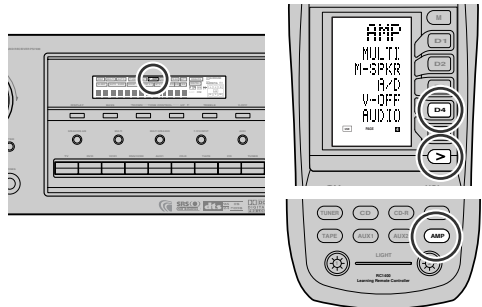
本機は「TruSurroundヘッドホン」機能を搭載しています。夜間に大きな音で映画や音楽を楽しめない方のために、マルチチャンネルの立体音響をヘッドホンで体感できるように開発されたのが「TruSurroundヘッドホン」です。
ヘッドホンの標準ステレオジャックを本機前面のPHONES端子に接続します。
ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声は自動的に無音になります。
サラウンドモードは自動的にステレオモードになり、S-DIRECTも選択可能です。また、このとき本体の***SELECT*ダイヤル**を回すことでモードをSTEREOとTruSurround(TS)を切り替えることができます。
深夜のプライベートリスニングの際は、ヘッドホンの使用をお勧めします。

ご注意

- ヘッドホンをPHONES端子から外すと、ヘッドホンを接続する前に設定していたサラウンドモードに戻ります。

⚠警 告

ヘッドホンの音量が大きすぎると、耳を傷めることがあります。音量が大きくならないように注意してください。

V-OFF(ビデオ出力OFF)機能

この機能は、各映像出力端子(Video、S-Video、コンポーネントビデオ)の出力を停止します。この機能によりビデオ信号の内部処理を停止し、オーディオ系への不要な干渉を低減させます。

1. 本体の*VIDEO-OFF* ボタンを押します。

またはリモコンの*AMP* ボタンを押し、PAGE4の表示になるまで>ボタンを押し、*V-OFF(D4)* ボタンを押します

本体前面表示部のV-OFF表示が点灯し、動作状態を表します。

2. ビデオ出力Offを解除したいときは、再度これらのボタンを押します。

ご注意

- この機能は映像信号用端子、VCR1 OUT、VCR2 OUTに対して有効です。またビデオオフ状態が選択されていてもOSDメニューを選択した場合はメニュー画面が出力されます。

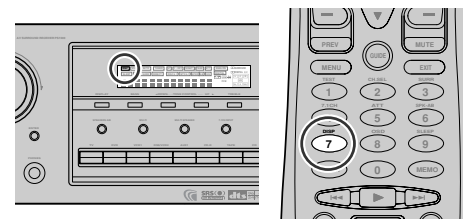
ディスプレイモード

本体前面表示部の 表示動作モードを選択できます。

入力表示モード:
選択した入力ファンクション状態を表示します。

サラウンド表示モード:
選択したサラウンドモード状態を表示します。

Auto Display Off:
本機の操作をしたときに、5秒間表示した後 消灯します。

Display Off:
常に消灯した 状態です。

1. 本体の*DISPLAY* ボタンまたはリモコン*DISP* ボタンを押します。

これらのボタンを押すごとに、表示動作状態が順番に切り替わります。

ご注意

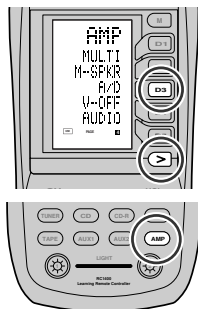
- Display Off 状態では、本体表示部のDISP表示だけはこの機能が動作状態であることを表すために点灯します。

入力モード切り替え

デジタル入力を設定したファンクションを選んでいる場合、以下の入力モードを一時的に切り替えることが可能です。

Digital-Auto： デジタル信号が約1.5秒以上入力されない場合、自動的にアナログ信号入力へ切り替えます。

Digital： デジタル入力に固定されます。

Analog： アナログ入力に固定されます。

1. リモコンの*AMP* ボタンを押し、PAGE4の表示になるまで＞ボタンを押し、*A/D (D3)* ボタンを押します。

ボタンを押すごとに、入力モードが順番に切り替わります。

ご注意

- ここで選択した入力モードは一時的な設定です。入力ファンクションを切り替えたり、スタンバイにした後は、OSD-MENUで設定した入力設定に戻ります。

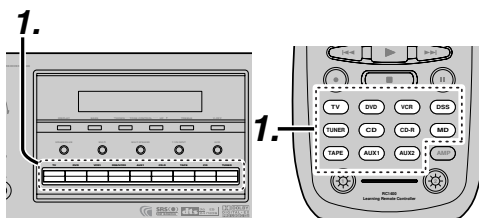
録音・録画をする

カセットテープ、CD-R、MDにアナログ信号で録音する

本機を操作してカセットテープ、CD-R、MDなどに録音することができます。このため本機はTAPE OUT端子、CD-R/MD OUT端子を装備しております。

例： 現在 CD入力にてCDを再生して聴きながら、TAPE にアナログ録音をする場合。

（既に接続例のようにアナログ信号も接続されている状態）

1. **本体またはリモコンの入力ファンクション切り替えボタンを押して、CDの入力を選択します。**

2. **カセットデッキの入力設定（レベル設定など）をおこない、録音スタンバイ状態にします。**

詳細はカセットデッキの取扱説明書をご覧ください。

3. **カセットデッキ録音状態にします。**

4. **CDプレーヤーを再生します。**

録音が開始されます。

ご注意

- デジタル信号入力だけの接続の場合、TAPE OUT、CD-R/MD OUT端子への出力が得られません。録音機能を使用する場合は、アナログ信号入力の接続も行ってください。
- TAPE OUT端子、CD-R/MD OUT端子には、常に本機が再生状態にある機器からの入力信号が出力されます。例えばDVDを選択して再生している場合、これらの端子には本機のDVDアナログ入力端子への入力信号が出力されます。

ビデオデッキに録画/録音する

本機を操作してビデオデッキなどに録画することができます。このため本機はVCR1 OUT端子、VCR2 OUT端子を装備しております。

例：現在 TV入力を選択して、ビデオテープレコーダーにTV入力信号をアナログ録画/録音する場合。

（既に接続例のようにアナログ信号も接続されている状態）

1. **本体またはリモコンの入力ファンクション切り替えボタンを押して、TVの入力を選択します。**

2. **ビデオテープレコーダーの入力設定をおこない、録画スタンバイ状態にします。**

詳細はビデオテープレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

3. **ビデオテープレコーダーを録画状態にします。**

録画/録音が開始されます。

ご注意

- 音声信号がデジタル信号だけの接続の場合、VCR1 OUT、VCR2 OUT端子の音声信号の出力が得られません。録音機能を使用する場合は、アナログ信号の接続も行ってください。
- VCR1 OUT端子（音声L/R、VIDEO、S-VIDEO）、VCR2 OUT端子（音声L/R、VIDEO、S-VIDEO）これらの端子には、常に本機が再生状態にある機器からの入力信号が出力されます。例えば、TVを選択して再生している場合、これらの端子には本機のTV（VIDEO、S-VIDEO、アナログ音声）入力端子への入力信号が出力されます。
- またVideo信号入力からS-Video信号出力への変換、およびS-Video信号入力からVideo信号出力への変換は行いません。必ず同一の入出力にてご使用ください。

CD-R、MDなどにデジタル信号で録音する

本機はデジタル録音用のDIGITAL OUT端子としてピンプラグ(COAXIAL)形式と光形式(OPTICAL)を装備しております。

デジタル出力端子には入力ファンクション選択ボタンで選んだ機器からのデジタル信号入力が出力されます。ただし選択した入力ファンクションが、デジタル信号入力の設定をされていない場合は、出力されません。

例：現在DVD：DIG4入力にてDVDを再生しながら、MDにデジタル録音をする場合。

（既に接続例のようにデジタル信号が接続されている状態）

1. **本体またはリモコンの入力ファンクション切り替えボタンを押して、DVDを選択します。**

既にDIG.4はDVDに設定済みとします。

2. **CD-RまたはMDプレーヤーのデジタル入力設定を行い、録音スタンバイ状態（シンクロREC等）にします。**

詳細は、CD-RまたはMDプレーヤーの取り扱い説明書をご覧ください。

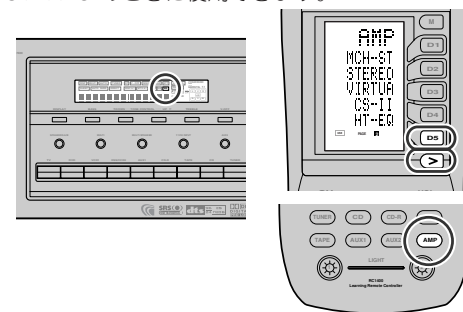
3. **DVDプレーヤーを再生します。**

録音が開始されます。

HT-EQ（ホームシアターイコライザー）

映画館ではフロントL/Rおよびセンタースピーカーがスクリーンの後ろにあるため、通常の映画ソフトはスクリーンでの減衰を見込んで高域を強調した録音となっています。このような映画ソフトを家庭で再生した場合、映画館とは異なった信号特性となってしまいます。

本機では、映画館とホームシアターとの差異を補正するHT-EQ（ホームシアター・イコライザー）を搭載し、映画館と同等特性の再生をご家庭でお楽しみいただけます。

この機能はサラウンドモードがAUTO、DOLBY、DTS、EX/ES、PRO LOGIC Ⅱx、Neo:6 およびSTEREO のときに使用できます。

1. リモコンの*AMP* ボタンを押し、PAGE2の表示になるまで＞ボタンを押し、*HT-EQ (D5)* ボタンを押します。

本体前面表示部のEQが点灯し、ホームシアターイコライザーが働きます。

2. **この機能を解除するには、再度本体の*TH-EQ* ボタンを押します。**

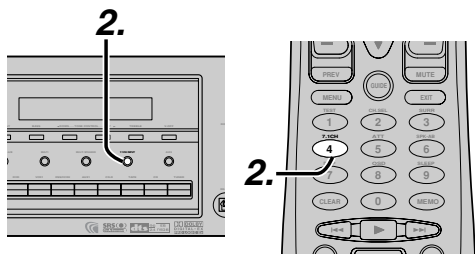
本体前面表示部のEQが消灯し、ホームシアターイコライザーが解除されます。

7.1CH INPUT

マルチチャンネルSACDプレーヤーやDVD-Audioプレーヤーなどのマルチチャンネル信号に対応するための7.1chの外部入力端子が搭載されています。これらの入力信号は内部サラウンド処理をバイパスしてボリュームコントロールを通過した後、プリアウト端子へ出力および内部アンプに入力されます。(SubW入力はプリアウトのみ)

この機能が働いているときは、入力ファンクションを切り替えることができません。この機能に合わせて楽しみたいビデオ系の入力ファンクションを選択してから7.1CH INPUTボタンを押してください。

1. **本体またはリモコンでご希望のビデオソース(入力ファンクション)を選択します。**

2. **本体またはリモコンの *7.1CH INPUT (7.1CH-IN)* ボタンを押します。**

もし7.1CH INPUTの各チャンネルの音量バランスを調整したい場合はSETUP MENUの **"7.1CH INPUT LEVEL"** を選択して、調整してください。(参照 18ページ)

3. **本体の*VOLUME* ツマミを回すか、リモコンの *VOL* (＋)、(−)ボタンを押して、全体の音量をお好みのレベルに合わせてください。**

4. **7.1CH INPUTを解除する場合は、再度本体またはリモコンの*7.1CH INPUT (7.1CH-IN)* ボタンを押します。**

ご注意

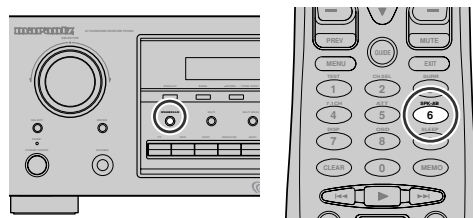
- 7.1CH INPUTを選択しているとき、サラウンドモードは選択できません。また7.1CH INPUTを選択しているときは、録音出力端子には信号は出ません。

スピーカー A/B 切り替え

本機はフロントL/Rスピカーに対し、スピーカーシステムAとスピーカーシステムBの切り替えが可能です。本体の***SPEAKERS A/B* ボタン**もしくはリモコンの***SPK-AB* ボタン**を押して切り替えます。

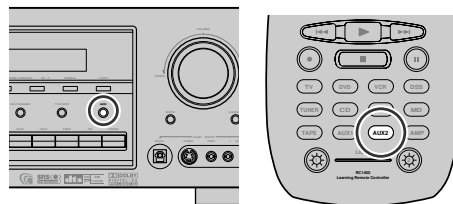
これらのボタンを押す毎に以下のように切り替わります。

スピーカーA → スピーカーB → スピーカーA+B → スピーカーオフ → スピーカーA →

お手持ちのシステムにあわせて選択してください。

ご注意

- ヘッドフォンを使用している場合はこれらの切り替えはできません。

AUX2入力

7.1CH-INPUT機能が不要の場合、本入力端子のFRONT L/R入力をAUX2端子としても使用可能です。この場合、他のオーディオ入力端子(CD, TUNERなど)と同様にサラウンドモードの選択、トーンコントロール、Tape-Out、VCR-outなどを機能させることができます。

1. **本体もしくはリモコンの*AUX 2* ボタンを押して AUX2 を選択します。**

マルチルームシステム機能

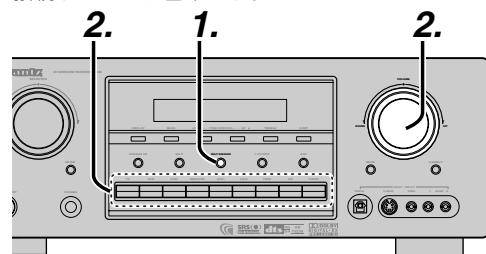
本機に接続された機器を使って別室用アンプを組み合せて、本機を置いてある部屋とは別の部屋で音楽や映画鑑賞をすることができます。

12 ページのように本機背面パネルのマルチルームシステム用AUDIO出力端子(L/R)を別室のパワーアンプに接続します。

必要に応じてマルチルームシステム用VIDEO出力端子を別室のTVなどに接続して下さい。

本機はこれらの出力用に独立した入力セレクターを内蔵しております。よって、別室では異なる入力ファンクションを選んで再生ができます。また音量調整なども独立しておこなえます。

マルチスピーカー(マルチルーム用スピーカー)の設定

本機ではメインルームとは別の部屋のスピーカーを接続することが出来ます。

1. **本体の*MULTI SPEAKER* ボタンを押します。**

マルチルームモードになり本体前面表示部に"MULTI"が点滅し、"SELECT SOURCE"と表示されます。

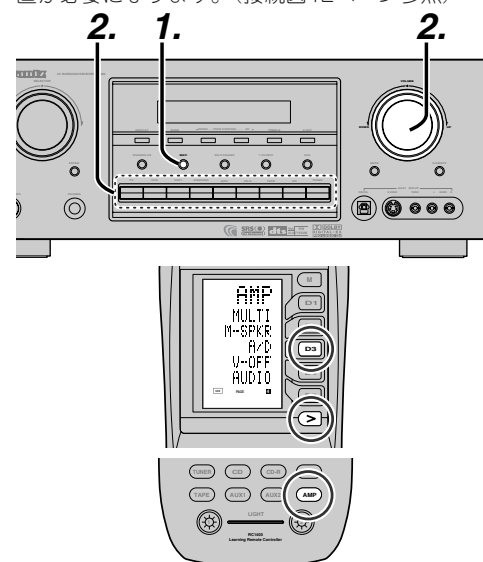
2. **マルチスピーカーで再生したいファンクションを本体の入力ファンクション切り替えボタン、またはリモコンの入力ボタンで選択します。**

"MSPK VOLUME"、"MSPL VOL.-18"と約5秒間表示されます。この間にマルチスピーカーの音量を設定することが出来ます。

マルチスピーカーのご注意

- マルチスピーカーはマルチルームの機能とは別にオン/オフが出来ます。
- マルチスピーカーのオンとオフの操作はメインルームのみで行なえます。
- マルチスピーカーの端子はスピーカーセットアップでサラウンドバックスピーカーを使わない設定にした場合に使用できます。
- サラウンドバックスピーカーをNONE以外に設定しているときにMULTI SPEAKERのボタンを押すと The Surr.Back Speakers are in useと表示しマルチスピーカーが使用できないことを表示します。

マルチルーム出力の設定

マルチルームの操作は本機のない別室からも行なうことが出来ます。その場合、別売りの赤外線受光装置が必要になります。(接続図12ページ参照)

1. **本体もしくはリモコンの*MULTI*ボタンを押します。(リモコンの*AMP* ボタンを押してから＞ボタンをPAGE4が表示されるまで押します。それからMULTI(D1)を押します。)**

本体前面ディスプレイに、"SELECT SOURCE"と表示されMULTIが点滅を開始します。マルチルーム機能設定状態になりました。

2. **別室で再生したい入力ファンクションを本体の入力ファンクション切り替えボタン、またはリモコンの入力選択ボタンで選択します。**

選択した入力が本体前面ディスプレイに表示されます。本体前面ディスプレイの表示が" MULTI VOLUME"とかわります。

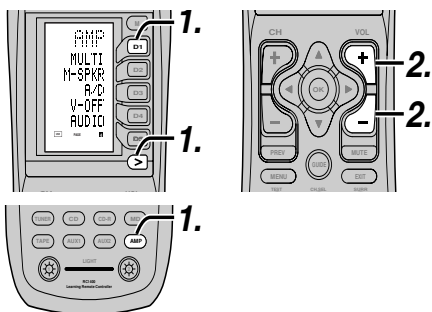
3. **別室での再生音量を、本体の*VOLUME* *ダイヤル*を回すか、リモコンの*VOL ＋/－ボタン*を押して調整します。**

"MULTI VOL. xx" と設定値が表示されます。
数秒後マルチルーム機能設定モードが終了します。
本体前面ディスプレイの"MULTI"が点滅から点灯に替わります。他は通常動作表示にもどります。

4. **本機能を解除する場合は、本体もしくはリモコンの*MULTI* ボタンを押します。**

本体前面ディスプレイのMULTIが消灯します。

別室からのマルチルーム出力の操作

マルチルームの操作は本機のない別室からも行なうことが出来ます。その場合、別売りの赤外線受光装置が必要になります。（接続図12ページ参照）

1. **別室でリモコンの*MULTI* ボタンを押します。（リモコンの*AMP* ボタンを押してから＞ボタンをPAGE4が表示されるまで押します。それからMULTI(D1)を押します。）**

MULTIが本体のディスプレーに表示されマルチルームモードになります。マルチルームのビデオ出力のOSDインフォメーションにマルチルームのセットアップ状態が表示されます。

```
        MULTI  ROOM
VIDEO           :  VCR1
AUDIO           :  FM 102.00
SLEEP  TIMER    :  90 min

MULTI:OFF      MSPKR:OFF
VOL   :VARI    VOL   :VARI
LEVEL:-90dB    LEVEL:-90dB
----MAIN-ROOM  STATUS----
VIDEO:DVD      AUDIO:DVD
```

2. **再生音量はリモコンのボリュームボタン（ VOL +/- ）を押して調整します。**

マルチルームモードにおいてリモコンは以下の機能を操作することが出来ます。
音量調整、スリープタイマー、ミュート、入力ファンクションの選択。

ご注意

- 別室からの操作は別売りのリモコン受光装置が必要になります。
- マルチルーム出力はアナログのみです。デジタル入力の信号には対応しません。

リモコン操作

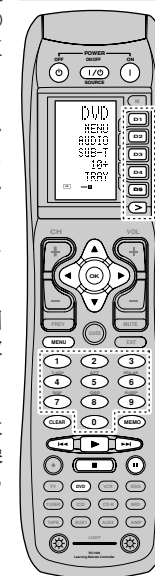
マランツ製機器のリモコン操作

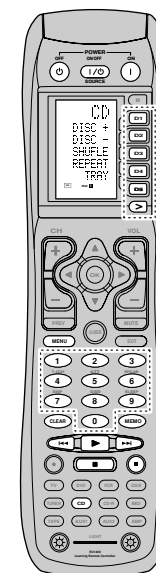
本リモコンは、初期設定状態にてマランツ製品の基本操作ができるようになっています。

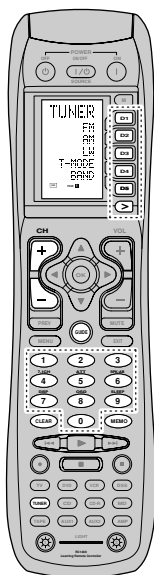
1. **希望する機器のファンクションボタンを押して リモコンの動作モードを決定します。**

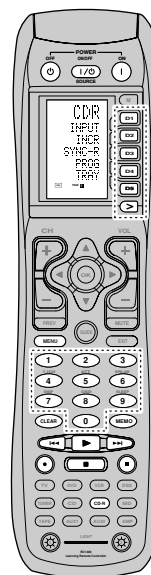
2. **希望する操作ボタンを押します。**

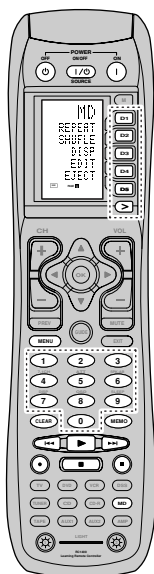
- 各機器の操作の詳細は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 機器によっては、本機のリモコンにて操作できないものもあります。

DVDモード

SOURCE ON/OFF	DVDプレーヤーの電源オン/スタンバイ
POWER ON	DVDプレーヤーの電源オン
POWER OFF	DVDプレーヤーのスタンバイ
D1 - D5 / >(Page)	(巻末のviページをご覧ください。)
Cursor/OK	メニュー等でのカーソルの移動及び、選択の確定
MENU	DVDディスクメニュー呼び出し
0-9	数字の入力
MEMO	プログラムの呼び出し
CLEAR	各種入力の取消し
▶	再生
⏮ / ⏭	前方または後方のチャプター/トラックへの移動
■	停止
❚❚	一時停止

CDモード

SOURCE ON/OFF	CDプレーヤーの電源オン/スタンバイ
POWER ON	CDプレーヤーの電源オン
POWER OFF	CDプレーヤーのスタンバイ
D1 - D5 / >(Page)	(巻末のviページをご覧ください。)
0-9	数字の入力
MEMO	プログラムの呼び出し
CLEAR	各種入力の取消し
▶	再生
⏮ / ⏭	前方または後方のトラックへの移動
■	停止
❚❚	一時停止

チューナーモード

D1～D5/>(Page)	(巻末のviページをご覧ください。)
CH +/-	プリセットした放送局の選択
GUIDE	放送局の周波数を直接入力しての選局
0-9	周波数などの数字の入力
MEMO	プリセットメモリーの番号登録
CLEAR	メモリーや入力の消去

CDRモード

SOURCE ON/OFF	CDRプレーヤーの電源オン/スタンバイ
POWER ON	CDRプレーヤーの電源オン
POWER OFF	CDRプレーヤーのスタンバイ
D1 - D5 / >(Page)	(巻末のviページをご覧ください。)
MENU	CDテキスト等のスクロール
0-9	数字の入力
MEMO	プログラムの呼び出し
CLEAR	各種入力の取消し
▶	再生
I◀◀ / ▶▶I	前方または後方のトラックへの移動
■	停止
II	一時停止
●	録音

MDモード

SOURCE ON/OFF	MDプレーヤーの電源オン/スタンバイ
POWER ON	MDプレーヤーの電源オン
POWER OFF	MDプレーヤーのスタンバイ
D1 - D5 / >(Page)	(巻末のviページをご覧ください。)
MENU	テキスト等のスクロール
0-9	数字の入力
MEMO	プログラムの呼び出し
CLEAR	各種入力の取消し
▶	再生
I◀◀ / ▶▶I	前方または後方のトラックへの移動
■	停止
II	一時停止
●	録音

テープモード

SOURCE ON/OFF	カセットデッキの電源オン/スタンバイ
POWER ON	カセットデッキの電源オン
POWER OFF	カセットデッキのスタンバイ
D1 - D5 / >(Page)	(巻末のviページをご覧ください。)
0-9	数字の入力
MEMO	プログラムの呼び出し
CLEAR	各種入力の取消し
▶	再生
I◀◀ / ▶▶I	前方または後方のトラックへの移動
■	停止
II	一時停止
●	録音

基本動作説明

USEモード

（通常の使用状態）

本機リモコンには、マランツ製のTV（テレビ）、DVD、VCR（ビデオデッキ）、DSS（衛星放送チューナー）、TUNER（チューナー）、CD、CD-R、MD、TAPE（テープデッキ）、AUX1、AUX2、AMP（アンプ）の計12種類のリモコンコードがプリセットされています。
マランツ製品をご使用の場合、学習は不要です。そのままご使用いただけます。

1. ソースボタンを押します。
ここでは例としてDVDを押します。
表示部にDVDが表示され、リモコンがDVD用に設定されます。
ソースボタンを１回押すことでリモコンが押されたソース用の設定に変わります。
アンプ等のソースを変えるときは、ソースボタンを２回押し（ダブルクリック）します。コードが送信されてアンプのソースがDVDに変わります。

2. 各ボタンを押して、DVDを操作します。
リモコンコードが送信されている間は表示部にが表示されます。コードが記憶されていないボタンを押したときには表示しません。

3. ダイレクトボタンでDVD、TV、AMPなど12のソース毎に最大20通りの操作ができます。
ボタンはD1～D5まであり、表示部画面の表示に対応するボタンを押して機器の操作をします。
ページは４ページあり、選択をするには、>ボタンを押します。今のページの位置は表示部に表示されます。

PRESETモード

（マランツ製品以外のAV機器を操作する）

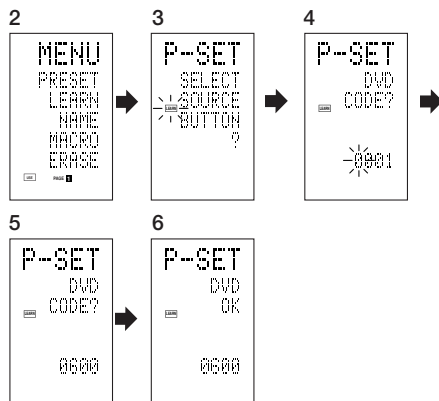
本機リモコンには他社製のAV機器のリモコンコードがプリセットされています。
プリセットコードは、TV、VCR、LD、CABLE、DSS、DVD、TAPE、TUNER、CD、CD-R、MD、AMPがあり、設定には2通りの方法があります。
プリセットコードを設定した場合、本機リモコンのソースボタンには、次の表のコードが入ります。

プリセットされているメーカー、機器、プリセット番号などは巻末のメーカー番号一覧表をご覧下さい。

リモコンのソース名	対応するプリセットコード	機器名
TV	TV	テレビ
DVD	DVD	DVDプレーヤー
VCR	VCR	ビデオデッキ
DSS	SATELLITE	衛星放送チューナー等
TUNER	RECEIVER/TUNER	AM FM チューナー
CD	CD/CD-R PLAYER	CDプレーヤー
CD-R	CD/CD-R PLAYER	CDレコーダー等
MD	CD/CD-R PLAYER	MDデッキ
TAPE	TAPE DECK	カセットデッキ
AUX1	CABLE	ケーブルテレビ等
AUX2	LASER DISC	レーザーディスクプレーヤー
AMP	AMPLIFIER	アンプ・レシーバー等
	RECEIVER/TUNER	

■マランツ製品をご使用の場合、お客様の使用状態に合わせてTVとDVDはそれぞれTV1（TV/VDP：プロジェクター）、TV2（PDP：プラズマディスプレー）、DVD1（１台目のDVDプレーヤー）、DVD2（２台目のDVDプレーヤー）の設定ができます。設定はプリセットモードで行います。
工場出荷状態はそれぞれTV1、DVD1に設定されています。プリセットの仕方は以下の「メーカー番号を直接入力して設定する」の項を参照し以下の番号を入力してください。
TV1： 0001、TV2： 0002
DVD1：0001、DVD2：0002

メーカー番号を直接入力して設定する

メーカー番号一覧表をご覧ください。
例としてSAMSUNGのDVDプレーヤーを設定する。

1. 巻末のメーカー番号一覧表を見て、操作するメーカーの番号を探します。

2. Mボタンを３秒以上押します。
メニュー表示になります。

3. ダイレクトボタンのD1（PRESET）ボタンを押します。
プリセット設定(P-SET)表示になります。

4. ソースボタンのDVDを押します。

5. 数字ボタンを押して４桁のメーカー番号を入力します。
例：メーカー番号一覧表から0600と入力する。
入力した番号を修正する場合はカーソルボタンの◀か▶を押し、正しい番号を入力します。
・設定操作の途中で１分以上ボタンが押されなかった場合、その時点で入力途中の設定が解除されます。

6. カーソルボタンのOKを押します。

7. OKが表示され、プリセット設定(P-SET)表示に戻ることを確認します。
メーカー番号が正しく設定されると、表示部にOKが表示されます。
・メーカー番号一覧にない番号を入力した場合は、表示部にWRONG　CODEが表示され た後に、プリセット設定表示に戻ります。
メーカー番号一覧を確認して別の番号を設定するか、シーケンス機能を使って設定します。

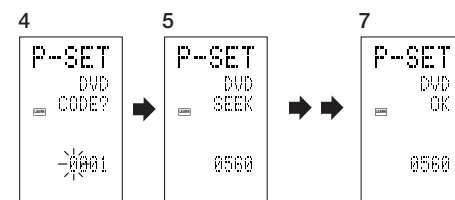
8. 続けて他のソース機器のメーカー番号を設定するには、4～6の操作を繰り返します。

9. 設定を終わるときには、Mボタンを押します。

10. 本機リモコンのボタンを押しDVDの操作が正しくできる事を確認してください。

メーカー番号一覧表にない機器を設定する

メーカー番号一覧表にない機器については、シーケンス機能を使って設定できます。シーケンス機能を使っても、一部の機器では設定できない場合があります。このような場合は個別にコードを学習させて使用してください。
シーケンス機能では、本機リモコンのボタンを順に押してゆくことで電源ON・OFFのコードが送信されます。
相手側の機器の電源をONにしておき、OFFになったところでボタンを押すのをやめれば設定が完了します。

例：DVDプレーヤーを設定する。

1. 相手側のDVDプレーヤーの電源をONにします。

2. Mボタンを3秒以上押します。
メニュー表示になります。

3. ダイレクトボタンのD1（PRESET）ボタンを押します。
プリセット設定(P-SET)表示になります。

4. ソースボタンのDVDを押します。

5. CH+ボタンまたはCH-ボタンを1秒以上押します。

6. CH+ボタンを約1秒間隔で押します。
信号が送信され、表示部のコード番号表示が順次変わります。
CH－ボタンを押すと、番号表示が戻ります。

7. 相手側のDVDプレーヤーの電源がOFFになったら押すのを止めます。

8. カーソルボタンのOKを押します。

9. OKが表示され、プリセット設定(P-SET)表示に戻ることを確認します。

10. 続けて他のソース機器のメーカー番号を設定するには、4～8の操作を繰り返します。

11. 設定を終わるときには、Mボタンを押します。

12. 本機リモコンのボタンを押しDVDの操作が正しくできる事を確認してください。

設定した機器がうまく動作しない時は、次の事を確認してください。
・メーカー番号一覧表に複数の番号がある場合は、別の番号を設定してみてください。
・全てのボタンが使用できない場合があります。必要なボタンにコードを学習させてください。

LEARNモード

▶(PLAY)などのコントロールボタンや数字ボタンなどへの学習

本機リモコンは、お手持ちのリモコンのコードを学習・記憶させることができます。
学習しなかった部分は初期設定のマランツのプリセットコードか、お客様が設定した他社製のAV機器のリモコンコードが送信されます。 リモコン信号の受光部は頭部にあります。

DVDプレーヤー用のリモコンの学習を例にします。

1. **Mボタンを3秒以上押します。**
   メニュー表示になります。
2. **ダイレクトボタンのD2(LEARN)ボタンを押します。**
   LEARN設定(LEARN)表示になります。また、LEARNが点滅します。
3. **ソースボタンのDVDを押します。**
4. **▶(PLAY)を押します。**
   LEARNが点滅から点灯に変わり学習が可能な状態になります。
5. **本機リモコンの受光部(頭部)とDVDリモコンの送信部(頭部)を約5cm離してまっすぐに置きます。**
6. **送り側DVDリモコンの▶(PLAY)ボタンを押し続け、表示部にOKが出ることを確認します。**
   OKの表示が出たら学習が完了です。
   表示部にERRORが出た場合は、何らかの原因で学習ができなかったときです。もう一度4〜5の操作を行って下さい。
   学習時、まれに表示部にERRORが何度も表示される場合があります。このときは、送り側のリモコン信号コードが特殊であることが考えられます。このようなリモコンコードは、本機リモコンでは学習できません。
7. **同様にして他のボタンも学習させて下さい。**
8. **TVやCDなどの他の機器を学習させる場合は3〜6の操作を行ってください。**
   - 学習操作中ボタンが押されずに放置されたときは、約1分でUSEモードに戻ります。
   - ソースボタンに学習させる場合は、3の操作でソースを切り替えた後、もう一度そのソースボタンを押します。
9. **各ボタンにコードを学習させ終わったら、Mボタンを押します。**
   表示部にUSEが点灯し、新しく記憶させたコードの送信ができます。
   - 表示部にFULLの表示がされた場合、LEARNモードで学習したコードが一杯になって入り切らないときです。

     何度学習操作を行ってもFULLが表示されるときは、学習したコードを消去しないと新しく学習させることはできません。学習済みのボタンをソースごとに消去してください。

ご注意

- 本機リモコンに学習させる際には、必ず本機リモコンの表示部にOKが表示されるまで、送り側リモコンのボタンを押し続けてください。
  学習するコードのタイプにより、OKが表示されるまでに5秒程度かかる場合があります。

Mボタン、>ボタンは、学習できません。

LIGHTボタン1、2はソースに関わらず、各1コードのみ学習できます。

ダイレクトボタンへの学習と名前の書き換え

例として、DVDのMENUボタン(D1)に他社製品のコードを学習させ、表示をOSDに変更する場合で説明します。

1. **Mボタンを3秒以上押します。**
   メニュー表示になります。
2. **ダイレクトボタンのD2(LEARN)ボタンを押します。**
   LEARN設定(LEARN)表示になります。また、LEARNが点滅します。
3. **ソースボタンのDVDを押します。**
   ダイレクトボタン表示の1ページ目が表示されます。ページは4ページ分あり、>ボタンを押すごとにページが、1→2→3→4→1と切り替わります。
4. **ダイレクトボタンのD1(MENU)ボタンを押します。**
   LEARNが点滅から点灯に変わり、学習が可能な状態になります。
5. **本機リモコンの受光部(頭部)とDVDリモコンの送信部(頭部)を約5cm離してまっすぐに置きます。**
6. **送り側DVDリモコンのOSDボタンを押し続け、表示部にOKがでることを確認します。**
   OK表示が出たら学習が完了です。
   表示部にERRORが出た場合は、何らかの原因で学習ができなかったときです。もう一度4〜5の操作を行って下さい。
   - 学習が完了すると自動的に名前の変更モードになります。MENUの左端に「⁚⁚」表示が点滅し、点滅部分の書き換えができるようになります。
   - 書き換えをしない時には、カーソルボタンのOKボタンを押します。OKボタンを押すと学習の待機状態に戻ります。
7. **名前の書き換えをする場合は、数字ボタンを押して文字を入力してください。**
   - 書き換えをする表示部分は、カーソルボタンの◀▶で移動できます。
   - MENUをOSDに変更するので、数字ボタンの5を押します。

     M→N→O→5→Mのようにボタンを押す毎に表示が変化します。
8. **文字の書き換えが完了したらカーソルボタンのOKボタンを押します。**
   既にある文字を消すときには、0ボタンを押して、スペースを入れて下さい。
   - ここでは、「MENU」から、「OSD(スペース)(スペース)」と入力します。OKボタンが押されると、「OSD」が右側に表示されます。

   詳しくは次の「名前の書き換え」項を参照してください
9. **同様にして>ボタンでページを選び、ダイレクトボタンを押して学習させてください。**
10. **各ボタンにコードを学習させ終わったら、Mボタンを押します。**
    表示部にUSEが点灯し新しく記憶させたコードの送信ができます。

名前の書き換え

このリモコンでは、ソース名やダイレクトボタン部の名前を書き換える事ができます。この操作はソース毎に行います。

例としてソース表示のDVDをAVDに、AUDIOをSOUNDに変更します。

1. **Mボタンを3秒以上押します。**
   メニュー表示になります。
2. **ダイレクトボタンのD3(NAME)ボタンを押します。**
3. **ソースボタンのDVDを押します。**
   NAMEが点滅します。
   左端に「⁚⁚」表示が点滅し、書き換えができるようになります。
4. **カーソルボタンの▶を2度押します。**
   「D」が点滅し、書き換えができるようになります。
5. **数字ボタンの1を押しAを選びます。**
   数字ボタンは、次のようにボタンを押す毎に変化します。
   1：A→B→C→1→A
   2：D→E→F→2→D
   3：G→H→I→3→G
   4：J→K→L→4→J
   5：M→N→O→5→M
   6：P→Q→R→6→P
   7：S→T→U→7→S
   8：V→W→X→8→V
   9：Y→Z→／→9→Y
   0：スペース(⁚⁚)→+→ー→、→'→<→>→?→0→スペース(⁚⁚)
6. **カーソルボタンの◀か▶を押します。**
   Aの文字に書き換えできました。
   - カーソルボタンの▲か▼を押すことで、書き換える場所の点滅表示を移動できます。

7. **カーソルボタンの▲か▼を押してダイレクト表示部のAUDIOを選ぶとAが点滅表示 となり、名前の書き換えが可能な状態になります。**

8. **数字ボタンの7を押しSを選びます。**

ボタンを押す毎に、S→T→U→7→Sのように表示が変化します。

9. **カーソルボタンの▶を押し点滅部分を移動します。**

10. **数字ボタンの5を押しOを選びます。**

11. **同様にしてU、N、Dと入力します。**

12. **文字の書き換えが完了したらカーソルボタンのOKボタンを押します。**

13. **Mボタンを押します。**

表示部にUSEが点灯し、新しく記憶させた名前での操作ができるようになります。

入力は上書きになるので現在表示されている文字は消去されます。

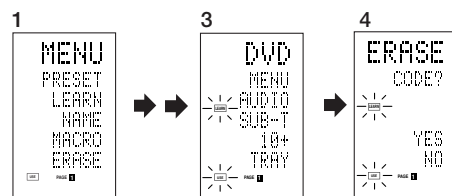
ダイレクト表示部は6文字まで入力できます。

学習したコードの消去（初期状態に戻す）

消去は、次の5つの方法があります。
ボタン毎の消去、ダイレクトボタン部の消去、ダイレクトボタン部ページ毎の消去、ソース毎の消去、全消去。

ボタン毎の消去とダイレクトボタン部の消去

例としてDVDプレーヤに学習済のPLAYボタンのコード、AMPのダイレクトボタン部AUTOのコードを消去します。

ボタン毎の消去

1. **Mボタンを3秒以上押します。**

メニュー表示になります。

2. **ダイレクトボタンのD5（ERASE）ボタンを押します。**

3. **ソースボタンのDVDを押します。**

USEとLEARNが点滅します。

4. **CLEARボタンを押しながら、消去したいボタン（▶: PLAY）を押します。**

表示部にメッセージが出ます。

5. **ダイレクトボタンのD4（YES）を押し、消去します。**

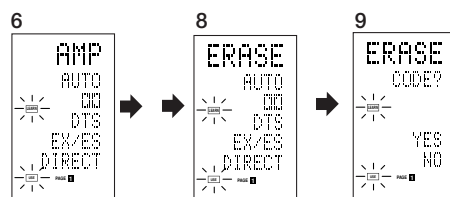
（▶: PLAY）ボタンに学習したコードが消去されます。

消去されると、そのボタンは工場出荷状態に戻ります。

・消去をやめるときはD5（NO）を押すと、前の画面に戻ります。

CLEARボタンの消去は、CLEARボタンだけを2回押します。

SOURCEボタンの消去は、SOURCEボタンだけを2回押します。

ダイレクトボタン部の消去

6. **ソースボタンのAMPを押します。**

7. **＞ボタンを押して、AMPの1ページ目を表示させます。**

8. **CLEARボタンを押しながら、消去したいダイレクトボタンのD1ボタン（AUTO）を押します。**

9. **ダイレクトボタンのD4（YES）を押し、消去します。**

AUTOボタンのコードが消去されます。

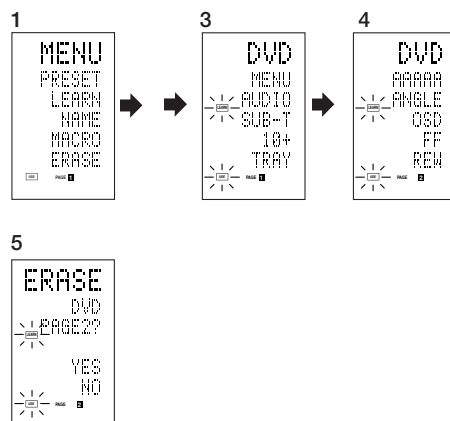
消去されると、そのボタンは工場出荷状態に戻ります。書き換えした名前も元の名前に戻ります。

・消去をやめるときは、D5（NO）を押すと、前の画面に戻ります。

10. **消去の操作を終了するときは、Mボタンを押します。**

USEが点灯し、操作ができるようになります。

ダイレクトボタン部ページ毎の消去

例としてDVDプレーヤに学習済のダイレクトボタン部2ページ目の全てを消去します。

1. **Mボタンを3秒以上押します。**

メニュー表示になります。

2. **ダイレクトボタンのD5（ERASE）ボタンを押します。**

3. **ソースボタンのDVDを押します。**

USEとLEARNが点滅します。

4. **＞ボタンを押して、2ページ目を出します。**

5. **CLEARボタンを押しながら、＞ボタンを押します。**

6. **ダイレクトボタンのD4（YES）を押し、消去します。**

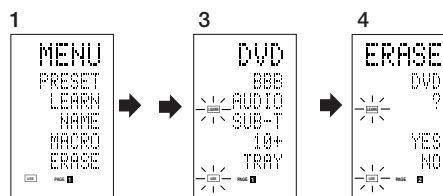
PAGE2に学習した全てのコードと名前が消去されます。消去されると、工場出荷状態に戻ります。書き換えした名前も元の名前に戻ります。

・消去をやめるときは、D5（NO）を押すと、前の画面に戻ります。

7. **消去の操作を終了するときは、Mボタンを押します。**

USEが点灯し、操作ができるようになります。

ソース毎の消去

DVD、ＴＶなどのソース毎に学習されている全てのコードと名前を消去します。ダイレクトボタン部の4ページの全てのコードと名前も消去されます。
例としてDVDプレーヤに学習済のコードと名前を消去します。

1. **Mボタンを3秒以上押します。**

メニュー表示になります。

2. **ダイレクトボタンのD5（ERASE）ボタンを押します。**

3. **ソースボタンのDVDを押します。**

USEとLEARNが点滅します。

4. **CLEARボタンを押しながら、ソースボタンのDVDを押します。**

5. **ダイレクトボタンのD4（YES）を押し、消去します。**

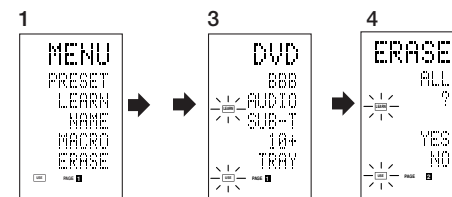
DVDソースに学習した全てのコードと名前が消去されます。消去されると、工場出荷状態に戻ります。書き換えした名前も元の名前に戻ります。

・消去をやめるときは、D5（NO）を押すと、前の画面に戻ります。

6. **消去の操作を終了するときは、Mボタンを押します。**

USEが点灯し、操作ができるようになります。

全消去

学習した全てのコードと名前を消去（リセット）します。 消去後は工場出荷状態に戻ります。
プログラムしたマクロも消去されます。

1. **Mボタンを3秒以上押します。**

メニュー表示になります。

2. **ダイレクトボタンのD5（ERASE）ボタンを押します。**

USE表示とLEARNが点滅します。

3. **POWERボタンのONとOFFを同時に押しながら、CLEARボタンを押します。**

4. **ダイレクトボタンのD4（YES）を押し、消去します。**

学習した全てのコードと名前が消去され、工場出荷状態に戻ります。

・消去をやめるときはD5（NO）を押すと一つ前の画面に戻ります。

・全消去は、D4（YES）ボタンを押してから数秒かかります。

マクロのプログラム

本機リモコンでは一連の連続したボタン操作をプログラムすることができます。
マクロとは複数のボタン操作を１回で連続的に行うための機能で、１つのボタンに最大20通りの操作を学習できます。
マクロのプログラムができるボタンは計20個あります。

・例えば次のように連続動作させることができます。
アンプをDVDソースに切り替える→アンプのモードをAUTOにする→DVDプレーヤをプレイにする→TVをビデオ入力に切り替える。

マクロの送信動作の間隔（時間）は工場出荷状態では、１秒に設定されています。セットアップモードでは全体の信号送信間隔を約0.5秒から5秒の間隔で設定できます。マクロのプログラム中や修正中では各々の送信間隔が個別に調整できます。

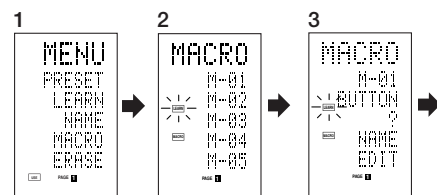
■注意：

後述のセットアップモードで信号の送信間隔（インターバルタイム）を変更した場合は、全てのマクロプログラムでこの送信間隔が適用されます。個々の信号送信間隔を変更する場合は、本章のマクロのプログラムやプログラムの修正で設定してください。

・マクロのプログラム中は信号は送信されません。
・Mボタン、>ボタン、カーソル、MEMOボタン、CLEARボタン、VOLボタンはプログラムできません。
・プログラム中ボタンが押されずに放置されたときは、約１分でマクロモードの前の状態に戻ります。
この時のマクロのプログラムは記憶されません。
・マクロモードを実行する場合、ソース切り替え操作の２回目以降からは、リモコンのモードが変わるだけで、信号は送信されません。（アンプのソースセレクタの切り替えは１回だけ有効になります）

マクロプログラム

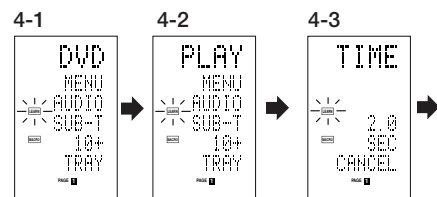
例としてM-01ボタンに以下をプログラムします。
（例に示した表示は工場出荷状態のものであり、ダイレクト表示部の名前を書き換えた場合は書き換えた名前が表示されます。）

アンプを DVDソースに切り替える→DVDプレーヤをプレイにする→次の信号送信までの間隔を２秒に設定する→TVをビデオ入力に切り替える→アンプのモードをAUTOにする

1 MENU PRESET LEARN NAME MACRO ERASE
2 MACRO M-01 M-02 M-03 M-04 M-05
3 MACRO M-01 BUTTON ? NAME EDIT

1. **Mボタンを3秒以上押します。**
メニュー表示になります。

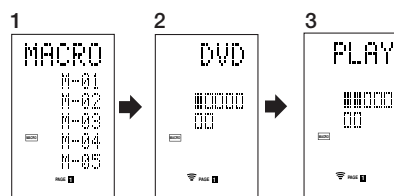
2. **ダイレクトボタンのD4（MACRO）ボタンを押します。**
マクロメニュー表示になります。
MACROが点灯し、LEARNが点滅します。

3. **ダイレクトボタンのD1（M-01）ボタンを押します。**
メニューは４ページ分あるので他のボタンにプログラムするときには>ボタンで選びます。

4. **操作したい順にボタンを押します。**
ここから実際のプログラムを始めます。
ボタンを押すたびに押したボタンの名前が表示部に表示されます。

4-1 ソースボタンのDVDを押します。
4-2 ▶(PLAY)ボタンを押します。
4-3 カーソルボタンの▲か▼を押します。
表示部にインターバルタイムが表示されます。
4-4 カーソルボタンの▲か▼を押して2.0（秒）にします。
・カーソルボタンの▲で時間が増加し、▼で減少します。インターバルタイムは0.5秒から5秒までの間で設定できます。
・時間調整をやめるときは、ダイレクトボタンのD5（CANCEL）ボタンを押します。
4-5 カーソルボタンのOKを押します。
4-6 ソースボタンのTVを押します。
4-7 >ボタンを押し１ページ目を出します。
4-8 ダイレクトボタンのD1（INPUT）ボタンを押します。
4-9 ソースボタンのAMPを押します。
4-10 >ボタンを押し１ページ目を出します。
4-11 ダイレクトボタンのD1（AUTO）ボタンを押します。
4-12 カーソルボタンのOKを押します。
表示部にENDが表示されプログラムが終了します。

5. **続けて別のプログラムを行う場合は3〜4-12の操作を繰り返します。**

6. **マクロプログラムの操作を終了するときは、Mボタンを押します。**
USEが点灯し、操作ができるようになります。
20通り以上をプログラムした場合は、マクロメニューに戻ります。20通り以下になるようにプログラムの修正をしてください。

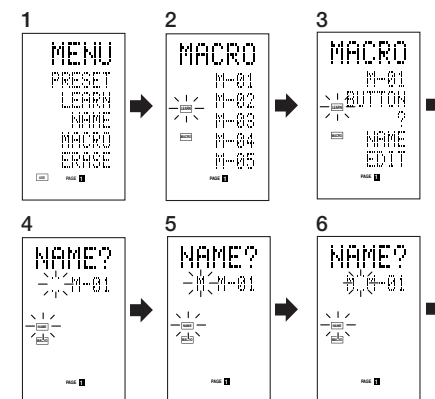
マクロプログラムの実行

1. **Mボタンを短く押します。**
マクロメニュー表示になります。

2. **ダイレクトボタンのD1（M-01）ボタンを押します。**

3. **プログラムが順次送信されることを確認します。**
表示部には操作ボタンの名前が順に表示されます。
・プログラムされている部分は、□で表示されます。プログラムの進行に従ってバー表示が動いていきます。

DVDソース選択→PLAY送信→インターバルタイム2秒→TVを選択→TV INPUT送信→AMPを選択→AUTO送信→終了
・プログラムの送信を途中で中止するときは、どれかのボタンを押します。

マクロプログラムの名前変更

工場出荷状態ではマクロプログラムの名前はM-01からM-20で設定されていますが、それぞれお好きな名前に変更できます。
文字は6文字分で、数字ボタンを使って入力します。
例としてM-01の名前をMOVIEに変更します。

1. **Mボタンを3秒以上押します。**
メニュー表示になります。

2. **ダイレクトボタンのD4（MACRO）ボタンを押します。**
マクロメニュー表示になります。
MACROが点灯し、LEARNが点滅します。

3. **ダイレクトボタンのD1（M-01）ボタンを押します。**
RENAME（名前変更）表示になります。

4. **ダイレクトボタンのD4（RENAME）ボタンを押します。**
左端に「∷」表示が点滅し、書き換えができるようになります。

5. **数字ボタンの5を押しMを選びます。**

6. **カーソルボタン▶を押し、点滅個所を次に移動します。**

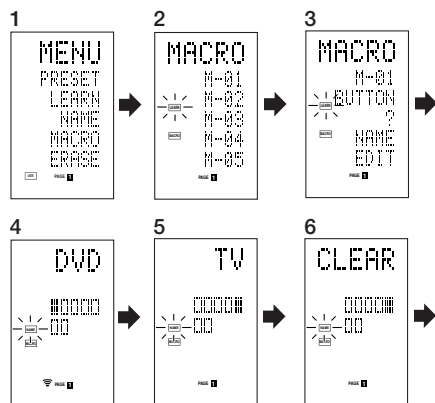
7. **数字ボタンの5を押しOを選びます。**

8. **6、7の操作を繰り返し、V、I、E、「∷」を入力します。**
・入力している途中で文字を変更する場合はカーソルボタンの◀か▶を押し、点滅個所を移動します。

9. **完了後はカーソルボタンのOKを押します。**
・別のマクロプログラムの名前を変更する時には、３〜9の操作を繰り返します。

10. **終了するときは、Mボタン押します。**

マクロプログラムのステップを削除する

例としてM-01にプログラムされている以下のプログラムからTV、INPUTのステップを削除します。
DVD→PLAY→TIME→TV→INPUT→AMP→AUTO　のプログラムを
DVD→PLAY→TIME→AMP→AUTO　にします。

1. **Mボタンを3秒以上押します。**
メニュー表示になります。

2. **ダイレクトボタンのD4（MACRO）ボタンを押します。**
マクロメニュー表示になります。
MACROが点灯し、LEARNが点滅します。

3. **ダイレクトボタンのD1（M-01）ボタンを押します。**

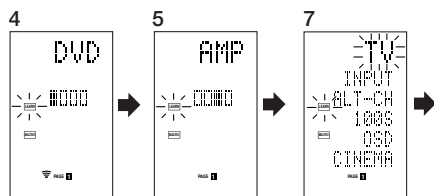
4. **ダイレクトボタンのD5（EDIT）ボタンを押します。**
表示部にDVDが表示され、ステップの位置が■で表示されます。
プログラムされている部分は□で表示されます。

5. **カーソルボタンの▶を押し、TVを表示させます。**

6. **CLEARボタンを押します。**
表示部にCLEARが表示され、TV、INPUTが削除されます。
マクロプログラムのステップ削除では、ソース切り替え後そのソースの各操作も削除されます。
INPUTの位置でCLEARボタンを押した場合は、INPUTのステップだけが削除されます。
ステップの□表示も同時に変化します。
・変更したステップを確認するときにはカーソルボタンの◀か▶を押します。

7. **終了するときは、Mボタンを押します。**
完了後、別のマクロプログラムを変更する時には、カーソルボタンのOKを押しメニューに戻り、3〜6の操作を繰り返します。

マクロプログラムのステップを上書追加

例としてM-01にプログラムされている
DVD→PLAY→AMP→AUTOのプログラムを
DVD→PLAY→TV→INPUTにします。

1. **Mボタンを3秒以上押します。**
メニュー表示になります。

2. **ダイレクトボタンのD4（MACRO）ボタンを押します。**
マクロメニュー表示になります。
MACROが点灯し、LEARNが点滅します。

3. **ダイレクトボタンのD1（M-01）ボタンを押します。**

4. **ダイレクトボタンのD5（EDIT）ボタンを押します。**
表示部にDVDが表示され、ステップの位置が■で表示されます。
プログラムされている部分は□で表示されます。

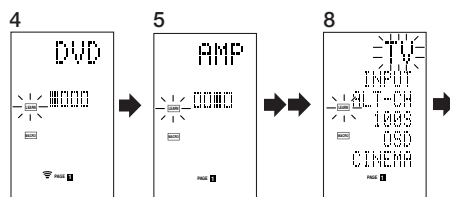
5. **カーソルボタンの▶を押し、AMPを表示させます。**

6. **ソースボタンのTVを押します。**
TVが0.5秒間点滅します。

7. **ダイレクトボタンのD1（INPUT）ボタンを押します。**
INPUTが0.5秒間点滅します。
TVとINPUTが上書きされます。
変更したステップを確認するときには、カーソルボタンの◀か▶を押します。

8. **終了するときは、Mボタンを押します。**
完了後、別のマクロプログラムを変更する時には、カーソルボタンのOKを押しメニューに戻り、3〜7の操作を繰り返します。

マクロプログラムのステップを挿入

例としてM-01にプログラムされている
DVD→PLAY→AMP→AUTOのプログラムを
DVD→PLAY→TV→INPUT→AMP→AUTOにします。

1. **Mボタンを3秒以上押します。**
メニュー表示になります。

2. **ダイレクトボタンのD4（MACRO）ボタンを押します。**
マクロメニュー表示になります。
MACROが点灯し、LEARNが点滅します。

3. **ダイレクトボタンのD1（M-01）ボタンを押します。**

4. **ダイレクトボタンのD5（EDIT）ボタンを押します。**
表示部にDVDが表示し、ステップの位置が■で表示されます。
プログラムされている部分は□で表示されます。

5. **カーソルボタンの▶を押し、AMPを表示させます。**

6. **MEMOボタンを押します。**

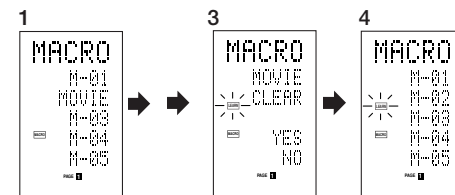
7. **ソースボタンのTVを押します。**
TVが0.5秒間点滅します。

8. **ダイレクトボタンのD1（INPUT）ボタンを押します。**
INPUTが0.5秒間点滅します。

9. **カーソルボタンのOKを押します。**
TVとINPUTが挿入されます。
変更したステップを確認するときには、カーソルボタンの◀か▶を押します。

10. **終了するときは、Mボタンを押します。**
完了後、別のマクロプログラムを変更する時には、カーソルボタンのOKを押しメニューに戻り、3〜9の操作を繰り返します。

マクロプログラムを消去

消去した場合は、そのボタンにプログラムされていたプログラムは消去されます。また、変更したマクロの名前も工場出荷状態に戻ります。
例としてM-02にプログラムされているMOVIEの名前のマクロを消去します。

1. **Mボタンを3秒以上押します。**
マクロメニュー表示になります。

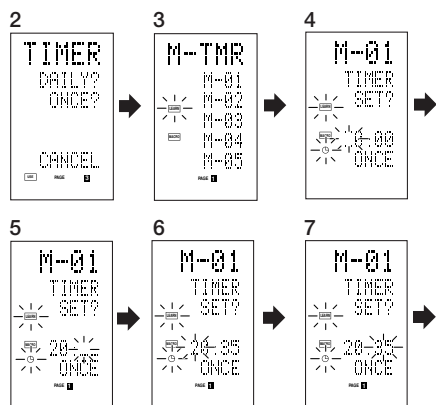
2. **ダイレクトボタンのD4（MACRO）ボタンを押します。**
マクロメニュー表示になります。

3. **CLEARボタンを押しながら、ダイレクトボタンのD2（MOVIE）ボタンを押します。**

4. **ダイレクトボタンのD4（YES）ボタンを押し、消去します。**
・消去をやめるときはNO（D5ボタン）を押す。

5. **終了するときは、Mボタンを押します。**
完了後、別のマクロプログラムを変更する時には、カーソルボタンのOKを押しメニューに戻り、2〜4の操作を繰り返します。

マクロタイマーの設定をする

タイマーの設定をすることにより、マクロプログラムで機器の電源ON/OFFなどが自動的にできます。
設定ではマクロタイマーを1回だけ実行するか、毎日実行するかを選べます。
はじめる前に、あらかじめ時計を設定しておいてください。マクロタイマーは1日1プログラムだけ設定できます。
例として、M-01にプログラムしたマクロをタイマーを使って20：35分に1回だけ実行します。

1. **Mボタンを3秒以上押します。**

メニュー表示になります。

2. **>ボタンを押し、3ページ目のTIMERのメニューにします。**

3. **ダイレクトボタンのD2(ONCE?)ボタンを押します。**

表示部にM-TMRのメニューが表示されます。

・タイマー設定をやめるときはCANCELを押す。

4. **ダイレクトボタンのD1(M-01)ボタンを押します。**

表示部には、前回設定した時刻が表示されます。

5. **数字ボタンの2と0を押し、時刻表示を20にします。**

6. **数字ボタンの3と5を押し、分表示を35にします。**

7. **カーソルボタンのOKを押します。**

時刻が確定します。

8. **終了するときは、Mボタンを押します。**

マクロタイマーをキャンセルするときには、TIMERのメニューに戻してから、ダイレクトボタンのCANCEL(D5)を押し、さらにD1(M-01)押します。

マクロタイマーの実行

設定した時間がくるとマクロタイマーがスタートします。

マクロタイマーが有効になっている時は、TIMER表示◷が点灯しています。

■**注意：**

マイクロタイマーを実行する時は、操作する機器の赤外線受光部に向けてリモコンを置いてください。位置が不完全な場合は、正常に操作出来ないことがあります。

クローンモード

クローンモードでコピー品を作る

簡単な操作で、別のRC1400へ全ての学習をさせたコードをコピーできます。

・リモコンの内容全体のコピーとソースボタン毎のコピーができます。

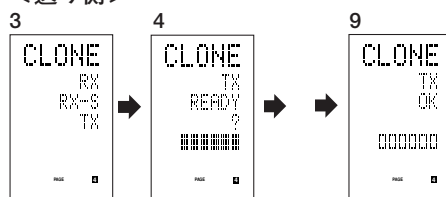
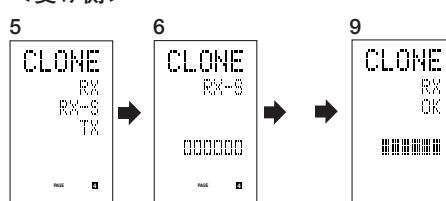
・全体のコピーは学習させた全てのコード、変更した名前、プログラムしたマクロ、信号の送信間隔をコピーします。

ソースボタン毎のコピーでは学習させたコード、変更した名前がコピーできます。

■**注意：**

クローン機能を使うときは、送り側・受け側で同じリモコン(RC1400)でない場合にはコピーできません。

全体をコピーする

＜送り側＞

＜受け側＞

1. **受け側リモコンの受光部(頭部)と送り側リモコンの送信部(頭部)を約5cm離してまっすぐに置きます。**

2. **送り側リモコンのMボタンを3秒以上押します。**

メニュー表示になります。

3. **>ボタンを押し、4ページ目のCLONEのメニューにします。**

4. **ダイレクトボタンのD3(TX)ボタンを押します。**

これで送り側の準備ができました。

5. **受け側リモコンのMボタンを3秒以上押します。**

メニュー表示になります。

6. **>ボタンを押し、4ページ目のCLONEのメニューにします。**

7. **ダイレクトボタンのD1(RX)ボタンを押します。**

これで受け側の準備ができました。

8. **受け側リモコンのカーソルボタンのOKを押します。**

9. **送り側リモコンのカーソルボタンのOKを押します。**

コピーが始まると両方の表示部のバー表示が左から右に動き始めます。

・送り側の表示がTX OKになり、受け側の表示 がRX OKになったらコピーが完了します。

・コピー動作中は、両方のリモコンには手をふれないで下さい。コピー失敗の原因になります。

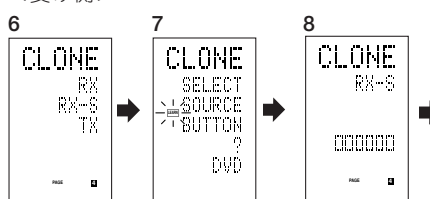
・コピーが途中で失敗したときは受け側にRX ERRORが表示されます。1〜7の操作を確認して再度行って下さい。

・コピーの時間は、送り側の学習容量が100%の時に約3分程度かかります。

10. **コピーが完了したら、両リモコンのMボタンを押します。**

ソース毎にコピーする

12種類あるソースをコピーできます。最大12種類のソースを選択できます。

＜受け側＞

1. **受け側リモコンの受光部(頭部)と送り側リモコンの送信部(頭部)を約5cm離してまっすぐに置きます。**

2. **送り側リモコンのMボタンを3秒以上押します。**

メニュー表示になります。

3. **>ボタンを押し、4ページ目のCLONEのメニューにします。**

4. **ダイレクトボタンのD3(TX)ボタンを押します。**

これで送り側の準備ができました。

5. **受け側リモコンのMボタンを3秒以上押します。**

6. **>ボタンを押し、4ページ目のCLONEのメニューにします。**

7. **ダイレクトボタンのD2(RX-S)ボタンを押します。**

8. **コピーするソースボタンを押します。**

これで受け側の準備ができました。

表示部に押したソースの名前が表示されます。

・ソースボタンを押すたびに名前が表示部に表示されます。

9. **受け側リモコンのカーソルボタンのOKを押します。**

10. **送り側リモコンのカーソルボタンのOKを押します。**

コピーが始まると両方の表示部のバー表示が左から右に動き始めます。

・送り側の表示がTX OKになり、受け側の表示がRX OKになったらコピーが完了します。

・コピー動作中は、両方のリモコンには手をふれないで下さい。コピー失敗の原因になります。

・コピーが途中で失敗したときは、ERRORが表示されます。

1〜7の操作を確認して再度行って下さい。

11. **コピーが完了したら、両リモコンのMボタンを押します。**

セットアップ

ライティング時間の設定

・LIGHTボタンを押すと表示部が照光します。ボタンを押している間は照光し、離すと消えます。

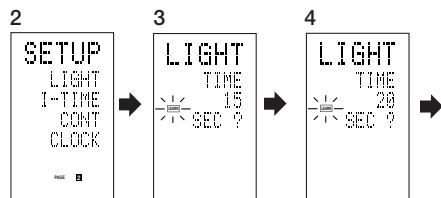
・照光している間や照光が終了した後、2秒以内に他のボタンを押すと照光が継続します。

・照光時間は、0〜60秒まで1秒間隔にて設定できます。

LIGHTボタンには光を蓄える性質を持った蓄光ボタンを採用しています。周囲が暗くなったときにボタンが光らなくなったら､蛍光灯スタンド等で光を充分に当てて下さい。再び良く光るようになります。

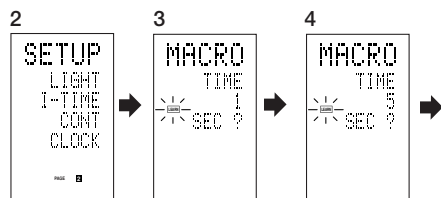
・LIGHTボタンはLIGHT1とLIGHT2の2つのボタンがあり、どちらも同じ動作をします。

工場出荷状態の照光時間は15秒に設定されています。

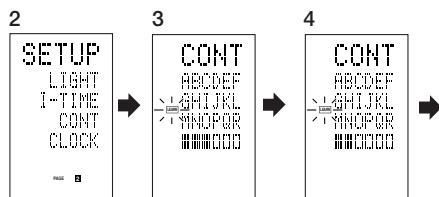
例として照光時間を20秒に設定します。

1. Mボタンを3秒以上押します。
メニュー表示になります。
2. ＞ボタンを押し、2ページ目のSETUPのメニューにします。
3. ダイレクトボタンのD1（LIGHT）ボタンを押します。
LIGHT表示になります。
4. カーソルボタンの▲か▼を押して照光の時間を設定します。
5. カーソルボタンのOKを押し、設定した時間を決定します。
6. 終了するときは、Mボタンを押します。

マクロのインターバルタイムを設定

マクロプログラムを実行するときに、コントロールのための信号が順次送信されます。この送信間隔（インターバルタイム）は、0.5秒から5秒まで0.5秒間隔にて設定できます。
このセットアップモードでインターバルタイムの設定をした場合は、全てのプログラム済のマクロインターバルタイムが変更されます。必要な場合はマクロプログラムのEDIT（参照32ページ）で個々に変更を行ってください。
工場出荷状態は１秒に設定されています。

例としてインターバルタイムを５秒に設定します。

1. Mボタンを3秒以上押します。
メニュー表示になります。
2. ＞ボタンを押し、2ページ目のSETUPのメニューにします。
3. ダイレクトボタンのD2（I-TIME）ボタンを押します。
4. カーソルボタンの▲か▼押してインターバルタイムを設定します。
5. カーソルボタンのOKを押し、設定したインターバルタイムを決定します。
6. 終了するときは、Mボタンを押します。

表示部のコントラストを調整

表示部のコントラストが調整できます。周囲の環境に合わせて、見やすくなるように調整してください。

1. Mボタンを3秒以上押します。
メニュー表示になります。
2. ＞ボタンを押し、2ページ目のSETUPのメニューにします。
3. ダイレクトボタンのD3（CONT）ボタンを押します。
4. カーソルボタンの▲か▼を押し表示の濃さが見やすくなるように設定します。
調整は10段階あります。
工場出荷状態は5段階目に設定されています。
5. カーソルボタンのOKを押し、設定した表示の濃さを決定します。
6. 終了するときは、Mボタンを押します。

故障かな?と思ったときは

症　状	原　因	処　置
本機の電源が入らない。	電源コードが抜けている。	電源コードを正しく接続してください。
本機の電源が入っているが、映像や音声が出ない。	ミュート機能がオンになっている。	リモコンを使ってミュート機能を解除してください。
	本機への各種ケーブルの接続が正しくない。	「各機器との接続」の章を参考に、正しく接続してください。
	音量調整が最小になっている。	音量を適当な位置に調整してください。
	選択した入力ソースの機器が間違っている。	正しいソースを選択してください。
選択した機器からの音声や映像が出ない。	本機への入力ケーブルが正しく接続されていない。	「各機器との接続」の章を参考に、正しく接続してください。
全てのスピーカーから音が出ない。	PHONES 端子にヘッドホーンが接続されている。	ヘッドホーンを外してください。（ヘッドホーンが接続されている間は、スピーカーから音声は出ません。）
特定のスピーカーから違うチャンネルの音が再生される。	スピーカーケーブルが正しく接続されていない。	「各機器との接続」の章を参考に、正しく接続してください。
センタースピーカーから音が出ない。	センタースピーカー用ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルを正しく接続してください。
	サラウンドモードで STEREO が選択されている。	他のサラウンドモードを選択してください。サラウンドモードで STEREO が選択されている場合は、センタースピーカーから音声は出ません。
	セットアップメニューの SPEAKER SETUP にて CENTER：NONE が設定されている。	セットアップメニューにて正しい設定（LARGE もしくは SMALL）にしてください。
サラウンドスピーカーから音が出ない。	サラウンドスピーカーケーブルが正しく接続されていない。	「各機器との接続」の章を参考に、正しく接続してください。
	サラウンドモードで STEREO が選択されている。	他のサラウンドモードを選択してください。サラウンドモードで STEREO が選択されている場合は、サラウンドスピーカーから音声は出ません。
	セットアップメニューの SPEAKER SETUP にて SL & SR：NONE が設定されている。	セットアップメニューの SPEAKER SETUP にて正しい設定（LARGE もしくは SMALL）にしてください。
サラウンドバックスピーカーから音が出ない。	サラウンドバックスピーカーケーブルが正しく接続されていない。	「各機器との接続」の章を参考に、正しく接続してください。
	サラウンドモードでEX/ES、Neo:6、CS Ⅱ以外が選択されている。	サラウンドバック再生可能なモードを選択してください。
	セットアップメニューの SPEAKER SETUP にて SURR B：NONE が設定されている。	セットアップメニューの SPEAKER SETUP にて SURR B：YES に設定してください。
サブウーファーから音が出ない。	セットアップメニューの SPEAKER SETUP にて SUB W：NONE が設定されている。	セットアップメニューの SPEAKER SETUP にて SUB W：YES に設定してください。
サラウンドモードが変えられない。	PHONES 端子にヘッドホーンが接続されている。	ヘッドホーンを外す。（ヘッドホーンが接続されている間は、サラウンドモードは STEREO の設定になります。）
EX/ES モードが選択できない。	セットアップメニューの SPEAKER SETUP にて SURR B：NONE が設定されている。	セットアップメニューの SPEAKER SETUP にて SURR B：YES に設定してください。
	入力信号が対応していない。	各種 5.1ch 信号を選択して入力してください。
プロロジックⅡモードが選択できない。	入力信号が対応していない。	各種 2ch 信号を選択して入力してください。
Neo:6 モードが選択できない。	入力信号が対応していない。	各種 2ch 信号を選択して入力してください。
CS Ⅱモードが選択できない。	入力信号が対応していない。	各種 2ch 信号を選択して入力してください。
DTS 信号のある CD や LD からノイズが出る。	アナログ入力にて使用している。	再生機器がデジタル出力できることを確認して、デジタル入力を設定してください。
	CD や LD プレーヤーが DTS 信号の出力に対応していない。	プレーヤー側を確認してください。

症　状	原　因	処　置
96kHzPCM 信号が再生できない。	プレーヤーが 96kHz PCM 信号の出力に対応していない。	DVD プレーヤーの取扱説明書を参照してください。
	ディスクにて 96kHz PCM 出力が禁止されている。	DVD プレーヤーの取扱説明書を参照してください。
	DVD プレーヤーのデジタル出力設定が誤っている。	DVD プレーヤーの取扱説明書を参照してください。
AAC 信号が再生できない	BS デジタルチューナーのデジタル出力設定が誤っている。	BS デジタルチューナーの取扱説明書を参照して下さい。
特定のスピーカーから音が出ない。	対象の信号が記録されていない。	どのスピーカーを使うサラウンド信号が記録されているか、出力側のチャンネルを確認してください。
リモコンを使って本機の操作ができない。	リモコンが違う動作モードになっている。	AMP モードを選択してください。
	リモコンと本機の間が離れ過ぎている。	本機に近付いて、リモコンを操作してください。
	リモコンと本機の間に、リモコンからの信号を妨害する物がある。	信号を妨害している物を取り除いてください。
ビデオ信号が出力されない。	VIDEO ー OFF 機能が働いている。	VIDEO ー OFF 機能を解除する。
トランスからうなり（ノイズ）が出る。	家庭内の電源事情により、多少目立つことがあります。	電熱器、コタツなどの使用を止めてみてください。
入力信号がないときに、シャーというノイズ（残留ノイズ）が出る。	サラウンド用の DSP を搭載しておりますので、多少目立つことがあります。	2ch ソースをお聞きのときノイズが気になる場合は、S(Source)-Direct モードでお聞きください。
DVD プレーヤーで CD 再生時に、トラックスキップなどを行うと、曲の頭が少し欠けて再生される。	DVD プレーヤーによってはトラックスキップ時にデジタル信号が途切れるものがあります。サラウンドシステムを適切に合わせるための判別時間が必要なため、少しだけ曲の頭が途切れる場合があります。	この様な DVD プレーヤーを接続する場合、アナログ接続して頂くと問題なく再生することができます。
受信状態が悪いテレビ映像信号、またはビデオ映像を再生して OSD を表示させると画面が乱れる。	ノイズにより、OSD 回路が誤動作する。	セットアップメニューで OSD を OFF にしてご使用ください。
音が出ないで STANDBY モードになる。	接続されているスピーカーケーブルに、ヒゲなどが出てショートしている。	スピーカーケーブルの裸部分をしっかりよじって、他の端子やリアパネルなどに接触しないように接続してください。
Dolby Digital EX ディスクをデジタル接続で再生しても、サラウンドバックの音声が出ない。	再生しているディスクに、Dolby EX の判別信号が記録されていない。	サラウンドモードを "AUTO" から、"Dolby EX" モードにしてください。
DVD プレーヤーとデジタル接続時に、DTS、または Dolby Digital 収録のディスクを再生しても 5.1ch にならない。	DVD プレーヤー出力設定が間違っている。	DVD プレーヤーの取扱説明書を参照してください。
DVD で映画などを再生しているとき、音声（せりふ）が聞こえない。	センタースピーカーを接続していない状態で、スピーカー設定の CENTER が "ON" になっている。	センタースピーカーを接続していない場合は、スピーカー設定の CENTER を "NONE" にしてください。
音楽再生時、音像が定位しない。	スピーカーの極性が正しく接続されていない。	スピーカーの極性を確認してください。

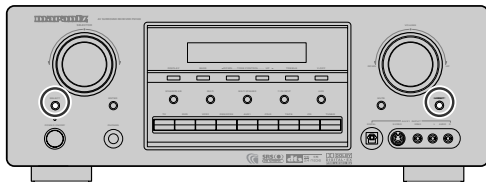
異常動作のときは

本機の前面表示部に異常な表示や誤動作表示などをしている場合、すぐに主電源を切ってください。
再度電源を入れても症状が変わらない場合、電源コードを抜いてください。
その後、お買い上げになった販売店もしくはお近くの弊社営業所、または弊社サービスセンターにご相談ください。

メモリバックアップについて

本機の主電源を切った状態でも、設定した各種内容を内部不揮発性メモリーに記憶しております。

初期状態に戻すには（リセット）

「故障かな?と思ったときは」を参考にされても、不具合が解決しない場合は、本機のリセットを試してみてください。
但しリセット行うと、セットアップメニューにて設定した内容、サラウンドモードの設定の情報が消去されますことをご了承ください。

1. **電源が入っていることを確認します。**

2. **本体の*SELECT* ボタンを押しながら、*S-DIRECT* ボタンを3秒以上押します。**

本機は一度スタンバイ状態になった後、再度POWER－ON状態となり、各種設定された内容が初期化され、工場出荷時の状態に戻ります。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

保証・アフターサービス

1. **この商品には保証書を別途添付してあります。**

保証書は「販売店・お買い上げ日」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。

2. **保証期間はお買い上げ日より1年間です。**

お買い上げ販売店、または弊社営業所で保証書記載事項に基づき「無料修理」いたします。

3. **保証期間経過後の修理。**

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4. **弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。**

5. **補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または弊社営業所・サービスセンターに遠慮なくご相談ください。**

6. **修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度「故障と思ったときは」をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときには、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。**

ご連絡いただきたい内容

1）　品 名 AV サラウンドアンプ

2）　品 番 PS7400

3）　お買上げ日　 年　月　日

4）　故障の状況（できるだけ具体的に）

5）　ご住所

6）　お名前

7）　電話番号

仕　様

オーディオ パワーアンプ部

定格出力（20 Hz - 20 kHz ／THD＝0.08%）
　フロントL/R .... 105 W/CH 8Ω
　センター .... 105 W/CH 8Ω
　サラウンドL/R .... 105 W/CH 8Ω
　サラウンドバックL/R ... 105 W/CH 8Ω
　フロントL/R .... 130 W/CH 6Ω
　センター .... 130 W/CH 6Ω
　サラウンドL/R .... 130 W/CH 6Ω
　サラウンドバックL/R ... 130 W/CH 6Ω
実用最大出力（1kHz ／JEITA）
　フロントL/R .... 160 W/CH 6Ω
　センター. .... 160 W/CH 6Ω
　サラウンドL/R .... 160 W/CH 6Ω
　サラウンドバックL/R ... 160 W/CH 6Ω
出力帯域幅（50W / 0.09%）
（ダイレクト 入力） .... 6 Hz - 50 kHz
周波数特性（ダイレクト 入力）
　.................. 5 Hz -100 kHz （+/-3 dB）
S/N比（ダイレクト 入力） .... 105 dB
ダンピングファクター 100
入力感度/インピーダンス ... 168mV/47 kΩ

デコーダー＆プリアンプ部

再生対応信号フォーマット
　.................................... PCMオーディオ
　（fs=32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、96 kHz）、
　DOLBY DIGITAL、DOLBY DIGITAL EX.、
　DTS、DTS-ES、DTS96/24、AAC
周波数特性X
（アナログ入力：ソースダイレクトモード）
　................. 5 Hz -100 kH z （+/-3 dB）
（デジタル入力：PCM 96 kHz）
　................. 5 Hz - 45 kH z （+/-3 dB）
S/N比
（ソースダイレクトモード：20kLPF＆ A-weight）
　.. 104 dB

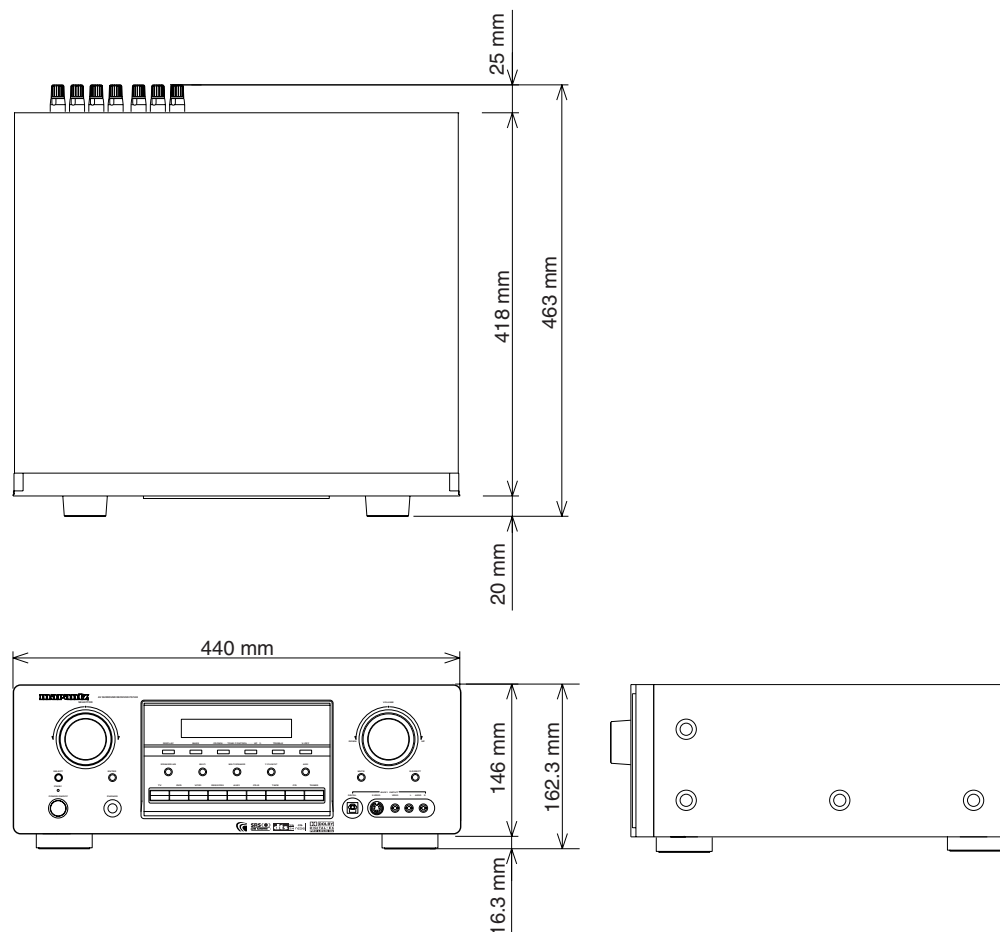
ビデオ部

信号方式 .... NTSC
入力･出力インピーダンス .... 75 Ω
入出力レベル（100%） .... 1 Vp-p
S/N比 .... 60 dB
周波数特性（Video、S-Video ）
　.......................... 5 Hz -10 MHz（-3dB）
周波数特性（コンポーネントVideo）
　........................ 5 Hz -45 MHz（-3dB）

総合

電源電圧 .... AC 100 V 50/60 Hz
消費電力 .... 520 W
スタンバイ消費電力 .... 0.6 W
重量　 .... 14.0 kg

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

外観寸法図

セットアップコード

アンプ

ソースボタン名 : AMP

Brand name	Setup code
Amstrad	0105
Arcam	0296
Audiolab	0296
Carver	0296
GE	0105
Genexxa	0422
Grundig	0296
Harman/Kardon	0919
JVC	0358
Left Coast	0919
Linn	0296
Magnavox	0296
Marantz	0919, 0296
Micromega	0296
Myryad	0296
Optimus	0422
Panasonic	0335
Philips	0919, 0296
Pioneer	0040
Polk Audio	0919, 0296
Realistic	0422
Revox	0296
Sony	0247
Soundesign	0105
Technics	0335
Thorens	0296
Victor	0358
Wards	0105, 0040
Yamaha	0381

レシーバー/チューナー

ソースボタン名 : AMP, TUNER

Brand name	Setup code
ADC	0558
Aiwa	1432, 0185, 1116, 1415, 1668
Alco	1417
Anam	1636
Apex Digital	1284
Audiolab	1216
Audiotronic	1216
Audiovox	1417
Bose	1256
Cambridge Soundworks	1397
Capetronic	0558
Carver	1216, 1116
Centrex	1284
Denon	1387
Ferguson	0558
Fine Arts	1216
Grundig	1216
Harman/ Kardon	0137, 1331
Integra	0162, 1325
JBL	0137, 1333
JVC	0101, 0558, 1401, 1522
KLH	1417, 1439
Kenwood	1340, 1054
MCS	0066
Magnavox	1216, 1296, 0558, 1116
Marantz	1216, 0066, 1116, 1316
Micromega	1216
Musicmagic	1116
Myryad	1216
NAD	0347
Norcent	1416
Onkyo	0162, 0869, 1325
Optimus	1050, 0558
Panasonic	1545, 0066, 1315, 1790
Philips	1216, 1296, 1116, 1293, 1295, 1310, 1316
Pioneer	1050, 0041, 0558, 1411
Polk Audio	1316
Proscan	1281
Quasar	0066
RCA	1050, 1636, 1281, 0558, 1417
Saba	0558
Sansui	1116
Schneider	0558
Sony	1085, 0185, 1185, 1685, 1785
Stereophonics	1050
Sunfire	1340
Teac	1417
Technics	1335, 1545, 0066, 1336
Telefunken	0558
Thomson	1281
Thorens	1216
Uher	0558
Venturer	1417
Victor	0101
Wards	0185, 0041
Yamaha	0203, 1203, 1358

ケーブルテレビ

ソースボタン名 : AUX1

Brand name	Setup code
ABC	0030, 0035
Americast	0926
Bell South	0926
Birmingham Cable Communications	0303
British Telecom	0030
Cable & Wireless	1095
Daeryung	0904, 1904, 0504, 0035
Director	0503
Filmnet	0470
General	0503, 0837, 0303,
GoldStar	0171
Hamlin	0036, 0300
Instrument	0030
Jerrold	0503, 0837, 0303, 0030
LG	0171
MNet	0470
Memorex	0027
Motorola	0503, 0837, 0303, 1133
NTL	1095
Noos	0844
Ono	1095
PVP Stereo Visual Matrix	0030
Pace	0264, 1087, 1095
Panasonic	0027, 0035, 0134
Paragon	0027
Philips	0332, 0344
Pioneer	0904, 1904, 0171, 0560
Pulsar	0027
Quasar	0027
Regal	0306, 0300
Runco	0027
Sagem	0844
Samsung	0027, 0171
Scientific Atlanta	0904, 1904, 0504, 0035
Sony	1033
Starcom	0030
Supercable	0303
TS	0030
Tele+1	0470
Telewest	1095
Torx	0030
Toshiba	0027
Trans PX	0303
United Cable	0030
Zenith	0027, 0552, 0926

衛星放送チューナー

ソースボタン名 : DSS

Brand name	Setup code
@sat	1327
ABsat	0150
Alba	0482
AlphaStar	0799
Amstrad	0874
Aston	0169, 1156
Astro	0200
Atsat	1327
Avalon	0423
Blaupunkt	0200
British Sky Broadcasting	0874, 1202
Canal Digital	0880
Canal Satellite	0880
Canal+	0880
Chaparral	0243
Citycom	1203
Connexions	0423
Crossdigital	1136
Cyrus	0227
D-box	0750, 1154
DMT	1102
DNT	0227, 0423
Daeryung	0423
Daewoo	1323
Digenius	0326
DirecTV	0419, 0593, 0666, 1169, 0274, 0776, 1776, 0751, 0846, 1883, 1103, 1136
Dish Network System	1032, 0802
DishPro	1032, 0802
Distratel	0111
Dream Multimedia	1264
Echostar	1032, 0802, 0194, 0423, 0637, 0880, 0898, 1113
Engel	1044
Expressvu	0802
FTE	0890
Finlux	0482
Fracarro	0898
Fuba	0423
GE	0593
GOI	0802
Galaxis	0890, 1138
General Instrument	0896
Gold Box	0880
Grundig	0200, 0874
HTS	0802
Hirschmann	0200, 0423
Hitachi	0846, 0482
Hughes Network Systems	1169, 0776, 1776
Humax	0890, 1203
InVideo	0898
JVC	0802
Kathrein	0150, 0200, 0227, 0276, 0685, 1248
Kreiselmeyer	0200
Labgear	1323
Logix	1044
Lorenzen	0326
Magnavox	0751, 0749
Manhattan	0482, 1044, 1110
Marantz	0227
MediaSat	0880
Memorex	0751
Metronic	0111
Mitsubishi	0776
Motorola	0896
Myryad	0227
Next Level	0896

衛星放送チューナー

ソースボタン名： DSS

Brand name	Setup code
Nokia	0482, 0750, 0778, 1154, 1250, 1750
OctalTV	1032
Orbitech	1127
Pace	0482, 0874, 1202, 1350
Panasonic	0274, 0728, 0874, 1347
Panda	0482
Paysat	0751
Philips	1169, 0776, 1776, 0751, 1103, 0749, 0160, 0227, 0482, 0880
Pioneer	0880
Promax	0482
Proscan	0419, 0593
RCA	0419, 0593, 0882, 0170
RFT	0227
RadioShack	0896
Radiola	0227
Radix	0423
SKY	0883, 0874, 1202
SM Electronic	1227
Sabre	0482
Sagem	0847, 1141, 1280
Samsung	1303, 1136, 1044, 1319
Sat Control	1327
Satstation	1110
Schwaiger	1138
Seemann	0423
Siemens	0200
Sony	0666, 1666, 0874
Star Choice	0896
Strong	1327
TPS	0847, 1280
Tantec	0482
TechniSat	1126, 1127
Telestar	1127
Thomson	0482, 0880, 1073, 1318
Topfield	1233
Toshiba	0776, 1776, 0817
UltimateTV	0419, 0666
Uniden	0751, 0749
Universum	0200
Ventana	0227
Wisi	0200, 0423, 0482
XSat	0150
Zehnder	1102
Zenith	0883, 1883

テープデッキ

ソースボタン名 : TAPE

Brand name	Setup code
Aiwa	0056
Carver	0056
Grundig	0056
Harman/Kardon	0056
Magnavox	0056
Marantz	0056
Myryad	0056
Optimus	0054
Philips	0056
Pioneer	0054
Polk Audio	0056
RCA	0054
Revox	0056
Sansui	0056
Sony	0270
Thorens	0056
Wards	0054

レーザーディスク

ソースボタン名 : AUX2

Brand name	Setup code
Carver	0091
Denon	0086
Marantz	0091
Mitsubishi	0086
NAD	0086
Nagsmi	0086
Optimus	0086
Philips	0091
Pioneer	0086
Salora	0091
Sony	0228
Telefunken	0086

CD/CD-R プレーヤー

ソースボタン名： CD, CDR, MD

Brand name	Setup code
Aiwa	0184
Arcam	0184
Audio Research	0184
AudioTon	0184
Audiolab	0184
Audiomeca	0184
Cairn	0184
California Audio Labs	0056
Carver	0184, 0206
Cyrus	0184
DKK	0027
DMX Electronics	0184
Denon	0900
Dynamic Bass	0206
Emerson	0332
Fisher	0206

CD/CD-R プレーヤー

ソースボタン名： CD, CDR, MD

Brand name	Setup code
Genexxa	0059, 0332
Goodmans	0332
Grundig	0184
Harman/ Kardon	0184, 0200
Hitachi	0059
JVC	0099
Kenwood	0708, 0653, 0055, 0064
Krell	0184
LXI	0332
Linn	0184
MCS	0056
Magnavox	0184, 0332
Marantz	0653, 0056, 0184
Matsui	0184
Memorex	0332
Meridian	0184
Micromega	0184
Miro	0027
Mission	0184
Myryad	0184
NAD	0027
NSM	0184
Naim	0184
Onkyo	0895
Optimus	0027, 0059, 0064, 0206, 0332
Panasonic	0056
Philips	0653, 0184
Pioneer	0059, 0332
Polk Audio	0184
Proton	0184
QED	0184
Quad	0184
Quasar	0056
RCA	0059, 0206, 0332
Realistic	0206
Revox	0184
Rotel	0184
SAE	0184
Sansui	0184, 0332
Sanyo	0206
Scott	0332
Sears	0332
Sharp	0888, 0064
Simaudio	0184
Sonic Frontiers	0184
Sony	0517, 0027
Symphonic	0332
TAG McLaren	0184
Tandy	0059
Technics	0056
Thorens	0184
Thule	0184
Universum	0184
Victor	0099
Wards	0184

テレビ

ソースボタン名 : TV

Brand name	Setup code
MARANTZ TV1 (TV, VDP)	0001
MARANTZ TV2 (Plasma)	0002
AGB	0543
AOC	0478, 0120, 0207, 0087, 0057, 0205, 0036, 0119, 0135
ASA	0131
AWA	0036
Acura	0036
Addison	0119, 0135, 0680
Admiral	0120, 0490, 0190
Advent	0788
Aiko	0119
Akai	0839, 0729, 0057, 0036, 0235, 0388, 0543
Akura	0291
Alba	0036, 0064, 0398, 0695
America Action	0207
Ampro	0778
Amstrad	0198, 0036, 0064, 0398, 0439, 0460, 0543
Anam	0277, 0207, 0036
Anam National	0277, 0677
Anitech	0036
Apex Digital	0775, 0792, 0794
Audiosonic	0064, 0136
Audiovox	0478, 0207, 0119, 0650
Bang & Olufsen	0592
Basic Line	0036
Baur	0064, 0388, 0539
Baysonic	0207
Beaumark	0205
Beko	0397, 0513, 0741, 0742
Bell & Howell	0181
Beon	0064
Blaupunkt	0222
Blue Sky	0695, 1064
Bondstec	0274
Bradford	0207
Brandt	0136, 0362
Broksonic	0263, 0490
Bush	0036, 0064, 0398, 0401, 0695, 1064
CCE	0064
CGE	0274
CTC	0274
CXC	0207
Candle	0057
Carnivale	0057
Carver	0081, 0197
Cascade	0036
Cathay	0064
Celebrity	0027
Celera	0792
Centurion	0064
Changhong	0792
Ching Tai	0036, 0119

テレビ

ソースボタン名 : TV

Brand name	*Setup code*
Chun Yun	0027, 0207, 0036, 0119
Chung Hsin	0207, 0080, 0135
Cimline	0036
Cineral	0478, 0119
Citizen	0087, 0057, 0119
Clarion	0207
Clarivox	0064
Clatronic	0274, 0397
Condor	0347, 0397
Conrac	0835
Contec	0207, 0036
Craig	0207
Crosley	0081
Crown	0207, 0036, 0064, 0397, 0445
Curtis Mathes	0074, 0081, 0181, 0478, 0120, 0087, 0729, 0057, 0172, 0193, 1174, 1374
Daewoo	0181, 0478, 0207, 0057, 0205, 1688, 0036, 0064, 0119, 0135, 0197, 0401, 0650, 0661
Dansai	0064
Dayton	0036
De Graaf	0235, 0575
Decca	0064, 0543
Denon	0172
Digatron	0064
Dixi	0036, 0064
Dumont	0044
Dwin	0747, 0801
ECE	0064
Elbe	0286
Electroband	0027
Elin	0064, 0575
Elite	0347
Elta	0036
Emerson	0181, 0263, 0490, 0207, 0205, 0388, 0650
Envision	0057, 0840
Epson	0860
Erres	0064
Ether	0057, 0036
Etron	0036
Europhon	0543
Ferguson	0064, 0100, 0136, 0265, 0314, 0362, 0587
Fidelity	0388
Finlandia	0235, 0373
Finlux	0064, 0131, 0132, 0373, 0543
Firstar	0263, 0036
Firstline	0036, 0274, 0695
Fisher	0181, 0131, 0235, 0397
Flint	0482
Formenti	0064, 0347
Fortress	0120
Frontech	0190, 0274, 0291
Fujitsu	0710, 0836
Funai	0207, 0198, 0291
Futuretech	0207

テレビ

ソースボタン名 : TV

Brand name	*Setup code*
GE	0074, 0078, 0478, 0207, 0057, 0205, 1481, 0119, 0587, 1174, 1374
GEC	0064, 0543
Gateway	1782, 1783
Geloso	0036
Genexxa	0190
Gibralter	0044, 0057
GoldStar	0181, 0057, 0205, 0064, 0136, 0404
Goodmans	0064, 0398, 0401, 0661
Gorenje	0397
Gradiente	0080, 0197
Graetz	0190, 0388
Granada	0064, 0235, 0366, 0543
Grandin	0637
Grundig	0064, 0222, 0514, 0583, 0614
Grunpy	0207
HCM	0036, 0439
Hallmark	0205
Hankook	0207, 0057, 0205
Hanseatic	0064, 0347, 0388, 0455, 0583
Hantarex	0543
Harman/Kardon	0081
Harvard	0207
Havermy	0120
Hello Kitty	0478
Hinari	0036, 0064
Hisawa	0482
Hitachi	0057, 0205, 1172, 0172, 1283, 0036, 0119, 0132,0136, 0190, 0252, 0383, 0508, 0575, 0605
Hua Tun	0036
Huanyu	0401
Hypson	0064, 0291
ICE	0291, 0398
ITS	0398
ITT	0190, 0388, 0575
Imperial	0274, 0397, 0445
Indiana	0064
Infinity	0081
Ingelen	0190
Inno Hit	0543
Innova	0064
Inteq	0044
Interfunk	0064, 0190, 0274, 0388, 0539
Intervision	0064, 0291, 0404
JBL	0081
JCB	0027
JVC	0490, 0080, 0398, 0680, 0710
Jean	0183, 0078, 0263, 0036, 0119
Jensen	0788
KEC	0207
KTV	0207, 0057
Kaisui	0036
Kapsch	0190
Karcher	0637

テレビ

ソースボタン名 : TV

Brand name	*Setup code*
Kathrein	0583
Kendo	0064
Kenwood	0057
Kneissel	0286, 0462
Kolin	0207, 0080, 0135
Korpel	0064
Koyoda	0036
L&S Electronic	0835
LG	0087, 0057, 0205, 0064, 0135, 0741
LXI	0074, 0081, 0181, 0183, 0205
Leyco	0064, 0291
Liesenk & Tter	0064
Loewe	0539
Luxor	0383, 0388
M Electronic	0036, 0064, 0131, 0132, 0136, 0190, 0314, 0373, 0401, 0507
MGA	0177, 0057, 0205
MTC	0087, 0057, 0539
Magnadyne	0274, 0543
Magnafon	0543
Magnavox	0081, 0057, 1481, 1281
Manesth	0291, 0347
Mark	0064
Matsui	0036, 0064, 0235, 0398, 0514, 0543
Matsushita	0277, 0677
Mediator	0064
Medion	0695, 0835, 1064
Megatron	0205, 0172
Memorex	0181, 0277, 0490, 0177, 0205, 0036, 1064
Metz	0474
Micromaxx	0835
Microstar	0835
Midland	0074, 0044, 0078
Minerva	0514
Minoka	0439
Mitsubishi	0181, 0277, 0120, 0263, 0207, 0177, 1277, 0057, 0205, 0135, 0539, 0863
Mivar	0318, 0319, 0543, 0636
Motorola	0120
Multitech	0207, 0036
Myryad	0583
NAD	0183, 0205, 0388, 0893
NEC	0181, 0183, 0078, 0057, 0205, 0036, 0197, 0482, 0524, 1731
NEI	0064
NTC	0119
Neckermann	0064, 0583
Netsat	0064
Newave	0120, 0205, 0036, 0119
Nikkai	0064, 0291
Nikko	0057, 0205, 0119
Nokia	0388, 0500, 0507, 0575, 0658
Norcent	0775, 0851
Nordmende	0136, 0314, 0587
Oceanic	0190, 0388

テレビ

ソースボタン名 : TV

Brand name	*Setup code*
Onwa	0207, 0460
Optimus	0181, 0277, 0193, 0677
Optonica	0120
Orion	0263, 0490, 0064, 0347, 0543
Osaki	0291, 0439
Otto Versand	0064, 0347, 0539, 0583
Palladium	0397, 0445
Panama	0291
Panasonic	0081, 0277, 0078, 0064, 0190, 0677, 1437
Pathe Cinema	0265, 0347
Pausa	0036
Penney	0074, 0183, 0078, 0087, 0057, 0205, 1374
Perdio	0347
Philco	0081, 0490, 0207, 0057, 0205, 0172, 1688, 0064, 0274
Philips	0081, 0027, 0078, 0057, 0205, 1481, 0064, 0119, 0135, 0401, 0583, 0717
Phonola	0064
Pilot	0057
Pioneer	0193, 0136, 0190, 0314, 0706, 0787, 0893
Portland	0119
Prandoni-Prince	0543
Prima	0788
Prism	0078
Profex	0036, 0388
Proscan	0074
Protech	0036, 0064, 0274, 0291, 0445, 0695
Proton	0057, 0205, 0036
Pulsar	0044
Quasar	0277, 0078, 0677
Quelle	0064, 0131, 0388, 0539
R-Line	0064
RCA	0074, 0027, 0057, 0205, 1474, 1481, 0117, 0119, 0706, 1074, 1174, 1274, 1374, 1574
RFT	0455
RadioShack	0074, 0181, 0207, 0057, 0205
Radiola	0064
Radiomarelli	0543
Realistic	0181, 0207, 0057, 0205
Rediffusion	0388
Reoc	0741
Revox	0064
Rex	0190, 0286, 0291
Roadstar	0036, 0291, 0445
Runco	0044, 0057, 0524, 0630
SBR	0064
SEG	0291, 0695
SEI	0543
SKY	0064
SSS	0207
Saba	0136, 0190, 0314, 0362
Saccs	0265
Sagem	0637
Saisho	0036, 0291, 0543
Salora	0190, 0383, 0388, 0575

テレビ

ソースボタン名 : TV

Brand name	Setup code
Sambers	0543
Sampo	0181, 0120, 0057, 0205, 0198, 0036, 0119, 0677, 1782
Samsung	0181, 0087, 0839, 0729, 0057, 0205, 0036, 0064, 0117, 0119, 0291, 0397, 0583, 0614, 0645, 0793, 0841
Sansei	0478
Sansui	0490
Sanyo	0181, 0207, 0131, 0235, 0366, 0826
Schaub Lorenz	0388
Schneider	0064, 0274, 0398, 0695
Scotch	0205
Scott	0263, 0207, 0205
Sears	0074, 0081, 0181, 0183, 0205, 0198
Seleco	0190, 0286
Semivox	0207
Semp	0183
Sharp	0120, 0057, 0677
Shen Ying	0036, 0119
Sheng Chia	0120, 0263, 0036
Siarem	0543
Siemens	0064, 0222
Sinudyne	0543
Skantic	0383
Skygiant	0207
Skyworth	0064
Solavox	0190
Sonitron	0235
Sonoko	0036, 0064
Sonolor	0190, 0235
Sontec	0064
Sony	1127, 0027, 0677, 0861, 1532, 1678
Soundesign	0207, 0205
Soundwave	0064, 0445
Sowa	0183, 0078, 0087, 0205, 0119
Squareview	0198
Standard	0036
Starlite	0207
Stern	0190, 0286
Supreme	0027
Sylvania	0081, 0057, 0198
Symphonic	0207, 0198
Synco	0027, 0478, 0120, 0087, 0205, 0119
Sysline	0064
T + A	0474
TCM	0835
TMK	0205
TNCi	0044
TVS	0490
Tacico	0205, 0036, 0119
Tai Yi	0036
Tandy	0120, 0190
Tashiko	0119, 0677
Tatung	0081, 0181, 0183, 0078, 0087, 0036, 0064, 0543

テレビ

ソースボタン名 : TV

Brand name	Setup code
Teac	0036, 0064, 0291, 0439, 0445, 0482, 0695, 1064
Tec	0274
Technema	0347
Technics	0277, 0078, 0677
Techwood	0078
Teco	0078, 0120, 0205, 0036, 0119, 0291, 0680
Teknika	0081, 0207, 0177, 0087, 0119
Telefunken	0729, 0136, 0289, 0362, 0652
Telemeister	0347
Teletech	0036
Tensai	0347
Tera	0057
Thomson	1474, 0136, 0314, 0587, 0652
Thorn	0064, 0131, 0388, 0539
Toshiba	0181, 0183, 0087, 1283, 0535, 0645, 0677, 0859, 1383, 1683, 1731
Triumph	0543
Tuntex	0057, 0036, 0119
Uher	0347
Universum	0064, 0131, 0132, 0291, 0373, 0397, 0519
Vector Research	0057
Vestel	0064
Victor	0277, 0080, 0677, 0680
Videosat	0274
Vidikron	0081
Vidtech	0205
ViewSonic	1782
Vision	0347
Voxson	0190
Waltham	0383
Wards	0081, 0057, 0205, 0893
Watson	0064, 0347
Waycon	0183
White Westinghouse	0490, 0064, 0347,0650
Yamaha	0057, 0796, 0860
Yapshe	0277
Yoko	0064, 0291
Zenith	0044, 0490, 0205, 0119

ビデオデッキ

ソースボタン名 : VCR

Brand name	Setup code
ASA	0064, 0108
Admiral	0075
Adventura	0027
Aiko	0305
Aiwa	0064, 0027, 0334, 0375, 0379
Akai	0068, 0342
Akiba	0099
Alba	0099, 0305, 0342, 0379
America Action	0305
American High	0062
Amstrad	0027

ビデオデッキ

ソースボタン名 : VCR

Brand name	Setup code
Anam	0064, 0267, 0305, 0253, 0507
Anam National	0253, 1589
Anitech	0099
Asha	0267
Asuka	0064
Audiovox	0064, 0305
Baird	0027, 0131, 0068
Basic Line	0099, 0305
Beaumark	0267
Bell & Howell	0131
Blaupunkt	0253
Brandt	0347
Brandt Electronic	0068
Broksonic	0211, 0375, 1506
Bush	0099, 0305, 0379
CCE	0099, 0305
CGE	0027
Calix	0064
Canon	0062
Carver	0108
Cimline	0099
Cineral	0305
Citizen	0064, 0305, 1305
Colt	0099
Combitech	0379
Craig	0064, 0074, 0267, 0099
Crown	0099, 0305
Curtis Mathes	0087, 0062, 0068, 1062
Cybernex	0267
Cyrus	0108
Daewoo	0072, 0131, 0305, 0669, 1305
Dansai	0099
De Graaf	0069
Decca	0108, 0027
Denon	0069
Dual	0068
Dumont	0108, 0027, 0131
Dynatech	0027
ESC	0267, 0305
Elcatech	0099
Electrohome	0064
Electrophonic	0064
Emerex	0059
Emerson	0062, 0064, 0211, 0267, 0072, 0027, 0070, 0305, 1305, 1506
Ferguson	0068, 0347
Fidelity	0027
Finlandia	0108, 0131
Finlux	0108, 0027, 0069, 0131
Firstline	0064, 0072, 0070, 0099
Fisher	0074, 0131
Fuji	0062, 0060
Fujitsu	0072, 0027
Funai	0027
GE	0087, 0062, 0267, 0834, 1062, 1087

ビデオデッキ

ソースボタン名 : VCR

Brand name	Setup code
GEC	0108
Garrard	0027
General	0072
Go Video	0459
GoldHand	0099
GoldStar	0064, 0252, 0507, 1264
Goodmans	0064, 0027, 0099, 0305
Gradiente	0027
Graetz	0267, 0131, 0068
Granada	0108, 0131
Grandin	0064, 0027, 0099
Grundig	0108, 0099, 0253, 0374
HCM	0099
HI-Q	0074
Hanseatic	0064
Harley Davidson	0027
Harman/Kardon	0108
Harwood	0099
Hinari	0267, 0099, 0379
Hitachi	0064, 0267, 0027, 0069, 0068
Hughes Network Systems	0069
Hypson	0099
ITT	0267, 0131, 0068
ITV	0064, 0305
Imperial	0027
Interfunk	0108
JVC	0072, 0094, 0068
Jensen	0068
KEC	0064, 0305
KLH	0099
Kaisui	0099
Kenwood	0094, 0068
Kodak	0062, 0064
Kolin	0070, 0068
Korpel	0099
LG	0064, 0072, 0069, 0507
LXI	0064
Lenco	0305
Leyco	0099
Lloyd's	0027
Loewe	0064, 0108, 1589
Logik	0267, 0099
Luxor	0075, 0131, 0070
M Electronic	0027
MEI	0062
MGA	0267, 0070
MGN Technology	0267
MTC	0267, 0027
Magnasonic	1305
Magnavox	0062, 0066, 0108, 0027, 1808
Magnin	0267
Manesth	0072, 0099
Marantz	0062, 0108
Marta	0064

ビデオデッキ

ソースボタン名 : VCR

Brand name	*Setup code*
Matsui	0375, 0379
Matsushita	0062
Medion	0375
Memorex	0062, 0064, 0075, 0066, 0074, 0267, 0027, 0131, 0334, 0375, 1264
Memphis	0099
Metz	0064, 0374, 1589
Minolta	0069
Mitsubishi	0108, 0094, 0070, 0068, 0834
Motorola	0062, 0075
Multitech	0027, 0099
Murphy	0027
Myryad	0108
NAD	0131
NEC	0062, 0064, 0075, 0131, 0094, 0068
National	0253
Neckermann	0108
Nesco	0099
Newave	0064
Nikko	0064
Noblex	0267
Nokia	0267, 0131, 0068
Nordmende	0068, 0347
Oceanic	0027, 0068
Okano	0342, 0375
Olympus	0062, 0253
Optimus	0064, 0075, 0131, 0459
Orion	0211, 0375, 0379, 1506
Osaki	0064, 0027, 0099
Otto Versand	0108
Palladium	0064, 0068, 0099
Panasonic	0062, 0252, 0253, 0643, 1062, 1589
Pathe Marconi	0068
Penney	0062, 0064, 0267, 0069, 1062, 1264
Pentax	0069
Perdio	0027
Philco	0062
Philips	0062, 0108, 0645, 1108, 1208
Phonola	0108
Pilot	0064
Pioneer	0108, 0069, 0094
Polk Audio	0108
Profitronic	0267
Proline	0027
Proscan	0087, 1087
Protec	0099
Pulsar	0066
Pye	0108
Quasar	0062, 1062
Quelle	0108
RCA	0087, 0062, 0267, 0069, 0834, 1062, 1087
RadioShack	0027
Radiola	0108
Radix	0064
Randex	0064

ビデオデッキ

ソースボタン名 : VCR

Brand name	*Setup code*
Realistic	0062, 0064, 0075, 0074, 0027, 0131
Reoc	0375
ReplayTV	0641, 0643
Rex	0068
Roadstar	0064, 0267, 0099, 0305
Runco	0066
SBR	0108
SEG	0267
SEI	0108
STS	0069
Saba	0068, 0347
Salora	0070
Sampo	0064, 0075
Samsung	0267, 0072, 0459
Sanky	0075, 0066
Sansui	0027, 0094, 0068, 1506
Sanyo	0074, 0267, 0131
Saville	0379
Schaub Lorenz	0027, 0131, 0068
Schneider	0108, 0027, 0099
Scott	0211, 0072, 0070
Sears	0062, 0064, 0074, 0027, 0069, 0131, 1264
Seleco	0068
Semp	0072
Sharp	0075, 0834
Shintom	0131, 0099
Shogun	0267
Siemens	0064, 0108, 0131
Silva	0064
Singer	0072, 0099
Sinudyne	0108
Sonic Blue	0641, 0643
Sontec	0064
Sony	0062, 0059, 0060, 0027, 0663, 1259
Sunkai	0375
Sunstar	0027
Suntronic	0027
Sylvania	0062, 0108, 0027, 0070, 1808
Symphonic	0027
TMK	0267
Tandy	0027, 0131
Tashiko	0064, 0027
Diamond	0795
Digitrex	0699
Emerson	0618
Tatung	0108, 0072, 0027, 0094, 0068
Teac	0027, 0068, 0305, 0334, 0669
Technics	0062, 0253
Teco	0062, 0064, 0075, 0068
Teknika	0062, 0064, 0027
Teleavia	0068
Telefunken	0068, 0347
Tenosal	0099
Tensai	0027
Thomas	0027

ビデオデッキ

ソースボタン名 : VCR

Brand name	*Setup code*
Thomson	0087, 0094, 0068, 0347
Thorn	0131, 0068
Tivo	0645, 0663
Toshiba	0108, 0072, 0094, 0070, 0068, 0872
Totevision	0064, 0267
Uher	0267
Unitech	0267
Universum	0064, 0108, 0267, 0027
Vector	0072
Victor	0094, 0068
Video Concepts	0072
Videomagic	0064
Videosonic	0267
Villain	0027
Wards	0087, 0062, 0075, 0074, 0108, 0267, 0027, 0069, 0099
White Westinghouse	0099
XR-1000	0062, 0027, 0099
Yamaha	0068
Yamishi	0099
Yokan	0099
Yoko	0267
Zenith	0066, 0060, 0027, 1506

DVDプレーヤー

ソースボタン名 : DVD

Brand name	*Setup code*
MARANTZ DVD1	0001
MARANTZ DVD2	0002
Acoustic Solutions	0757
Alba	0744
Amstrad	0740
Apex Digital	0699, 0744, 0782, 0821, 0823, 0857, 1127
Blaupunkt	0744
Blue Parade	0598
Bush	0740
Centrex	0699
Clatronic	0815
CyberHome	0741
DVD2000	0548
Daewoo	0811, 0797
Dansai	0797
Decca	0797
Denon	0517
Enterprise	0618
Fisher	0697
GE	0549, 0744
Go Video	0742
GoldStar	0768
Gradiente	0678
Greenhill	0744
Grundig	0566
Hitachi	0600, 0691
Hiteker	0699

DVDプレーヤー

ソースボタン名 : DVD

Brand name	*Setup code*
JVC	0585, 0650
KLH	0744
Kenwood	0517, 0561
Koss	0678
LG	0768
Limit	0795
Magnavox	0530, 0702
Memorex	0858
MiCO	0750
Microsoft	0549
Mintek	0744
Mitsubishi	0548
Mustek	0757
Nesa	0744
Onkyo	0530
Oritron	0678
Palsonic	0699
Panasonic	0517, 0659, 1389
Philips	0530, 0566, 0673, 0881
Pioneer	0552, 0598, 0658, 0659
Polk Audio	0566
Proscan	0549
Qwestar	0678
RCA	0549, 0598, 0744
Rotel	0650
SM Electronic	0757
Samsung	0600
Sanyo	0697
Sharp	0657
Sherwood	0797
Shinsonic	0560
Slim Art	0811
Sony	0560, 0891
Sylvania	0702
Tatung	0797
Teac	0598, 0744
Technics	0517
Theta Digital	0598
Thomson	0549
Toshiba	0530
Urban Concepts	0530
XBox	0549
Yamaha	0517, 0566, 0572
Zenith	0530, 0618, 0768
Zeus	0811

ダイレクトボタン機能

ソースボタン名: AMP

PAGE	Command	Note
PAGE 1	1 AUTO	SELECT AUTO SURROUND
	2 DD	SELECT DOLBY MODE
	3 DTS	SELECT DTS MODE
	4 EX/ES	SELECT EX/ES
	5 DIRECT	SELECT SOURCE DIRECT
PAGE 2	1 MCH-ST	SELECT MULTI CHANNEL STEREO
	2 STEREO	SELECT STEREO MODE
	3 VIRTUA	SELECT VIRTUAL MODE
	4 CS-II	SELECT CS-II MODE
	5 HT-EQ	SELECT HT-EQ
PAGE 3	1 NIGHT	NIGHT MODE ON/OFF
	2 BASS +	BASS +
	3 BASS -	BASS -
	4 TREB +	TREBLE +
	5TREB -	TREBLE -
PAGE 4	1 MULTI	MULTI ROOM ON/OFF
	2 M-SPKR	MULTI SPEAKER ON/OFF
	3 A/D	SELECT ANALOG/DIGITAL
	4 V-OFF	VIDEO OFF
	5 AUDIO	BILINGAL SELECT

ソースボタン名 : TUNER

PAGE	Command	Note
PAGE 1	1 FM	SELECT FM
	2 AM	SELECT AM
	3 LW	SELECT LW
	4 T-MODE	SELECT MONO/STEREO
	5 BAND	SELECT RADIO BAND
PAGE 2	1 SCAN +	FREQUENCY SCAN UP
	2 SCAN -	FREQUENCY SCAN DOWN
	3 T-MODE	SELECT MONO/STEREO
	4 P-SCAN	SELECT PRESET SCAN
	5 P-INFO	SHOW PRESET INFORMATION
PAGE 3	1 DISP	RDS DISPLAY
European	2 PTY	RDS PTY
model only	3 AF	RDSALTERNATE FREQEMCY
	4 STM	RDS STATION MODE
	5 DWR	RDS DSR WAVE LANGUAGE
PAGE 4	1 MULTI	MULTI ROOM ON/OFF
	2 M-SPKR	MULTI SPEAKER ON/OFF
	3	
	4 P-SET +	PRESET UP
	5 P-SET -	PRESET DOWN

ソースボタン名： DVD

PAGE	Command	Note
PAGE 1	1 MENU	SELECTS MAIN MENU
	2 AUDIO	SELECT LANGUAGES
	3 SUB-T	SELECT SUB TITLE
	4 10+	DIGIT ENTRY +10
	5 TRAY	TRAY OPEN/CLOSE
PAGE 2	1 SETUP	SELECTS SETUP MENU
	2 ANGLE	SELECTS ANGLE
	3 OSD	ACTIVATES ON SCREEN DISPLAY
	4 FF	FAST FORWARD
	5 REW	REWIND
PAGE 3	1 SLOW	SLOW FORWARD
	2 L-PLAY	LAST PLAY
	3 SHUFLE	SHUFFLE PLAY
	4 REPEAT	REPEAT MODE
	5 A/B	REPEAT A TO B
PAGE 4	1 RETURN	RETURN TO MENU
	2 T/C	TITLE AND CHAPTER
	3 3-D	SURROUND ON/OFF
	4 TITLE	SELECTS TITLE MENU
	5 ZOOM	ZOOM MODE ON/OFF

ソースボタン名： CD

PAGE	Command	Note
PAGE 1	1 DISC +	CD CHANGER NEXT DISC
	2 DISC -	CD CHANGER PREVIOUS DISC
	3 SHUFLE	SHUFFLE PLAY
	4 REPEAT	REPEAT
	5 TRAY	TRAY OPEN/CLOSE
PAGE 2	1 TEXT	ACTIVATE TEXT FUNCTION
	2 AMS	AUTO MUSIC SCAN
	3 SCROLL	SCROLL/RECALL
	4 FF	FAST FORWARD
	5 REW	REWIND
PAGE 3	1 DISC 1	CD CHANGER DISC 1
	2 DISC 2	CD CHANGER DISC 2
	3 DISC 3	CD CHANGER DISC 3
	4 DISC 4	CD CHANGER DISC 4
	5 DISC 5	CD CHANGER DISC 5
PAGE 4	1 UNIT	SELECT UNIT No.
	2 TITL-S	SELECT TITLE SEARCH
	3 TRACK	SELECT TRACK No.
	4 CATGRY	SELECT CATEGORY
	5 P-MODE	SELECT PLAY MODE

ソースボタン名： VCR

PAGE	Command	Note
PAGE 1	1 TV/VCR	SELECT TV/VCR
	2 2XPLAY	TWICE NORMAL PLAYBACK SPEED
	3 SLOW	SLOW PLAYBACK SPEED
	4 STILL	STILL FRAME
	5 EJECT	EJECT
PAGE 2	1 OTR	ONE TOUCH RECORDING
	2 AUDIO	SELECT AUDIO MODE
	3 SKIP	SKIP TO NEXT PROG.MARKER
	4 FF	FAST FORWARD
	5 REW	REWIND
PAGE 3	1 VIS +	VHS INDEX SERCH NEXT
	2 VIS-	VHS INDEX SERCH PREVIOUS
	3	
	4	
	5	

ソースボタン名： CDR

PAGE	Command	Note
PAGE 1	1 INPUT	SELECT INPUT SOURCE
	2 INCR	INCREMENTS TRACK No.
	3 SYNC-R	ACTIVATE SYNCRO RECORDING
	4 PROG	ACTIVATE PROGRAM MODE
	5 TRAY	TRAY OPEN/CLOSE
PAGE 2	1 SCROLL	SCROLL/RECALL
	2 FINAL	FINALIZES(WRITES TOC)
	3 BLANK	RECORDS BLANK
	4 FF	FAST FORWARD
	5 REW	REWIND
PAGE 3	1 BLANK	RECORDS BLANK
	2 REPEAT	ACTIVATE REPEAT MODE
	3	
	4	
	5	

ソースボタン名: TAPE

PAGE	Command	Note
PAGE 1	1 TAPE-A	SELECT TAPE DECK A
	2 TAPE-B	SELECT TAPE DECK B
	3 DIR	AUTO REVERSE DIRECTION
	4 TIME	TIME DISPLAY
	5 TRAY	TRAY OPEN/CLOSE
PAGE 2	1 AMS	AUTO MUSIC SCAN
	2	
	3	
	4 FF	FAST FORWARD
	5 REW	REWIND

ソースボタン名： MD

PAGE	Command	Note
PAGE 1	1 REPEAT	SELECTS REPEAT MODE
	2 SHUFLE	SELECTS SHUFFLE PLAY
	3 DISP	SELECTS DISPLAY MODE
	4 EDIT	SELECT EDIT MODE
	5 EJECT	EJECT
PAGE 2	1 SP/LP	SELECTS SP/LP MODE
	2 DELETE	SELECTS DELETE
	3 ENTER	SELECTS ENTER
	4 FF	FAST FORWARD
	5 REW	REWIND
PAGE 3	1 MARKER	SELECTS AUTO MARKER
	2 PROG	SELECTS PROGRAM MODE
	3 SYNC-R	SYNCRO REC
	4 CHAR	SELECTS CHARACTER MODE
	5	

marantz®

日本マランツお客様ご相談センター

〒113-0034　東京都文京区湯島 3-16-11

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9：30ー12：00　13：00ー17：00

（土　日　祝日　当社休日を除く）

○ 修理に関しましては下記サービスセンター、又は別紙営業所一覧の各営業所で承っております。

首都圏サービスセンター	〒228-8505	神奈川県相模原市相模大野7-35-1	☎（042）748-0762
大阪サービスセンター	〒542-0081	大阪府大阪市中央区南船場2-1-10 船場モンブランビル5F	☎（06）6337-6699

日本マランツ株式会社

本社　〒228-8505　神奈川県相模原市相模大野7-35-1

国内営業部　〒113-0034　東京都文京区湯島 3-16-11

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

http://www.marantz.co.jp

Printed in China

2003/12　ECMi　37AW851110